滿洲日報
十一月廿七日發行
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社

福建の對日空氣俄然險惡化

十九路軍の正規兵 我ランチに一齊射撃

重大事態惹起か

【上海特電廿七日發】福州來電に依れば二十五日基隆より入港せる大阪商船長沙丸の臨檢を終へた日本總領事館小型ランチが馬尾の十九路軍旅團司令部前を遡航中血迷へる十九路軍は不法にもランチ目掛けて小銃十數發を猛射した、幸ひランチに命中しなかつたが十九路軍正規兵が日本國旗を掲げた總領事館ランチに發砲せることは違法行爲であり守屋總領事は直に支那側に嚴重抗議中である、これをきつかけに福州の對日空氣は惡化し俄然事件は重大化せんとしてゐる

【東京特電二十七日發】上海來電によれば十九路軍が二十五日夕福州總領事館のランチに不法射撃を加へ又二十六日大阪商船大型ランチを數時間抑留せるなど排日空氣は俄に險惡化した

福建政府の魔手伸び 北支に動搖の色漲る

新政府辦事處猛策動

【天津二十六日發國通】福建の獨立は北支に内面的に相當の動搖を與へつゝあり何應欽は昨二十五日于學忠、宋哲元、萬福麟等各將領の連署を求めて中央に對し陳銘樞以下の嚴重處罰を請ふ旨の通電を發し于學忠も亦中央の命に依り獨立宣言の通電を抑留し各工會、團體、黨部等の集會停止を公安局に嚴命、極力動搖を防ぎつゝあるが福建代表曹恩同は秘かに東北各將領と會見潜行的に諒解運動を續けてゐる、一方陳銘樞は天津に駐津辦事處を設け處長に尹士祺を外交委員に王家鉦、財務委員に宋彥廣を任命活躍せしめつゝあり又西南派も駐津辦事處を中心に活躍既に同處に對し胡漢民、蕭佛成より華北工作に對する密電ありとも傳へられてゐる、省政府は右閉館を命じたがなほ東北將領間にも相當動きあり何應欽は未拂給料を中央に請求する等經難を取りつゝあり表面平穩なるも一本の燐寸の點火に依り忽ち爆發する危險性を多分に含んでゐる状態にある

蔣韓兩氏會見

【天津二十七日發國通】福建獨立に關し韓復榘氏の諒解を求むべく濟南に向つた北平軍事分會委員蔣伯誠氏は二十五日濟南着、二十六日韓復榘氏と會見中央の意を傳へ諒解を求むるところあつた、氏は二十七日夜濟南發何應欽氏に一切の状況を報告する筈

三氏の逮捕令

南京側一日攻撃開始

【上海特電二十七日發】國民政府は二十五日附正式に陳銘樞、李濟琛、陳友仁三氏の逮捕令を發した、福建の討伐に關しては既に海軍陸軍に動員令を下してゐる航空隊は前航空署長黃秉衡氏を總司令に任命福建討伐航空軍を組織した、依つて遲くも來月一日までに空、陸、海の攻撃部隊は攻撃位置の完了をなし十二月一日から攻撃が開始されるものと見られてゐる

天津の于學忠 記者團と懇談

【天津二十七日發國通】福建獨立並にこれに伴ふ北支の動搖に對し新聞を中央に有利に導き且つ北支の動搖を來す如き記事の掲載を差控へしむるため河北省主席于學忠氏は本日午後三時省政府に在津支那側新聞記者を招待し懇談することゝなつた

日佛對滿事業組合 數日中正式調印

佛代表の證明書到着

さきに佛國海外發展協會代表ド・リヴイエ氏と滿鐵側石本總務部長との間において折衝の結果調印の運びにまで漕ぎつけた日佛對滿事業組合はド・リヴイエ氏の調印資格に就いて不備の點があつたので東京佛國大使館に照會書類請求中のところ愈々證明書が到着したので北滿旅行中のド・リヴイエ氏は二十五日來連した、數日中にド・リヴイエ氏は佛國大使館の證明書を持つて滿鐵を訪問、日佛對滿事業組合の契約書に正式調印の上、該組合の設立をみる筈

藏相依然として强硬

昨夜藏相私邸の省議

【東京二十七日發國通】大藏省は二十六日日曜に拘らず午後五時から赤坂表町藏相私邸に省議を開き藏相以下上塚參與官、藤井主計局長、賀屋豫算決算課長等列席主計局側より各省復活要求に關する折衝經過特に二十六日海軍當局との折衝につき詳細報告、藏相の最後的決裁を求めて指示を仰いだところ藏相としては海軍側の要求八千萬圓餘と云ふ金額は餘りに多過ぎ大藏省の方針と相容れない、よつて主計局は飽くまで當初の方針を變へず今一應事務當局間の折衝を重ね其上で不可能ならば自分として最善の途を選ぶべく努力しようと當初の方針に則り主計局を鞭撻したので主計局もこれ以上藏相の意見を求むるに由なく七時散會、省議散會後上塚、藤井兩氏は官邸に來り更に海軍の村上經理局長の來訪を求め約二時間協議したがその後の諒解成立せず二十七日に持越しの止むなきに至つた、結局二十七日あたり高橋、大角兩相の政治的折衝行はれ事態の圓滿進展をみるに至るのではないかと見られる

海軍側も强硬主張

【東京二十七日發國通】豫算の復活要求に關し海軍では二十六日午後五時より霞ケ關海相官邸に大角海相、藤田次官等參集し協議の結果國防の重責を負ふ海軍としては飽くまで一億二千萬圓の要求を讓歩せず强硬に主張することに決定し二十七日午後より海軍首腦部總動員で關係筋を廻り最後の諒解運動を試みる筈で大角海相の政治的交渉はその後となる模様である

政治的解決へ

閣議は廿九日か卅日

【東京二十七日發國通】難關の來年度豫算は目下のところ如何なる解決を告げるや全く見透しさへつかず大藏當局と各省には依然難交渉が繼續されつゝあるが、愈々事務折衝としては最終の段階に入つたゝめ二十六日は日曜にも拘らず各省は再復活案を中心に協議を續ける緊張振りであつたが特に最難關視つゝある海軍農林兩省においてはそれぞれ大角海相、後藤農相を中心として官邸に省議を開き長時間の協議の後果然財政當局の查定案を一蹴せる頗る强硬なる再要求を決議し海軍農林兩省は二十六日午後それぞれ大藏當局に强硬態度を披瀝しその他各省とも鋒先を揃へて財政當局に肉薄し來つたがこれに對し大藏省側は午後五時から二時間に亘り高橋藏相私邸に櫻井主計局長以下首腦部參集し各省の再要求に對する事務當局の最後的查定状況を報告、その内海軍農林等の大物については最早や事務的折衝による解決を期待し得ずよつて藏相の裁斷に委せる以外に途なき旨を述べ茲に愈々復活要求は事務的折衝の域から政治的解決の一歩を踏み出すこととなり政治的解決の活動は二十七日に入つて全く本格化し高橋藏相を中心に大角海相、後藤農相等の會見が期待され最終結末迄には齋藤首相の乘出し斡旋も行はれることゝならうが、政府側としては目下のところ大藏省が飽迄自力に依る解決を標榜してゐる點を尊重し、首相も待機の姿勢をとり政治的折衝に入り財政當局と各省の互議によつてこれに首相裁斷の形式を踏み圓滿解決を告げるものと期待してゐる、しかしこれ等の折衝を經るためには二十七日一日では到底間に合はず從つて實質的解決を見ざるうちは閣議に上程せざる方針であるから目下のところでは二十八日の定例閣議には間に合はぬ模様で二十九日か或は三十日臨時閣議開催の運びとならう

貴族院の意向 藏相を支持

【東京二十七日發國通】來年度豫算編成のため政府は非常に緊張し特に軍部と財政當局との關係が最も注目されてゐるが貴族院有力筋の意向は
今回の大藏當局の查定方針並にその内容は流石に老藏相の手並と感心されるこれに對し陸海軍並に農林當局が强く復活要求をなしてゐるが外交、國防、財政の三位一體の立場からこの際高橋藏相は所期の方針通り貫徹することが國家の大局から必要であらう、若しこの場合大藏當局の方針が敗れるならば財政の基礎を危くする惧れが多分にある
しかして豫算編成難で政變をみるが如きことあれば益々時局を紛糾させることゝならうからこの際是非とも大藏當局の方針を貫徹せしめねばならぬと藏相を支持してゐる向が多い

白衣の勇士を出迎へませう

明朝六時廿分着驛

滿鐵の改組 一般も漸く冷靜

平山支社次長來連語る

滿鐵東京支社次長平山敬三氏は事務打合せのため廿六日午後四時半周水子着飛行機にて東京より來連遼東ホテルに投宿したが、二十七日出社、林、八田正副總裁に東京に於ける改組問題を繞る空氣について報告した後左のごとく語つた
滿鐵改組問題は一時東京でも大騒ぎをやつたが今はすつかり鎮まつて新聞も論説では取扱ふがニュースとしてはのせぬやうになり、方々の役所へ行つても殆んど話も出なくなつた、それは一般にこの問題の落ちつくところを見通してそう急激な改革は行はれないと信じて來たからであらう、社員會の宣言は各方面に好評を博し「白日の下に論議せよ」といふ主張には皆同意を表してゐた、社債の發行がこの騒ぎで相當支障を來したことは事實だが銀行手持ちが多かつたことは必ずしもこのためばかりでなく一般に金融逼迫し東京市債など流れたやうな環境にもよるものである、この次の社債がどうなるかは金融界のことはほとんど豫測を許さぬから何とも斷言は出來ない、今度來連したのは私が滿鐵を代表して取締役をして居る傍系會社中、日滿倉庫、阪神築港、昌光硝子および山東鑛業の總會が年内にあるのでその對策を本社と打合せて置くためで、それ以外には用向はないから三、四日滯在して直に歸京する考へである

中央軍三萬

【上海廿七日發國通】蔣介石氏は福建軍の北上に備へるため浙江省境を堅めるに決し既に津浦線沿線に駐屯の四ケ師約三萬の南下を開始した、一旦浦口に集結の上水路寧波又は溫州へ向はせるものと確聞する、尙中央の軍政當局は前記動員部隊の水路輸送用として招商局その他の支那汽船會社を徵發しつゝある

菱刈軍司令官歸還

けふ錦州から奉天へ

【奉天電話】錦州○團部に宿營した菱刈軍司令官は二十七日午前九時十分平田○團長その他日滿官民の見送裡にゼム十六號機で錦州を出發午前十時半多少の難航の中に東飛行場に着、土肥原特務機關長、兒玉航空會社副社長、蜂谷總領事代理、粟野所長、黑崎造兵廠長その他日滿官民の出迎へを受け航空會社應接室にて挨拶を受け兒玉副社長から滿洲航空會社の業績と計畫その他既定方針の説明に時々質問しそれから承德を往復した四飛行士に對して挨拶あり瀋陽館に着中食をなし午後三時のはとで新京に歸還した

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は改組案に就いて最後的協議を行ふ爲め二十七日午前十時三十分より開催、正副總裁、伍堂、十河、村上、山西各理事石本總務部長列席の下に始められたが正午に至るも休憩せず辨當を取り寄せて中食を攝つた上午後に續けて會議を行つた

『滿鐵改造論』

既報日笠本社囑託執筆の「滿鐵改造論」は大阪屋號書店より出版されたが内容は本紙掲載の外左の諸項に亘り「國家統制を基幹とする軍部案と新國策の檢討」を加へたものである
國家統制に依る全面支配制と全滿鐵の分解、特殊企業及び傍系事業の支配的統制と其機構、關東軍の指導精神と現地に即する新經濟國策、中央の改革案審議と緊急勅令か議會提出か、日本經濟界の聯關と軍部案の重要視點、非常時國策の動向と滿洲經濟策の相關性

村山龍平氏に叙位叙勲

【東京二十七日發國通】畏き邊りではこの程逝去した村山龍平氏に對し多年文化操觚事業に盡瘁したる功勞を思召され左の通り叙位叙勲の御沙汰を賜つた
叙從四位
叙勲一等授瑞寶章　勲二等　村山龍平

阿比留乾二氏

滿洲國前司法部總務司長阿比留乾二氏は明春二月出發フランス留學の途に上るので十二月初め離滿に先だち旅大官民の舊知に挨拶の爲め二十六日夜來連、二十七日は午前中本社來訪、次いで滿鐵本社を訪うたが二十八日は旅順に往復し同夜大連驛發奉天に向ふ由

ばいかる丸船客

【門司特電二十七日發】二十九日大連入港豫定ばいかる丸の主なる船客諸氏
天津領事栗原清、貝瀬謹吾、東京製綿社員渡部基、住友電線谷口亘、海軍少佐沖野益男、德泰公司濱野榮一、玉木繁治、湯淺達三、東後達三郎、宗像金吾、原田辰雄、瀧川辰太郎、濱松豊、近藤兼三郎、河合昇三郎

人事

▲栗原鑑司氏（中央試驗所長）二十七日入港うすりい丸にて歸任 ▲島田信吉氏（大汽庶務課長）同 ▲中田末廣氏（電々會社技術部長）同上 ▲小澤新之輔氏（錢鈔囑託）同上 ▲井上禧之助氏（旅順工大名譽教授）同來連 ▲多賀二夫氏（日滿軍役）同上 ▲左近允尙正氏（新任駐滿海軍部付海軍中佐）赴任のため同上 ▲藤森大佐（駐滿海軍部參謀）二十七日午前九時發はとにて歸任 ▲芳賀千代太氏（新京鐵道事務所長）同上 ▲江川忠一氏（撫順炭販賣會社支配人）同上

ニコ／＼として無電王夫妻着奉

沿道の風光に感嘆

【奉天電話】無線の父マルコニー侯夫妻は二十六日午後十時五十分奉天着の安奉線列車で奉天の人となつた、驛頭にはハルビンより態々出迎へのため來奉したマアフエ伊國領事夫妻始め大倉組關係者その他日滿官民多數の出迎へあり夫妻は長途の旅に

◇聊か の疲勞の色も見せずニコ／＼として貴賓室に入り出迎への者と懇懃なる挨拶を交はし自動車でヤマトホテルに入り旅裝を解いたが廿七日は早朝に起出で新京よりの出迎へのため來訪した交通部總長丁鑑修氏と會見懇談し午前十一時半より在奉新聞通信記者團と會見したが二十七日夜ヤマトホテルにおける丁交通總長の歡迎宴に臨み二十八日のはとで一路大連に向ふ豫定である、なほマルコニー侯は左の如く語る
滿洲國はこれから見物しようと思つてゐるが、まだ感想と云つたことはない、日本から朝鮮を經て

◇奉天 に來るまでどこを見ても綺麗な風光の良い地で而かも到る所鄭重なる歡迎を戴いて心から感謝してゐる次第である滿洲見物は多年の希望でありましたが今回漸くその希望がかなつた譯で、殊に滿洲は日露戰爭のあつた所なのでこの戰跡を見たいと考へて居ります、滿洲國が成立して新京とかハルビンとか名稱はよく聞いて居りますが今回の旅行に際しこれらの地を見物しないで歸ることは甚だ遺憾に思つて居ります、今晩か明日大連に行きそれから天津、上海を見物して歸る積りである
因に丁交通部總長との

◇會見 は同日午前十一時から二十分ヤマトホテル中央廣間に於て行はれたが單に挨拶に止まり丁總長はマルコニー侯に對し滿洲國認識の資料ともなるべきパンフレットと寫眞等を贈つた（寫眞は滿洲に第一歩を印した安東驛のマ侯夫妻）

マ侯日程變更 二十七日夜來連の豫定であつた無電王マルコニー侯は日程を變更して二十八日午前七時四十分着列車にて着連の筈

佐藤敬三氏

青島海事協會理事佐藤敬三氏は二十六日午前五時急逝、大連における海事關係者を代表して大塚源吾氏が二十七日出帆奉天丸で青島に急行した、尙故佐藤氏は青島航政局顧問として青島における海運行政を確立し現行水先法を制定したものでその死を悼まれてゐる

蛇角

◇姿なき文明の利器、無電の發明者、マ侯明朝來連。
◇ウエルカム、ウエルカム。
◇双頭の蛇、互に嚙み合ひ、毒氣全支に漲る、何と氣の毒な。
◇匪賊國際列車を襲撃、蟷螂の斧煩さし煩さし。
◇輝く除隊兵、噫の入營兵、われ等の若き勇士に、幸あれ。
◇報の音間近に聞くや冬の風。

號外發行 本社は二十七日午前七時「匪賊に襲撃された國際列車顚覆事件」に關し號外を發行した

女の部屋 (22)

林芙美子作　一木弴畫

眼（一）

手術室の扉でもあける様な氣持で把手を廻した智子は、だが教室の何處にも、土方の姿も洋子の姿も見出さなかつた。
廊下に足音のする度に、遲刻者が把手をがたつかせる度に彼女は心臓が止る程ハッとして期待に慄つたがそれも徒らに苦々しい失望を重ねる丈に終つた。
一時間中彼女は何を聞いてゐたのか少しも覺えてゐなかつた。その不安と焦躁は軈て暗い絶望に變つて彼女の心を嚙んだ。
幸は悄然歸つて來た智子の顔を見てすぐ何事かよくない出來事を想像した。そして彼女の後から跟いて廻つた。智子はそれを知つてゐたが態と頑固に默りこくつて、さつさと和服に着かへ始めた。
——何處か氣分でも惡いの？

——いゝえ。
——嫌な事でもあつたのぢやないの？
——いゝえ
幸は沁々呟いた。
——餘程氣をつけてゐないと、若い娘が外に出て働いてゐる中には色んな誘惑もあるのだから。
——そんな事ぢやないわ。妾今日學校で迚も不出來だつたの。
——さう、そんな事だつたら……
……さほつと安心した様に、だつてあんたは働いてゐるのだから他のお嬢さん方の様に充分な下調べも出來ないのだもの、そんなに……
智子はふつと泪ぐんだ。それを見られまいと
——妾おなかゞ空つぽ。御飯早くしてね。
さいつて幸を臺所に追ひやつたがおござさと自分の事を思つてくれる叔母に何となく濟まない氣がした。彼女は自分も臺所に行つて用意を手傳ひ始めた。
斯うして頼る所もない叔母と二人の靜かな生活が一番樂しいではないか？何を好んで戀を企てる？働かねば食べて行けない様な女達に許された戀……それは屈辱と忍從の戀でしかない。戀を請ひ取るなんて、お、嫌だ！
けれども彼女等が戀をし様とすれば「愛して下さいね」と縋まねばならないのだ。洋子達の様に「愛してあげるわよ」とは出られないのだ。
——あんたが小さかつた時は、ほんとに燒茄子の好きな子でね、大人の三人分位食べたもんだけど
幸は鐵瓶にのせた茄子を轉がし乍ら、あんまりむつつりしてゐる智子の氣を、どうにかして引き立てゝ様々な事をぽつんぽつんと云つてゐた。
食事がすむと、又何時でも同じ死んだ様な夜が來た。幸は茶の間で時々鋏の音をさせ乍ら縫物を。智子は自分の室で讀書を。
縫物をしながら幸は思ふのだつた。（若い身で可哀さうに、他の娘達の様に外に出るではなし、活動一つ見に行かずに、兩親さへ生きてたら一人つ子でいやが上にも甘やかされて今頃は婿探しに血眼だらうに。）
夜毎の縫物に疲つてゐる幸の目からは、僅かの感動でもすぐ泪が流れるのだつた。
（いゝお聟さんでも早く探して……）
……九時頃、表戸のあく音がして男の聲で案内を請ふのが聞えた。
來る人と云へば職人達の押し賣か屑屋位の此の家に今頃一體誰だらう、と思ひながら幸が立たうとしてゐる時、智子が出て行くらしい氣配がした。

國際列車襲擊 後報
裝甲列車で擊退
高波將軍は昂々溪着
匪賊は青山好の一味

【ハルビン特電二十七日發至急報】西部線で國際列車を襲擊した匪賊は青山好の一味五十名で約百米に亘り犬釘を拔取つて待受けたもので、列車は急速力のため機關車、貨車一輛、郵便車一輛が顚覆寢臺車は顚覆は免れたが滅茶苦茶に破壞され阿鼻叫喚の慘狀を呈し死傷者相當多數の見込賊は頑強に抵抗したが遂に擊退し、昂々溪から現地に向つた裝甲列車は二十七日朝八時昂々溪に歸還した、高波將軍も同列車にて到着した、非戰鬪員の死傷はなほ不明だが、軍人の損害は山本軍曹、尾島上等兵が戰死し入江上等兵、丸山中尉、大塚一等蹄鐵工兵、淺見軍曹、高橋一等兵が重輕傷を負ふた

【チチハル特電二十七日發】二十六日夜小蒿子附近において匪賊に襲はれ顚覆した國際列車に搭乘の高波○團長は昂々溪より出動した裝甲列車に移つて無事昂々溪へ着いた、なほ匪賊との戰鬪において戰死した我兵は飛行○隊の山本軍曹、尾島上等兵で重傷は飯澤上等兵でありその他兵士六名負傷した列車顚覆のため一般乘客の負傷者は五十名に達するといはる

北鐵の應急處置

【ハルビン特電二十七日發至急報】北鐵管理局は應急處置として左の通り決定した、二十七日の西部線運轉は二一列車はハルビン安達間で打切り、滿洲里發ハルビン行列車は昂々溪にて打切り、乘客を全部降ろし救護列車に變更して現地に向ひ死傷者を收容してハルビンに急行する

國際囑託一行も無事

國際列車襲擊事件に關し國際運輸チチハル支店長發二十七日午後零時半本社着電によれば昨夜小蒿子附近において國際列車顚覆、匪賊襲擊し遭難の山崎囑託、岩重、前田兩社員は幸ひ負傷もなく無事到着したと

滿鐵への入電

北滿鐵路西部線國際列車顚覆事件に就いて滿鐵資料課には二十七日午前十一時三十分ハルビン事務所より左の如き電話があつた
顚覆列車には皇軍飛行隊將士八十名乘込み居り匪賊の襲擊に對して直ちに應戰した、皇軍損害戰死二、重傷一、輕傷四

戰死傷者氏名
鄭家屯守備隊の損害

【新京電話】二十六日四洮線太平川驛西方に匪賊襲來し同地守備隊は急遽出動これに應戰したが右報に接しこれが急援に向つた鄭家屯守備隊員は途中突如匪首不明の匪賊の襲擊を受けこれに應戰敵を擊退したがこの戰鬪で我が方は左の戰死重輕傷者を出した

▲戰死者 江本敏武大尉、篠田一等兵、小池治三郎一等兵、尾崎一等兵、宇津木鶴一等兵、中山保一等兵、古山正一一等兵、富岡敏一等兵、有扁一等兵
▲重傷者 服部伍長、竹井上等兵、小川一等兵、根本一等兵、百木田一等兵、石塚一等兵、野上一等兵、篠田上等兵
▲輕傷者 石井上等兵

兒玉博士宅の紛糾和解成立

既報の兒玉博士邸家主水谷信厚氏が兒玉博士を相手どり家賃及び損害賠償金一千圓を請求してピアノ一臺を假差押へした事件に關してはその後博士代理人大內辯護士、水谷氏代理人齋藤、田村兩辯護士の間に種々交渉が續けられてゐたが、結局博士側より水谷氏に對して若干の包み金を贈り水谷氏は無條件で假差押へ處分を解くことに妥協することになり、廿七日和解成立の手續きを終ると同時に水谷氏はピアノの假差押へを取下げた

現業員にも休暇
社員會から要望
近く會社に提出する

滿鐵社員會相談部では先般來沿線各地方事務所及び撫順炭礦所在地十五ケ所に於いて現業社員を中心とした社員生活相談座談會を催してゐたが社員家庭生活向上に就いての樣々の改善意見が論議されたなかに現業員の休暇制定要求が各地座談會を通じて強く主張されたので相談部では是を沿線現業員の要望として近く社員會役員會において協議の上鐵道部長を通じて會社側に提出することゝなつた

卽ち現在鐵道現業員中各驛勤務の者の如きは朝八時から翌朝八時までの勤務で又翌朝八時から始り年中全休日はないため不規則な生活のため健康を害する者多く曾て評議員會に於いて休日制定要望を討議され仙石總裁の當時休日制定されることに內定してゐたが、其の後會社の業務繁忙の爲め今日まで實現しなかつたものである

鏡泊學園生 實地踏査
敦化から出發

【吉林特電二十七日發】本年五月より敦化に滯在中であつた鏡泊學園生徒約三百名の中約五十名は實……地蹂躙のため松乙溝に向け既に出發したが第二回約五十名は本月三十日頃同地に向け出發することゝなつた、目下同地附近は積雪尺餘に亘り見渡す限り銀世界に彩られ方向さへ困難なる折柄一行の出發は相當な興味を持たれてゐる

銃後を護る非常時女性 愛國の血に燃ゆる大衆婦人を中心に結成された大日本國防婦人會關東本部の發會式は二十三日午後一時から青山南町の青山會館で擧行されたが各支部から派遣された代表約二千名はその意氣を示す白エプロンのユニホーム姿も勇ましく現代流行の有閑マダムの不行跡を尻目に雄々しい團結の力を示した（寫眞は盛大な發會式）

遂ひに不滿爆發し
「噴火山上に踊る」
新興倶樂部は何處へ

經營上大蹉跌を來した滿人遊戲場新興倶樂部の內容がひとたび世上に暴露されるや十萬圓の

巨 額を投じて營業下請負をなしてゐる梁煥有氏等の營業請負公司の關係者間に非常な衝動を與へ遂に不滿の爆發となつて井上理事長に對し「一體どうして吳れるのだ」と膝詰談判に及ぶ騷ぎと化した、請負人側の言ひ分は

本年六月契約當初すぐにも理想的營業の出來るといふ話であつたので巨費を投じ請負うたものであるが半歳を經た今日、營業種目の嚴重制限下にあつて電燈代の收益すら擧らぬといふ不振狀態にあつては投資額の回收はおろか延いて社會的信用問題に及び生業にまで

惡 影響を來してゐる、今日まで理事長の人格を信じて來た我々もこの際理事長が振興策を講ずるにあらざれば我々は倶樂部の建物を競賣に附すより執るべき手段はない

といふにあり態度頗る強硬にして推移の如何によつては建物の競賣及び舊倶樂部關係において刑事々件にまで進展しかれない形勢となつて來た、よつて井上理事長は事態の惡化を憂慮單身關東廳を訪問するなど善後策に奔走を續けてゐるが、倶樂部內部においては營業上大蹉跌を來してゐる最大原因は官邊より人格的に白眼視される二三役員の存在するがためであつてこれら

役 員の處置さへ講じてゐたならば倶樂部自體世間の惡評を受けず一方官邊の壓迫方針より脫れ得たであらうが理事長の優柔不斷から事こゝに至るまで人事に關する淨化作用を行はず遂に今日の如く事態惡化に導いたものでこれは獨り井上理事長の負ふべき責任であるとなし同氏に對し俄然非難の聲が擡頭してゐる

而して理想派役員間では井上理事長を鞭撻し私情を離れて人事問題を急速解決し官廳の方針緩和を圖り資本七十五萬圓の新興倶樂部更生策を講ずるより外なしといふに意見一致を見た模樣で辛うじて下請負人側の騷ぎを鎭撫してゐる有樣である

最善の方法で更生を圖る
理事長井上信翁氏談

右に就き井上理事長は語る
今日まで私を信じて默つてゐた下請負人が騷ぐのも無理はありません、自分としては充分責を感じてゐます、更生策を講じなければ騷ぎは鎭まりますまいが何しろ根本に橫はる問題が問題ですから早急に運ばないのが殘念です、官廳の御意向が那邊にあるかも大體推察することも出來ますが、自分としては最も圓滿に、最善の方法を執りたいと考へてゐる、私の態度が優柔不斷であるとの非難も耳にしてゐますがこのお叱りは至極尤もなことで、此點も充分責任を感じてゐる次第ですどうか萬事を御推察の上、餘り追究せずに置いて下さい、しかし倶樂部をこのまゝ潰して終ふことは出資者に對し非常な迷惑を及ぼす重大問題で、そんなことは如何なることがあつても出來ないことで、私は理事長としてあらん限りの誠意と努力とにより誓つて倶樂部の更生策を圖る考へです

某辯護士が關係の不正事件發覺
金融魔和田の取調べ

十萬圓に達する手形詐欺で大連署に留置されてゐる金融魔市內桃源臺二〇番地金融ブローカー和田一郎（三〇）は同署司法係柏倉警部補の手で取調中であるが、連日に亘る多數被害者及び

證人 の召喚によつて漸く大詐欺事件の內容が判明するに至つた

卽ち和田は昭和六年十月から本年六月まで大連輸入組合員相手の金融ブローカーとなり金主は市內對馬町福島熊太郎、初音町藤田秀雄、西公園町中村兼一の三氏で輸入組合員から二ケ月一回の決濟に當つる金融を依頼さるや前記三金主に手形の割引をさせて金融を行つてゐたものであるが、和田はかつて市內大山通で永記洋行と稱する貿易商を營んでゐた時代の多額の債務があり、之に充當するため金融依頼者より金主に還るべき金の

橫領 を行ひ、一昨年末頃から盛んに幽靈手形を濫發し前記三金主を欺いて取込み詐欺を行つてゐたものである

この幽靈手形は二十七日午前中の取調においては八十枚この被害金額二萬五千三百八十圓に達してゐるが、三金主の被害は
中村氏關係 約五萬圓
福島氏關係 約三萬五千圓
藤田氏關係 約一萬三千圓
といふ驚くべき多額に上りこのほか少額の手形詐欺、橫領の被害は實に四十餘名の多人數に上つてゐる、なほ同事件の取調

進展 につれ端しなくも某辯護士外一名に絡る不正事件が發覺したる模樣で同署では極秘裡に內偵を進めつゝあり、事件は意外な方面にまで飛火せんとする形勢にある

命の恩人に差入れ
匪賊生活が祟り李送局

匪賊に拉致されて危く死の一歩手前で助かり懷しい我家に歸ることを得た沙河口巴町七九長谷川組中尾德四郎氏を繞る人質美談は既報した處であるが、その物語りに主役を演じ、ハルビン憲兵隊で歸順を許された山東生れの匪賊李德才（三一）はその後沙河口署で取調べの結果、匪賊の仲間であつた當時の事情がたゝり強盜並びに不法逮捕監禁脅迫の罪名の下に一件書類と共に二十七日檢察局に送られて來た、血で血を洗ふ匪賊生活を清算して更生の生活に入ることを決意した李は小さな風呂敷包一つを持つて晴々とした顏色を輝かせつゝ送られて來たが、その包みの中には中尾氏が命の恩人に對する心づくしの握り飯が大事に納められてゐた

警察の御飯は支那パン二つだと聞いた中尾さんが、素敵な御馳走してくれたのですと李は語つてゐたが、嘗ては命を助けられた中尾氏が、今は差入れその他許される限りの力を盡して李のために努めてゐる、飽く迄も麗しい人情美談として檢察局の係官に非常な感激を與へてゐた

千代田公設市場の場外取引取締り
百名だけ露天販賣許可

市內千代田町公設市場における場外取引問題は保安衞生の見地から所轄大連署保安係で市當局と協力し嚴重取締を行つてゐるが、何分入場料問題と市場狹隘の爲め市場外取引の根絶を期することが出來ず頗る手を燒いてゐたが今回大連署では市當局とも凝議の結果、入場料の遞減と市場の柵を取り拂つて場內を擴張し野菜、魚類の販賣者六十名に限り強制的に入場させその他職人は百名に限り露天販賣を許可することに決定した

場外取引は千代田町廢民聯合會に管理させ關東廳土木課において道路擴張の必要ある場合は何時でも撤去する條件が附せられてゐるが、これをもつて同方面の需要供給を便することが出來得るものと見られ、これ以外の場外取引は警察力を以て嚴重取締るに方針決定した

州外への送電に實業廳から抗議
復鎭東への送電紛糾

鐵路總局が安東城子疃間に運轉する自動車營業の事務所は城子疃と州境を挾んで存在する復鎭東に設置されることに決定してゐるが同事務所の設置に伴ひ電燈配給問題で貔子窩民政署と奉天省實業廳の間に紛糾を起してゐる

卽ち鐵路總局では州內から事務所への電燈配給につき貔子窩民政署の諒解を得たのでその豫定で準備を進めてゐたところ突如奉天省實業廳から州內から州外への送電には奉天省實業廳の認可を必要とするとてこれに抗議を申込んで來たものである

民政署側ではこの種の問題は地方民の要望にも副ふことであり、地方縣知事の了解があれば足ることゝし解決には相當日子を要する見込で本問題は小範圍のものにしろ今後この種の問題に先例となるものであるため關係筋では根本的解決の一日も早からんことを切望してゐる

天津租界埠頭にけふ汽船初入港
昭和二年竣工以來の第一船

【天津二十七日發國通】昭和二年竣工以來白河の泥塞のため汽船の遡航をみなかつた日本租界埠頭に本日愈々第一船として東興洋行の八千代丸清水丸の兩船が入港することゝなつた、入港は午後二時頃の豫定で日本租界では居留民一同歡迎祝賀に忙殺されてゐる

軍國の冬訪づれて
驛に埠頭に我勇士
除隊、入營の若人行進

除隊シーズン、入營季節となつてカーキ色にガッチリした身體を包んだ若人の來往が急激に殖える、滿期除隊兵は國防の第一線に立つて陸軍日本の威武を中外に輝かした誇りに滿ち溢れ乍ら懷しい故鄉へ凱旋する、入營兵はいづれも母國を離れて赤い夕陽の滿洲の守りにつくべく意氣壯な若人達である

駐滿部隊の來滿のトップを切つて二十九日入港御用船綾葉丸で〇〇〇名、三十日入港天平丸で〇〇〇名、十二月一日入港あいだ丸で〇〇〇名續々精悍な顏を見せる一方で滿期除隊の勇士等のトップは十二月一日午後三時九番バース出帆御用船天平丸と二日同バース出帆あいだ丸で〇〇〇名、これを大連驛發着をもつて知らせば

十一月二十九日午後十一時、午後十一時四十分兩列車にて北行▲三十日午前七時、午後七時三十分兩列車にて大連驛着▲三十日午後十一時午後十一時四十分列車にて大連驛發北行▲十二月一日、午前六時二十分、午前七時兩列車にて來連▲同日午後九時、同十一時發列車にて北行

なほ十一月二十八日午前六時二十分着列車にて傷病兵五十五名十二月四日午前七時列車にて遺骨二十餘體が到着する豫定である

林、馬兩匪首 歸順申込

【錦州特電二十七日發】我が軍の徹底的討伐にあつた熱河匪賊の天下好、大恩字の兩名が二十三日青砥部隊に對し無條件歸順を申込んだことは既報の通りで既に小銃二百、輕機關銃三、重機關銃二を提出し完全に武裝を解除されたが尙灤東から遁入して來た林中好及び馬常業の兩匪首も誠意を示して歸順を申込んだので二十六日青砥部隊から武裝解除に向つた

兼井氏香港へ

金福鐵路內紛裡の中心人物兼井滿臣氏は歸朝途上の門野社長を船中に出迎へて委曲經過を報告し併せて所信を陳ぶる爲め二十七日午前十一時出帆の奉天丸にて香港に向つた、歸途は廣東、南京の政情を視察し來月十五日頃歸連の豫定なる由

トミーと引分け
新進堀口善戰

【東京二十七日發國通】バンタム級の世界選手權保持者たるヒリッピンのヤング・トミー對新進堀口との八回戰試合は異常な人氣を呼んで二十六日午後田園調布の野球グラウンドに開催、堀口よく戰つて遂に引分けとなつた、最近日本の拳鬪は相撲の人氣を奪つた觀がありこの日も觀衆はグラウンドに滿ちた

家出は間違ひ

既報、金州大連醫院分院看護婦田代華子（二二）同宮內好乃（二二）兩女の所在不明事件は最近兩女が大連醫院を辭職し來連したのに對し看護婦規則に基き十日以內に轉居屆を提出しなかつた爲め、金州警察署では所在不明者として大連署衞生係へ搜査の手配を發した結果家出人と誤られたものであるが、兩女は現在大連市內の兩親の膝下に在り分院の方も新婚生活に入るべく圓滿辭職したものである

なほ當時同分院關係者で男二名の失踪事件があつた

北原選手轉勤

大連ラグビー倶樂部選手北原一造氏は今回三井物產ニューヨーク支店詰に榮轉することになつたが二十九日出帆のうすりい丸で赴任の由

母も子も大喜び!!

お子さんには漫畫繪本『凸凹黑兵衛』お母さんには五千圓懸賞つきの新案家計簿と編物の本と合計三冊の別冊附錄がつくので婦人倶樂部十二月號は大評判！

天氣予報

二十八日 北西の風晴
滿潮（午前七時十分 午後七時五十五分）
干潮（午前零時五十分 午後一時十分）

各地溫度（二十七日午前十一時）
大連 二 奉天 零下二
旅順 五 新京 零下五
營口 零下一 新義州 三

今日の小洋相場（十一時半） 金百圓につき一二〇圓九五錢

善鬼惡鬼（271）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

月下の勝負（一）

池上の山に冬の月は冴え冴えとしてゐた。こんもりと茂つた樹々の梢の、どこからともなく、梟の啼く音が淋しかつた。

車澤五郎の嘉五郎兵衛と、潮田少貳は互に、二三間を離れて、樹の根に腰を下してゐる。

玄六だけが少し離れたところで木を削つてゐた。欅の木の手頃の枝を切り下して、二本の木太刀をつくつてゐるのだ。

「同じ幹から出た欅の木太刀です。長さも同じ、重さも同じ、そして質も同じ木太刀で勝負をするのだから面白いなア」

玄六は、獨り言を云つた。

「節はしらべたか」

少貳は云つた。

「充分にしらべました。依估ひいきは決してありません」

「眞剣の試合がして見たかつたなア」

五郎が云つた。

「拙者も、本當はそれが望みだつた」

少貳も云つた。

「飛んでもない、一方は拙者の先生、一方は初對面ながら、滅法氣に入つた人物です。どつちに怪我があつても困ります」

玄六は熱心に木太刀を削る。

「怪我などを心配して、立派な勝負は出來るものでない」

五郎兵衛が云つた。

「その通りだ。眞剣を木刀の如く打ちふり、木刀を眞剣のやうに打ち振るところに、勝負の骨法はある」

少貳は左右の指をポキン〳〵と云はせた。

「玄六どの、ものは相談だが、必ずともに一寸手前で刄を食ひとめて見せる、眞剣をつかはしてくれぬか」

五郎がいつた。

「飛んでもない。一寸手前で刄先を食ひとめるときめておいても、もの、はずみといふ事がある。月が晝のやうに明るいとはいへ、晝を夜とでは寸法がちがひます。眞剣は断じていけません」

玄六はおしきつて木剣試合を主張した。二人は默つて了つた。

「この男はあはてもの、くせに、苦勞性です」

「さうらしい」

「今更になつて、二人の命のかばひ立てをするぐらゐなら、五郎ごのを拙者の前に連れて來ない方が好いのだ」

「さうも云へないな。拙者の片腕をふところ手と見あやまつたり刀の柄においた指先を指割符とやらに見あやまつたり、眞剣の試合をするよりも危ない事です」

「全くその通りだ。玄六、眞剣をゆるしてくれ」

五郎と少貳は、そんな事を話し合つて、再び玄六に云つた。

「断じてなりませぬ」

「大丈夫だがなア」

「いけません」

「玄六どの、貴公それほどに我々の剣を危なく思はれるか」

「それとこれとは話がちがひます」

「どうちがふ」

「剣は兇器と申しますからな」

「持ち手によつて、使ひ手によつて、剣の精神がかはつてまゐる」

五郎が云つた。この言葉はすばらしく少貳の心を動かした。

「使ひ手によつて剣の精神がかはる、なるほど其の通りだ」

少貳は我意を得たりといふ顔でにつこり笑つた。

五郎と少貳の目と、目がぴつたり合つた。

玄六は無心に木太刀を削つてゐたが、兩手にかまへて、流々とふるつた。

「出來たか」

「出來ました。木剣の寸法も同じ事、目方も同じ事、そして、幹を等しうした欅の枝です。節も木目もそろつて居ります。反りも寸分ちがはぬつもりです。一應改めて下さい」

兩手にかまへたまゝで、玄六は兩人の前へ持つて來た。

「忝けない。併しどうしても眞剣はゆるしてくれぬか」

「なりませぬ」

「ならぬとあらば」

五郎の目がちらりと少貳へ光つた。少貳の目も光つた。

「あッ危ない」

けたゝましく叫んで、二三間飛びすさつた玄六の前では、刄の稲妻が相消眼に、時ならぬ虹のやうに横たはつてゐた。

片岡千恵藏が陪審員になる

京都市右京區嵯峨野有栖川町に植木正義の名で住居する千恵プロの御大片岡千恵藏が今回右京區の陪審員に任命された、陪審員は品行方正を第一の條件として居り映畫人で而も俳優でこの名譽職に任命されたのは千恵藏が最初である、彼は

撮影が忙しいのでとお斷りしたのですが是非ともとのおすゝめでお受けしました少しでもお役に立てばと光榮に思つてゐます

と語つた

うはさ話

松竹蒲田の三四年新春映畫はオール・サウンド版「初戀の春」とオールトーキー「女と生れたからにや」▲近日上映豫告の常盤座の「夢見る唇」中央映畫館の「嬉しい頃」映樂館の「戀の市丸」はいづれも正月興行に廻るらしく▲日活館の「南海の劫火」映樂館の「黒衣の處女」中央映樂館の「いろはにほへと」が今年掉尾の大物となる模様▲そして早くも新春の陣容が噂に上つてゐるが、洋畫陣では「グランド・ホテル」と「キング・コング」が動かぬところで新春早々華やかな一戦が豫想される▲そして常盤座はワーナーを上映すると共にメトロを加へ從來のパ社と組んで洋畫陣を愈々強力化する計畫▲その間を縫つて帝國館を合資で洋畫専門館にする計畫が再び傳へられてはゐるが、物にならぬものと見られてゐる▲井田示君が常盤座をやめ寒くなつたので近日内地に引揚げる豫定だと

◇◇黒衣の處女◇◇

「制服の處女」で一躍有名になつたドロテア・ウイークとヘルタ・ティーレの最後のコムビものとして秋の映畫シーズンを飾つた獨逸トビス映畫で新鋭フランク・ウイスバー監督作品（來る廿九日から映樂館上映）

兩代表の私的會談 印度の取繕策

日印會商進展澁り勝

【デリー二十六日發國通】廿五日の澤田、ボーア兩氏の私的會談は印度側が質問に名を藉り日本代表部の肚を最後的に確めに來たものとみてよく、品種別割當量問題協議のため各地の當業者をデリーに招請したのは一つは英本國の態度が決定しないので回答が遲延するのを取繕ふための手段で、一つは今後の國内的紛糾を避ける目的で形式的にあらかじめ當業者の諒解を得んとする意圖に出たものとみられる、これによつて印度政廳は當業者に因果をふくめ、何等かの方法手段を講ずる事を代償として、この際政廳に於て講究しつゝある新代案の承認を迫るものと觀測されてゐる、日印本會議は目下の所早くも廿八日午後とみられてゐる

印度當業者招致協議會を開催

なほ相當の曲折あらん

【デリー二十六日發國通】印度當業者代表は政府招請で二十六日午後八時半カルカツタよりデリーに向つたが、印度側の情報によれば、この代表も二十七日には到着の豫定で、政府では同日午後官民協議會を開催の豫定だと、なほ一部ではランカシヤよりの返事遲れ、二十八日に日本に回答困難との觀測もある、會商の前途を支配するものとして注目されてる印度の態度に幾分の讓歩はあらうが、それは極僅少で結局は日本にも讓歩を求めやうとの觀側が有力である

日滿土建協會創立總會

廿五日新京に於て

日滿土木建築業協會創立總會は既報の如く去る二十五日午後二時より新京ヤマトホテルに於て開催、滿洲土建協會側より榊谷、高岡正副會長、小黑常務理事、大島書記長ほか大連、奉天より會員二十餘名、新京四十名、總計六十餘名出席

議事に入るに先だち榊谷氏發起人を代表して、本協會創立に至るまでの經過を報告併せて過般創立された奉天日滿土建協會を本會に合併することに就き、豫め諒解を求め、座長の推選に入り、榊谷氏を座長に推し議事に入る、先づ定款決定の件は原案通り可決し、役員選擧に移り

▲會長(一名)榊谷仙次郎氏

▲副會長(二名)高岡又一郎、張保先

▲理事(十名)(新京)丸山、宇野(大連)加藤、川邊、蔦井、三田(奉天)上木、陸(撫順)田中

▲監事(三名)(新京)畠山(大連)湯淺(奉天)董維基

▲評議員(二十名)略

を可決、次いで榊谷會長の就任挨拶あり、午後三時半閉會した、因に奉天日滿土建協會は本協會の創立により合併され、新に奉天に分會を創設することになり分會長に上木仁三郎氏が就任することに決定した次いで引つゞき同日午後四時からヤマトホテルに於て發會式を開催したが來賓として小磯軍參謀長、丁交通部總長、高橋實業部總務司長、竹内民政部總務司長、大村交通監督部長、藤根國道局長、阮國都建設局長代理、佐藤建設局長、荒木地方事務所長等日滿顯官四十餘名列席

榊谷會長の式辭に次いで菱刈軍司令官(小磯參謀長代讀)鄭國務總理、民政部總長(竹内司長代讀)交通部總長、實業部總長(高橋司長代讀)交通總長、交通監督部長、滿鐵副總裁(荒木地方事務所長代讀)滿洲國協和會長、新京市長、國都建設局長(結城總務處長代讀)國道局長等の祝辭朗讀あり、林滿鐵總裁以下數十通の祝電を披露引き續き祝賀宴に移り盛會裡に八時半散會した

十月中關東州主要國別貿易

日本は總額の六割六分

既報十月中關東州貿易を更に重要國別につき輸出入を見れば左の如くで、對日本貿易は(單位圓)

	十月中	一月以降累計
輸出	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
差引	[illegible]	[illegible]

となり、前年同期に比して輸出は十五割四分、八百八十八萬八千五百二圓を、輸入は十割八分、千三百六十萬四千六百八十九圓をそれぞれ著増、貿易尻でも前年より四百七十一萬六千百八十七萬圓の入超增を來してゐる、而して對日貿易の總貿易に對する割合を見るに輸出入合計六千三百十二萬五千圓に對し對日貿易は四千百八十九萬八千圓と約六割六分を占め、三分の二に該當、輸入に於ては八割二分といふ壓倒的勢力を占めてゐる今十月中に於ける主要國別輸出入額を示せば左の如し(單位圓)

	輸出	輸入
日本	[illegible]	[illegible]
内地	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]
臺灣	[illegible]	[illegible]
滿洲國	[illegible]	[illegible]
中國	[illegible]	[illegible]
香港	[illegible]	[illegible]
蘭領印度	[illegible]	[illegible]
露領亞細亞	[illegible]	[illegible]
英吉利	[illegible]	[illegible]
佛蘭西	[illegible]	[illegible]
獨逸	[illegible]	[illegible]
白耳義	[illegible]	[illegible]
伊太利	[illegible]	[illegible]
和蘭	[illegible]	[illegible]
米國	[illegible]	[illegible]
加奈陀	[illegible]	[illegible]
埃及	[illegible]	[illegible]

滿洲土建協會新京分館落成式

滿洲土建協會新京分館落成式は二十五日午前十時より八島通三四の分館に於て開催、榊谷、高岡正副會長以下本部役員、支部會員五十餘名出席、小黑常務理事の開會の辭に次いで高岡副會長より工事報告あり、榊谷會長式辭を朗讀式を終り、引續き落成披露の小宴を張つた

滿洲人仲買人役員改選

中央卸賣市場の

大連中央卸賣市場の滿洲人仲買人組合では二十六日午後組合總會を開き市場收拾問題につき意見の交換を行ひたる後役員任期滿了改選の結果、組合長に永年祥氏(重任)副組合長に連泰恒氏が當選した

船價も昂騰海運界は活氣

島田大汽庶務課長歸連談

大連汽船庶務課長島田信吉氏は同社所有船舶の保險料問題に關し東京海上保險會社と種々打合中だつたが二十七日入港うすりい丸で歸任した、最近の内地海運界の狀況その他につき語る

大體内地行の目的は保險會社にもつと保險料を安くしてくれといふ打合せだつたが、時節柄保險會社の方も却々鼻息が荒くて困つたが、どうやら五分許り讓歩してくれたので、自分の上京用件の目的を果して來た、保險金は一寸二千四百萬圓位で、年四十九萬圓の料金を拂つてゐるのだから保險會社としても好い得意先さ、海運界は遠洋近海ともによろしい、船價もグッと上つたので小さな船主なぞは保險金を増す向もあり却々好い景氣だ、從つて傭船契約も一時から思ふとずつと好くなつてゐた

新京の本年土建工費總額一二五〇萬圓

大島書記長景氣を語る

滿洲土建協會新京分館落成式並に日滿土建協會創立總會出席のため過般來赴京中の滿洲土建協會大島書記長は二十六日夜はとで歸連したが氏は語る

日滿土建協會は會員百八名、内滿人會員十四名で日滿土建業者が相提携融和して滿洲國の諸々の建設工事の圓滿な進捗を期すると共に會員相互間の親睦を圖らうといふ趣旨で創られたもので、今後滿洲國の土建界の發展に資するところ大なるを信じて疑はない、首都新京に於ける本年の土建工事は正に黄金時代の觀を呈してゐるが、本年度の工事費總額は諸官廳、滿鐵、會社の工事六百五十萬圓(官給品社給品を含まない)民間工事六百萬圓、合計千二百五十萬圓内外に達してゐる、この内建築工事が大部分で約九割を占め、一割が土木工事である、また工事材料としては砂二萬九千立坪、五十九萬六千圓、煉瓦一億箇百六十萬圓、セメント四十九萬九千袋、八十九萬九千圓、木材四千二百車、五百四萬圓、石炭一萬七千噸、二十萬圓、砂利一萬二千立坪、三十六萬三千圓、合計八百六十九萬八千餘圓を消費してゐる、主要工事としては關東軍司令部廳舍九十一萬餘圓、自動車隊本部三十一萬四千圓、國務院第三廳舍二十四萬六千圓等で十萬圓以上の工事は左の通りであつた

關東軍々司令部廳舍九一七、〇〇〇圓(大林組)新京自動車隊本部三二四、〇〇〇圓(松村組)▲關東軍部工事三三五、〇〇〇圓(大同組)▲國務院第三廳舍二四六〇〇〇圓(清水組)▲新京組立工場二八〇、〇〇〇圓(服部組)▲新京大使館宿舍一五二、八七〇圓(三田組)▲新京傳染病院一五七、一〇〇(長谷川組)▲滿洲電信電話會社一六八、六〇〇圓(戸田組)▲大同東住宅一五、〇〇〇圓(福昌公司)▲新京警察署官舍九五、六五〇圓(同上)

【其他一萬圓以上の工事は數十件に達するが、工事の大部分は竣工し、若くは内部仕上工事中のものである、尚ほ現在の新京の勞賃は左官が最も需要旺盛なるため滿人左官でも三圓以上の賃金を拂つて爭奪をやつてゐる個所もあるが、大體二圓三十錢内外でペンキ工の二圓等が最高の方である、其他の職工は日本人三圓乃至三圓五十錢、滿人一圓二十錢乃至一圓六十錢、滿人人夫は八十錢内外を唱へてゐるが目先は依然強調である

セールセメント 弗々企業化計畫

德山の石炭液料も好成績

廿七日歸連の栗原博士語る

德山における海軍側の石炭液化實驗に立會ひ、ついでオイルセールによるセメント製法に關し内地當業者と種々打合中であつた滿鐵中央試驗所長栗原鑑司氏は二十七日入港うすりい丸で歸連、船中語る

石炭液化に關しては海軍側、中央試驗所、昭和製鋼所等々において夫々專門的に研究されてゐるが、矢張り德山の海軍側の研究が一歩進んでゐる樣な氣がする、今度はその實驗に立會つたが、回を重ねる毎に好い成績をあげてゐる、今度の試驗で次第に工業化への曙光を認めらる樣になつたが、今一歩といふところだらう、つぎに撫順でオイルシエールをセメント原料とする試驗はかなり大仕掛に行はれ、好い結果を收めたので、内地の專門家にその成績を發表して色々それに關する意見を徴したがこの成功を知つて企業者連中にはこれを企業化する準備を行つてゐる者もある位だつた、滿洲におけるセメント界は小野田のみで、その他はまだこれから起されやうと云ふ狀態にある際だから、かうした金屬性の物質を多分に含んで、しかも生産費の安いものが出來る事は當業者にとつて一つの大きな問題であらう、このセメント製法に關しては特許をとつておいた

今度の上京は僕にとつては里歸りの樣なものだ、各方面の挨拶旁々行つて來た、明年度の事業計畫については未だ確定したわけではないから今のところ言へない、事業費豫算も年が明けねばわからぬが、大體六七百萬圓位だらう、電信料値下問題か、總裁が歸連の際話されたゞらう僕はあの問題は全然關知しないから何も話せない

小賣業者救濟の調査會を設立

産業組合との對立狀勢に鑑み

【東京特電二十七日發】經濟對策としての統制經濟主義の擴大は不可避であるとともに一般小賣業者の苦痛も增大し、その苦悶の結果或は産業組合排撃運動となり、各種購買組合絶滅の要望となり、産業組合との對立を激化して行く情勢が看取されるので、政府はこの際小賣業者を救濟する目的から何等かの制限を設けてこれを我が經濟界及び國民生活との實際に即せしむる方策をとるに決し、これに關する調査會を設立することゝなつた

ナチス經濟策その動向と成果

今月十二日のドイツ總選擧は豫期の如くナチスの大勝に終つた。選擧前既に他黨を排撃し、事實上獨裁制を施行してゐるのであるから、この勝利は大した意味はない、ナチス政權の存亡は寧ろ大掛りな經濟對策の實效如何による、それによつて國民の經濟生活がどの程度に改善されたかゞ問題である。

◇

過去數年間ドイツ政府の政策は緊縮主義によつて導かれた、深刻なる不況の裡に生産及作業の減退、物價及賃銀の低下は個人の所得を著るしく減少せしめた、しかのみならず全然收入の途を失つた失業者は尨大な數に上つた、政府は彼等に職を與へるといふよりは彼等に生活の糧を給付するため、社會保險其他の方法を操り尨大な金額を支出した、而もこの失業者救濟費は結局に於て國民の負擔に轉嫁され、個人の所得を激減せしめると共に購買力を低下した、それが延いて農産物加工業を初め一般工業の衰微を招來したことは明白である。然るに一九三二年下半期になつて右の如き緊縮政策は一段落を告げた、而してナチス政府の出現によつて事態は更に一變するに至つた、本年春になると失業者數は漸減し、尨大なる給職計畫の實施で新たに生産事業に吸收された勞動者の所得が加はつて勤勞階級の平均所得額は增加を來した、それは從來迄は失業救濟のため各人はその收入の一部を割かればならなかつたが、それが輕減され、一方就職者が增加を示したゝめである、他方に於ては從來課せられてゐた租税や、課金も減免され所得の減少を緩和した、例へば民税證券が企業家の收入狀態を著るしく改善したことはたしかであるし、又乘用自動車の租税免除、各企業に對する失業救濟負擔義務免除等も國民所得を更に增加せしめつゝある、然しながら最も重要な事實は地方政府の公債募集が今では直接の失業救濟費捻出のためには行はれなくなつたことである、現在では公債發行は給職計畫を賄ふために行はれつゝある、これが今迄の所では産業界に好影響を與へ、失業漸減の結果を生んでゐる。

◇

殊に給職計畫の實施で新たに生産事業に吸收された勞動者の所得が加はつて勤勞階級の平均所得額

◇

ドイツ景氣研究所の調査によれば本年七、八、九月の三ケ月間の勞動者、俸給生活者及官吏の收入總額は六十八億マルクと見積られ本年になつて初めて昨年同期の數字を超過してゐる、增加の原因は平均勤勞時間は稍長くなり、個人別所得も連れて增加したが、總額から言ふと大した額ではない、又賃銀や俸給も別に大した引上が行はれたわけではない、結局增加の根本原因は國内の生産事業による雇傭數の增加、卽ち就職者の增加に基くものである。

◇

始と共に産業界は回復步調に移つた、就中勤勞所得の低下は完全に喰ひ止められ、賃銀及俸給の減少傾向はなくなつた。

斯くの如くナチス政府の失業救濟計畫は多數の失業者を復職せしめ、同時に失業救濟負擔を輕減させ、國民所得の改善を齎した、然しながら購買力は今迄の所非常な增加を示したものとは見られない、たゞ兩三年來の著しい減少傾向がやみ、僅かに增加の步調に移りつゝあるのみである、例へば昨年同期を基準一〇〇として食料品衣服、織物類及家具の本年度の小賣々上狀況を窺ふに左の如くなつてゐる。

(各月平均)

	食料品	衣服及織物	家具
本年第一期	八六%七	八四%八	七九・〇
第二期	九三・八	九〇・九	八〇・八
七、八月	九五・七	九九・二	一〇二・八

要するにナチス政府の對策により或程度迄國民の經濟生活は改善されてゐるが、今の所では單に過去數年間の深刻なる不況から僅かに脱出したと言ふ位の所であらう

東株配當

七分五厘が適當 當局原案不承認

【東京二十七日發國通】商工省は二十七日午前東株今期配當案につき協議の結果東株原案(八分と八分五厘)を承認せず、七分五厘を適當とし此旨通達した

九年度滿洲向洋灰比率

【新京電話】昭和九年度の滿洲向出荷セメント比率は滿洲セメント協會各社協議會に於て査定委員を決定、左の如く比率を正式承認したが、九年度第一期(十二月より二月迄)の出荷豫定數量は新制會に於て決定する筈で大體年額三十三萬噸見當とされてゐる、割當比率左の如し

日本	一、七〇〇%
豐國	二、四〇〇
磐城	一、八〇〇
土佐	一、三〇〇
大分	一、七〇〇
窯業	二、七〇〇
七尾	二、五〇〇
宇部	三、五〇〇
淺野	三、七〇〇
小野田	一七、七〇〇
小計	三七、五〇〇
合計	六二、五〇〇 一〇〇、〇〇〇%

電報料問題

わしは關知しない

中田電々部長談

昭和九年度の事業計畫打合せのため去月十六日より上京中であつた電々會社技術部長中田末廣氏は要務を了へ二十七日入港のうすりい丸で歸連したが、船中語る

大連古麻袋市況

大連古麻袋市況をみるに本年度は奥地特産出廻り遲延のため荷動きなく閑散裡に推移して來たが頃日來新麻袋高につれ氣配硬化の折柄奥地よりの需要喚起し二、三日來弗々荷動きをみせてゐるので強含み商狀を呈してゐるが各銘柄別に二十五日の市況を示せば左の如し(單位厘、吉本商店調べ)

大連紅印三八〇、鐵筋一等三三五〇、鐵筋並一等三三〇、鐵筋上二等二二五、鐵筋並二等一八〇、鐵筋三等一五〇、青筋特等三七五、青筋一等三六〇、青筋上二等二六〇、青筋並二等二〇〇、青筋三等一六〇、三本特等三三〇、三本一等三〇〇、三本洗一等二九五、三本並一等二七五、三本上等二三〇、米空百斤袋二〇〇

鮮銀貸出激增

【京城發】朝鮮銀行本店の貸出は米穀資金並に冬物資金需要期の關係にて一日平均十五萬圓見當宛增加するので、結局十一月中には四千萬圓を突破するものと豫想されてゐる

同志倶樂部集會

大連市會同志倶樂部においては市場問題に關し河影池署長と市會代表折衝の結果、步み寄つた案に對する態度を決するため二十七日集會する筈のところ、所屬議員五氏不在のため十二月一日前後まで集會を延期した

黄塵

◇…飛行機で飛べば大連、チチハル間は八時間で着ける急用を持つ人々に取つては無上の利便時代となり、おのづから滿洲主要都市の距離が著るしく短縮された譯だが

◇…そのチチハルから飛行機で大連に歸つて來た人のはなしに、昨今チチハル、ハルビン等で消費される生活必需品の物資が大部分四平街から洮昂線を經てチチハルに輸送され、さらにハルビンには齊克、海克線の大廻り線で運ばれ、北鐵線には全然寄つて居ない、しかも値段は思つたより安く、料亭で飲む酒やビールなどは大連と大差ない程度だ

◇…北滿の物資といへばべラ棒に高いやうに思はれてゐるのに、この事實に接して案外だつたとの述懐だつた、別けてハルビン行の食料品は新京から北鐵南部線に連絡せず、大迂回して行くなどは大連では一寸想像が出來ぬ事柄だ

市況(廿七日)

特産

買戻しありて大豆踠り

今朝の定期は大豆は奥地筋及南支筋の買戻しありて踠り商狀を辿り豆粕は買氣薄に弱含を示し豆油は不申、高粱閑散保合を呈した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(強保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百三十九車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(惣含)單位厘

▲豆油(出來不申)

▲高粱(保合)單位

▲包米(出來不申)

出來高 三十一車

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)(裸物)	三八二〇	三八二〇
出來高	百八十車	
普通大豆(袋込)(裸物)	三七八〇	三八二〇
出來高	五車	
豆粕	一一八〇	一一八〇
出來高	一萬一千枚	
豆油	一〇八〇	一〇八〇
出來高	一千五百箱	
高粱	二〇〇〇	三〇〇〇
出來高	十車	
包米(出來不申)		

豆粕生産高(二十七日) 四一、〇〇〇枚 一八軒

定期喰合高(廿五日帳入)(△印前日對比減)

大豆	三二四一車	△二四車
高粱	七四〇車	△六車
豆粕	一六八三千枚	△一千枚
豆油	一〇四五百箱	—

錢鈔

材料牙えず鈔票保合

海外情報は倫敦銀塊現物先物共十六分一安、紐育八分一安、孟買十六分一安、米支二十五仙安、米英クロス二仙二分一安、米日十三仙高、滙申九七元二五、滙煙九七元〇五、大洋九七元九〇、神戸日米四分一高、滙水百八圓四分三乃至百九圓四分一、上海標金二三元安の弱保合を入れ當市は二十錢安

銀

海外情報は米英クロス二仙二分一安、米日十三仙安、銀塊も軟弱▲上海市場は上海標金滙水共保合を入れ當市も氣配變らず閑散な商狀を示し當市としても賣買双方共氣迷ひ濃厚である▲結局アメリカの市況次第の相場であるが米大統領のインフレ政策も失敗とみる弱氣的見解に對し▲強氣筋は米大統領もこゝまで來た以上徹底的にインフレを強行するであらうと觀測を下してゐる

株

大阪は諸株共ボンヤリ東京短期の東新は寄安の引高で百七十二圓臺と變らず不引立の商狀を呈し五品は一、二十錢安の弱保合であつた▲東新も四十圓方棒下げのアトとて多少の戻しはあつても然るべしと期待されたが、結局保合に止め▲地場株は相ら彈力性の乏しい商狀を繰返

滿鐵株(保合)

東短前場	
滿鐵新株	五十九圓四十錢
大阪短期	
滿鐵舊株	五十九圓八十錢

上海爲替情報

【上海二十七日發】材料不鮮明のため投機筋氣迷ひ、海外の特殊材料なく、弗二月物三四、八分の一賣手買手相場にて保合圓は棉花輸入デマンドありて寄鼻百九丁度と一段高かりしも忽ち百八、四分の三となる、この値止金銀行賣るも其他は百八、八分の五唱へにて大した商内なく保合、跡引續きデマンドありて弱含み

上海標金

寄値	七〇六元三〇
高値	七〇八元六〇
安値	七〇六元〇〇
止値	七〇六元七〇

綿糸

米棉現物同事先五、六ポイント安、米日十三仙高、大阪三品は期近一、二圓安乍ら先物は四圓搦み安と續落し當市はマバラ手仕舞ひと新規買で小手合せを見た

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	二月限	二〇五一	二〇
同	四月限	一九五二	一〇
同	同	一九三九	三〇

出來高 六千梱

市場電報(廿七日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊 同先物	一八片八分三 一八片一六分七
紐育銀塊	四三仙四分三
孟買銀塊	六六留比三分一
スチール	四五弗〇分〇
アナコンダ	一五弗〇分〇
英米爲替	五弗一九仙〇分〇
米日爲替	三〇弗七五仙
米支爲替	三三弗七五仙

神戸日米

第一回	三〇弗二分一
第二回	三〇弗二分一
第三回	三〇弗二分一

棉花

●米棉

現物	一〇仙一〇
十二月	九仙九一
一月	九仙九九
三月	一〇仙一三
五月	一〇仙二七
七月	一〇仙四〇
十月	一〇仙六〇

●印棉

ベンゴール	一三五留比
ブローチ	一七九留比
オムラ	一六九留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一三〇〇	一三三九〇
大新	一三八〇	一三六七〇
鐘紡	一三九〇〇	一三六〇〇
鐘新	一三一〇〇	一三一三〇
日糖	七一八〇	七一一〇
郵船	四四一〇	—
滿鐵	六〇一〇	—
滿鐵新	—	—
東株	—	—
東新	一七二〇〇	一七二一〇
(短期)大新		

	東新	
寄値	一三七一〇	一七二三〇
引値	一三四三〇	一七〇三〇
高値	一三四〇〇	一七〇七〇
安値	一三六五〇	一六九〇〇

	鐘新	滿鐵
寄値	一三一九〇	五九八〇
引値	一三〇九〇	—
高値	一三〇〇〇	五九九〇
安値	一三〇二〇	五九五〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	[illegible]	[illegible]

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二四四〇	二四〇〇
中限	二三九一	二三九〇
先限	二四〇五	二三九八

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	二三七六	二三六九
中限	二三七一	二三六七
先限	二三八〇	二三七一

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三〇〇	二三八二
中限	二三〇一	二三九三

商品

綿糸續落

大連埠頭着貨物

各地特産着送高

爲替相場

手形交換高

鮮銀

奥地相場

錢鈔

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價　一部金五錢　一ケ月金一圓二十錢　郵税金十一錢五
廣告料　普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢　場所指定二割以上加算
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

在支公館の權限擴張　臨機の行動を敏活に
各省の獨立機運を豫見し　外務當局の對支策

【東京特電二十七日發】福建獨立を導火線に國民政府の中央集權動搖し各省の獨立氣運を釀成しつゝある狀勢が看取されるため我が外務首腦部では在來の駐在公使を中心とせる外交政策は將來擡頭する事あるべき事項を發生する場合多大の不便を來すを恐れこの際在支各公館の組織權限を改正擴充し地方的事件發生次第これを解決し支那の新事態に適合せしむるよう統制すべきであるとの意見の一致を見北平、上海、廣東の主要都市の公使館總領事館に有能なる外交官を配置し福州の事件の如きは軍部と協力し迅速且斷乎として主力的手段を講じ得るようなすと期待さる

實質上地方政權の存在を尊重する
不法行爲は斷乎排撃

【東京二十七日發國通】福建獨立新政府の機構についてはその後外務省へ到着せる報告によれば新政府は大體國民黨左翼黨共產黨右翼黨の合作になるもの丶如くその掲げる政綱の如きも表面頗る共產主義的なるが今後の發展をみなければ何れとも決定し得ざるも新政府に對し我外務省は次の如き態度をとるに決定してゐる
一、福建獨立運動の歸趨は今俄に何れとも斷じ得ないが各地方政權の勢威を實際的に尊重せざるを得ない狀態である
一、依つて我國としては我權益の實質的擁護をはかる意味から地方政權と必要なる折衝を行ふ用意を有するものである
一、しかし乍ら何れの政權にしても若し排日抗日運動を行つて我利益に抵觸する事あるに於ては之が排除のため必要なる手段を執るべき決意を有する者である

蔣介石氏下野說の出所

【上海特電二十七日發】目下流布されてゐる蔣介石氏下野說の出所は蔣介石氏から中央委員に宛てた胡漢民氏抱き込みの援助懇請密電が漏れ反蔣派にこれを利用されたものと見られてゐる

天津英租界に辦事處を設置

【天津廿六日發國通】何應欽を筆頭に……

蔣介石氏廬山に時局會議召集
近く中央要人大評定

【南京二十六日發國通】福建の獨立運動は反蔣勢力に一大刺戟を與ふると共に蔣介石氏の獨裁南京政府及び國民黨の基礎に對しはかり難き衝撃を與へたが確聞するところによれば蔣介石は近く廬山に……精衞、孫科、張群等を始め中央要人を招致し一大時局會議を開催する事になつたと右會議で檢討されるべき重要問題は大體次の諸點であるといはれてゐる
一、對福建軍事工作

屬僚任せは駄目と藏相へ膝詰談判
大角海相飽まで强腰

【東京二十七日發國通】停頓の海軍豫算は荒木海軍主計少將と藤井大藏省主計局長の事務的折衝に一縷の望みがかけられてゐたが廿六日夜藏相官邸に於ける大藏省議の結果藤井主計局長の心境に急激な變化を來したので事務的折衝は絶望に歸した依つて大角海相は藤田次官以下を官邸に招集し廿六日夜深更に至るまで政治的折衝の對策につき考究の結果海軍としては飽迄一億三千萬圓の素志を貫徹する外譲歩の餘地なしといふに意見の一致を見るに至つたので大角海相は高橋藏相を訪問し直に政治的折衝を開始することゝなつた

は二十七日夕刻官邸に高橋藏相を訪問、會談四十分にして辭去したが高橋藏相は鐵相に對し國家財政の前途を深慮するならば海軍省初め各省の復活要求を鵜呑みにする譯にはゆかぬと依然心境變化なき旨を述べ各省大臣も此の際國務大臣として財政問題に深く心を致して貰ひたいと頗る焦慮の深まれる態度を示したが、鐵相は何等か政治的に解決の途を發見するやう進言するところあつた、然し高橋藏相より積極的に大角海相に會見を求めることは

ないらしく今のところ首相の乘出し以外全く解決の途なきものと見られる、而も鐵相の言によれば藏相の態度は依然强硬で政治的解決も果して成功するかどうか政局の前途漸く危まれるに至つた

政治的折衝も成功至難

【東京二十七日發國通】三土鐵相……

首相乘り出す
藏海の豫算戰斡旋に

【東京二十七日發國通】海軍豫算は依然し高橋大角兩相の政治的折衝に俟つ事となつたが更に困難な事態に逢着すべきを憂慮した齋藤首相は二十八日閣議前後高橋大角兩相と個別的に會見し最後的斡旋に乘出す事となつた

【東京二十七日發國通】海軍省を始めとする復活要求は事務的折衝に依る解決は全く不可能となり高橋藏相と關係閣僚との政治的折衝の結果に俟つより外に餘地ないので豫定通り二十八日に臨時閣議を開く事を止めとなつた、從つて二十九日以後に臨時閣議を開いて豫算問題を審議する事になるであらうが、齋藤首相は場合に依つては二十八日の定例閣議散會後高橋藏相、大角海相、荒木陸相、後藤農相等の關係閣僚に居殘りを求め齋藤首相自ら乘り出して最後的折衝

村上經理局長海相に報告

【東京二十七日發國通】海軍上經理局長、荒木主計少將は……を行ふ事になる模樣である

陸軍各部局の要求を削減
圓滿に解決を見ん

【東京二十七日發國通】陸軍小野寺經理局長並に大內主計課長は二十七日午前大藏當局と事務折衝を重ねて明年度陸軍豫算の復活要求に……

農林省側再復活要求

鈴木總裁に報告
鳩山文相から

遞信復活要求

和蘭向け豆粕輸出に打擊
家畜飼料輸入制限令

考查部設置
樞府審查委員會開く

印度官民協議會
棉花關係者も加へて

榮中銀總裁

「世界經濟と滿洲」
光榮會より發賣頒布

七分六厘に決定

郡工務課長出張發期

軍司令官歸着

獨駐日大使

市長一行

北は大丈夫だ！重心南に移る
門司にて　杉村陽太郎氏談

稅務署長會議

李氏調停に起つ
福建方面へ代表派遣

韓復榘、對蔣通電
人事行政不當を彈劾

宋子文氏計畫の棉花大農場國營案
米援助し着々具體化

佛ショータン內閣成立

外相主催の日米懇談會

遠藤總務廳長

海軍大學卒業式

社説

無電王歡迎

マルコニー侯夫妻は讓に日本を訪ひ、我朝野の大歡迎を受け畏くも勳一等旭日章を賜はつた朝鮮、滿洲を視察して支那に赴く筈であるが、二十八日朝大連に到着する。マ侯は無電王としてその名四海に響き渡り、三尺の童子と雖もその盛名を知らぬものはない。その業績の如きも勿論此處に贅する必要はない。實に世界の文化を一轉させた大偉人として天下萬人の崇敬する所である。イタリアの國寶的人物たるはいふまでもないが、實に世界の至寶である。安東の我社通信員にも語つてゐる如く、侯はその偉業を以て尚足れりとせず、更に研究に沒頭し、殊に短波無電について研究し、テレビジヨンの研究は完成に近づいてゐるとの事。その研究心の旺盛なる欽仰に値ひする。大連の地今や此世界的偉人を迎ふるに當り各界の歡迎する所たるは無論の事だ。吾人は玆に侯の文化的功績を讃歎するの機會を得たるを光榮と爲し、その一路平安を祈つて已まぬものである。

統制政策とその考察點

今の世界は總ゆる方面に統制論が振り翳される。人間生活が漸次組織化されるに隨ひ、各般に亘つて社會の統制化を圖る必要あるのは無理でない。隨つて大衆の均等的利福保護の爲に、經濟統制の支配下に產業貿易の一般的强化が唱へられる譯であるが、併しながら、統制といふことはいふまでもなく人工的である。人工を以て自然的發展を支配しやうといふのであるから餘程巧妙に愼重に取扱はれねば角を矯めて牛を殺すの害がないとはいはれない。殊に統制經濟の意義が一般に徹底されざる憾みがあつて、一般の資本家並に企業家に可なりの恐怖を與へ、その投資心、並に企業心を萎縮させてゐる。

◇

坊間傳へられる砂上の偶語をきくに、一時アレほど旺盛であつた對滿投資熱は、近來內地資本家の間に悲觀され始めた。それは資本主義に對する世論の風潮に因する點もあるが、同時に今や流行となれる統制論が、一般事業家の進出すべき餘地なきを思はしめてゐるからでもある。今の經濟は何といつても資本主義機構の上に立つ。極端な資本主義が、中小商工業や大衆の利福を侵害した弊害の少くないのは言ふ迄もない。併し總ての事業に資本を要することは亦いふまでもない。自然資源を利化するものは人智であるが、その資源と人智とを聯繫させ、融合させ、利化の實功を擧げしめるものは資力である。然るに知識ある者が資力を提げて企業に手を染めんとするに方り、そこに資本主義抵制てふ人爲的障壁がありとするならば、彼は甚だ迷はざるを得ぬ。此處に果して安んじて開發事業が芽生え得るであらうか。これは所謂統制の眞意義に徹底しない爲の現はれであるかも知れない。併し世間一般の常識では、この種の見解を以て或る種の統制機構を眺め、資本の投下を躊躇し、萎縮して居るのである。行政の局に當る人々の考察點ではなからうか。

◇

議論としての沙汰は姑く擱き實際問題として統制に對する多くの疑義がある。例へば米の豐作に本づく內國政府の指導がそれだ。就中朝鮮や臺灣などの米作段別を削減して、或は甘蔗作へ、或は綿作への急轉向を企てた如き、それ自體が一種の統制工作の現れであつたが、各地方の實情は容易にさうした轉向を准さなかつた。又更に滿洲に於ける大衆燃料たる石炭の如きも、そこに國家の大局から見て縱に亂掘を許すべきでないのは明白だ。併し既存の小炭坑が所謂狸掘りに依つて、地方大衆の日常生活に、幾十年來補償し來つた小中生產業者に安價な燃料を供給し、且つその燃料に依つて地方經濟に適宜した必需品を得させて居るのは事實だ。

◇

隨つて國家が必要とする統制機構はさることながら、萬一それの間接影響の爲に、地方に適はしい小產業の基礎を破壞し、若くは大衆の必需品に非常な不便を來さざらん爲には、燃料の補給を他に求め得ざる土地柄から餘程按排されねばならぬ。さうした觀念が他の各種資源に對する個人の勇氣を挫さ、多數小中資本若くは個人に望ましい企業熱に差障りを與へて居る。これは吾人が統制その者の是非を云爲するのでなく、統制の名に依つてなされた行政工作のうちに動もすれば或る誤解と不便を一般に感じさせて居ると思ふからの諷言である。

積缺整理の現金を債權者へお裾分け

滿鐵〝善政〟を讃へらる

張學良軍閥に對する積缺整理問題は既報のごとく二十四日最後の決定を見て發表されたが、日本人債權者に關する分は約二百五十萬圓で、その內四十四萬圓は滿鐵が占めてゐた、しかして右積缺の內各債權者一樣に現金償還五割五分、積缺公債償還四割五分であつたから滿鐵が受くべき現金償還は約二十四萬圓に達したが滿鐵は一般邦人債權者の利益のために全額を積缺公債にて償還を受けて差支へなき事を欣然承諾したので、右二十四萬圓の現金は邦人債權者六十名に按分しその代り邦人債權者より相當額の公債を滿鐵に交付することになつた、よつて邦人債權者代表大信洋行專務石田榮藏氏外三名および奉天商議會頭代理野添書記長は二十七日滿鐵本社に出頭右現金と公債の授受を行ふと共に社內關係方面を歷訪して滿鐵の好意を深謝するところがあつた、右につき野添書記長は談る

今度滿鐵が當然受くべき現金償還を辭退して一般邦人債權者の方へ廻して下さつたことは非常な善政でこれによつて助けられた邦人債權者團としては感謝の外なく我々斡旋役をなして來た商議關係者としても喜びに堪へない次第です、積缺問題は隨分むづかしい問題であつたが、邦人債權者の申告は事變直後になされたものだけに一點の疑惑を挿まれることもなく、又滿洲國側も內外人を一視同仁して同樣の取扱ひをなし、すべて圓滿に片付いたことは滿洲國のためにも債權者團のためにも同慶の至りだと思つてゐます

鐵道部大量異動

全線現業四百五十名

併しこれで一段落

滿鐵々道部から鐵路總局および路局に轉出する社員はその後同部庶務課で種々調査詮衡の結果總數二百四十一名（內譯月俸者百八十二名、雇員三十一名、傭員廿八名）に達しそのうち月俸者十五名が建設局に轉出するのみで他は全部總局に移るものである、而して鐵道部ではこれ等轉出社員の補充に伴ひ滿鐵全線現業方面で約四百五十名の根本的大異動を斷行したが鐵道部が輸送繁忙期を前にしながらかく近年稀な時季外れの大異動を行ふに至つた理由は今春來鐵路總局行き社員の未確定に伴ひ兎角現業方面が浮き腰で仕事に落着かぬ傾向がありかくては大切な特產輸送の成績にまで影響するが如きことがあつてはとの懸念から出たものでこの際根本的異動を行ふことによつて從事員の安心を求めたものである、從つて從來小刻みに殆どつゞけられてゐた現業方面の異動も今回を以て一段落を告げ今後當分は現狀で進むことゝなつてゐるが轉出社員および異動者の主なるものは左の如くで何れも二十八日附社報を以て正式に發表されることゝなつた

◇

[illegible]

異動評

[illegible]

阪神間鳴尾地先埋立工事促進

山下側滿鐵と折衝

阪神築港會社は山本總裁當時、日滿倉庫と共に滿鐵の內地に於ける足がゝりとして計畫設立されたもので、阪神間鳴尾地先に於いて六十萬坪の埋立築港をなすを目的とし資本金一千萬圓中四分の一拂込みなし山下汽船六割、滿鐵四割の株を所有して居る、しかるにその後不況のため工事着手に至らず今日まで放置されてゐたが山下側はしきりに工事着手を希望し屢々滿鐵と折衝を行ひ來り最近は景氣回復したると日滿間の經濟關係密接になりたるとにより再び工事着手論が優勢となり十月中に漸く起工式を擧げ新技術長の選任も濟み工事を進めるのみとなつた

しかるに上記四分の一拂込みの二百五十萬圓は埋立權や漁業權の買收、浚渫船及び土運船の購入等にあてられ今後埋立工事を進めるには拂込みを行ふか又は借入金をなすかの二途あるのみで、そのいづれによるかはデリケートな關係があり、これが打合せのため滿鐵を代表して同社常務取締役となつて居る平山東京支社次長は二十七日飛行機にて來連、本社關係方面と打合せを行ふところがあつた

同社は前記のごとく山下汽船が六割の株を有し滿鐵よりも大なる發言權を有して居るが同社は拂込みによるを好まず借入金によらんとして居る模樣で、借入金によれば傍系會社といふ看板から自然滿鐵が保證する地位に立つわけであるしかし四分の一しか拂込みをせぬ會社が事業着手資金をすら借入金で充當することきことが合理的であるかについては滿鐵內部に相當議論があり、まづ拂込みをなすべきであるとの主張があるので滿鐵と山下の間に今後なほ折衝が行はれる模樣である

上京商議四氏折衝の趣旨

四氏の述べた意見要旨

高田大連、庵谷、向坊奉天、加藤ハルビンの各商工會議所會頭は上京中大要次の趣旨の意見を以て各方面に接觸するところあつた

高田友吉氏

滿鐵改組問題に就いては未だ具體案を詳知しない今日別に批評がましいことは述べないが、改革の必要であるといふ趣旨には恐らく何人も反對するものはあるまい、唯之を行ふ上に於いては一部の人々の間に秘密に計畫を進めることなく廣く各關係方面の意嚮を徵し且つ國民の周知する方法によつて之を行はれたいと思ふ、それでなければ財界初め一般は不安に陷り改革の趣旨を實現する上に意外の

[illegible]

加藤明氏

[illegible]

庵谷忱氏

[illegible]

向坊盛一郎氏

[illegible]

歳末大賣出し第二回打合

きのふ正式に決る

[illegible]

滿鐵重役會議

[illegible]

滿鐵辭令

[illegible]

大觀小觀

十九路軍正規兵、我總領事館のランチに射撃を加ふ、此種の小さい愛國心の發露は困り物だ▲十九路軍といへば、上海以來のおなじみ、まんざら知らぬ仲でもない、お馴染とあらば相手をしてもよからう▲福建政府が北支に觸手を伸ばせば西南派までも手を出す、丸い物さへ持つて來れば、こちらでも手を出す者がないでもないから物騷千萬▲韓復榘君、側近の奸を除けと蔣氏に痛い所をチクリ、此際針程の事でもこたへる▲蘇聯政府も米蘇復交やら、新疆を手に入れたので高くとまつたものか、北鐵交涉一向音沙汰なし▲日印會商の方は、双方委員共に、何とかして物にしやうと苦心慘憺、この誠意の合致が、近く意見の合致を見さうになつた▲宋子文君、世間で噂さるゝ樣に思ひ切つた反蔣運動をおッぱじめさうもない▲矢張り全國經濟委員會に噛りついて、棉花大農場國營案といふものを描き出した▲江蘇の鹽田一千三百萬畝を棉田に變じ年額一千三百萬石の優良棉花を產出せんといふ▲農具、技術はアメリカに援助を請ひ、米支合辦の拓殖公司を作る、相變らずアメリカで相撲取る算段

人事

▲大藏公望男（貴族院議員）約二箇月間滿洲各地視察中のところ二十七日朝周水子發、旅客機にて歸京の途に就いた

▲石村長吉氏（チチハル建設事務所長）二十七日午後四時二十分發列車にて歸任

▲宮崎正義氏（滿鐵經調幹事）同新京へ

▲遠藤隆次氏（滿鐵教育研究所理學博士）同奉天へ

▲水谷光太郎氏（滿鐵顧問）二十七日午後七時半着列車で來連

▲バロン・バイヤン氏（白耳義銀行頭取）同上

▲粟野俊一氏（奉天地方事務所長）同上

辭令【東京廿七日發國通】

山梨縣書記官內務部長 佐藤正俊

依願免本官

前秋田縣書記官 松岡四郎

關東軍特務部員を命ず

關東廳辭令（二十七日）

遞信局書記 大野藤一郎

任關東廳遞信副事務官

叙高等官七等

關東廳遞信副事務官 大野藤一郎

九級俸下賜

遞信局監理課勤務を命ず

領事從六位 太田知庸

兼任關東廳事務官

叙高等官五等

領事兼關東廳事務官 荒川先雄

免兼官

學校より家庭

慨歎生

◇本欄にて某父兄は中等教育は青春を徒費する無味乾燥なる教育だと申されたがそれならば男女共學にでもして大いに青春を享樂させよと云ふのか、某父兄よ「一聲を大にして當局の反省を求めねばならぬ」と云はれたるが

[illegible]

家賃の値上げ

平和臺生

◇私達は平和臺郵便局近くに住むさゝやかな俸給生活者ですが、先日家主より突然、十二月分より家賃は二十二圓より二十七圓に値上げする旨申渡されました

◇諸事物價高の冬期に入つてこの思ひやりのない値上（二割三分）は私達のみに課せられた難題としてのみでなく、充分社會問題として取扱はれる價値あるものと信じます。

◇我等忍ぶべきか、抗すべきか、双方のいひ分御調査の上、權威ある貴紙の嚴正な筆によつて何分の裁斷の下されんことを望みます。

市況（廿七日）

株式

內地變らず五品釘付

內地主力株保合を入れて當市も氣配變らず五品は閑散裡の釘付商狀であつた

[illegible]

特產

邦商の賣長に大豆軟調

後場大豆は邦商の賣長に軟調を辿り豆粕も人氣引立たず閑散保合、豆油、高粱は買氣なく不申の不振を示した

[illegible]

錢鈔

材料薄で保合閑散

後場材料變らず當市も保合にて氣乘薄閑散

[illegible]

商品

麻袋變らず綿糸保合

麻袋 氣配保合なるも乘替商內にて相當手合せをみた

綿糸 大阪三品保合を入れ當市も氣乘薄閑散

[illegible]

奥地市況

[illegible]

市場電報

[illegible]

佈告（第二回）

日本陸軍士官學校入學希望者中在滿志願者に對する便宜上去る十一月一日本官佈告中の應募の要領を次の如く行ふことを得

大同二年十二月十五日迄に駐日本國公使館附武官曹達泰の許に到着する如く確實なる保證人連署の願書並日本人醫師の健康診斷書を添付して提出し大同三年一月中旬迄に曹武官よりの受驗命令を受けたるものは同年一月二十八日午前七時迄に日本國東京に至り駐日本國公使館附武官の許に出頭し受驗に關する指示を受くべし

履歷書樣式

姓名（二個以上の名を有するものは括弧を附し併記すべし）

年齡（生年月日）

原籍（詳細に記入すべし）

滿洲國の官職（官職あるもののみを記入す）

學歷（修了學校名を記す）

日本語修得の程度（日本語及日本文の程度を明記す）

日本到着豫定年月日（大同　年　月　日東京到着）

希望兵科（步騎砲工輜重等の一科）

以上

大同二年十一月二十日

軍政部總長 張景惠

本社の諸拂は廿八日中です

滿日社會計部

家庭

家庭の電熱器

邪慳に取り扱ふとすぐ腹を立てる

經濟には電熱線を引く事 我マダムへご注意

スヰッチ一つによつて何事も容易に操作することの出來る電氣の應用は他の何物も及びもつかない便利さを持つてゐて近頃は正に電氣時代とも云へませう、從つて家庭への電氣の進出も目覺ましく電燈、電氣アイロン等は今更申す迄もなく普及されきつてゐます、そして電氣コンロ、ストーヴ等の電熱として臺所へ進出し始めてゐるのです、しかし電氣は非常に正直なものなのです、可愛がつて使用して行かないと直ぐ火を吹き出したりして思ひもよらない災害を蒙ることがあります、家庭の電熱器使用について注意しなければならない點を二つ三つ……

滿電から配電されてゐる滿洲の家庭では電熱用配線がなくても電燈線から容易に電熱器の恩惠を受けることが出來ますが、滿電では電燈用として電氣を送る場合に一燈について一キロワットまでの電氣を使用出來るだけに設計してあります。從つて使用する電熱器に入用な電氣が一キロワット迄ば使用しても安全なわけなのですが、この場合は精一パイに使つた場合で確實に安全と云へない事情が起る時に危險を伴ふことがありますから先づ七百五十ワット位まで丶止めた方がよいのです。一キロワット以上の電氣のいる電熱器を使ふ場合には是非とも電熱線を通じて送電を受けなければいけません。

この點は單に電氣料金の上からも云へることで、普通メートルをつけた電燈料金は最初の三キロまでは一キロ十二錢、次の三キロは十一錢、その餘は一キロ十錢の割合であるのに、電熱用として特別に送電を受ければ、一キロワット電熱器一つを基準として最低料金一圓五十錢の外に、一キロワット四錢の割で非常に低廉となります。一キロまでのものでなくても電熱器を使用される場合は電熱線を新に引かれる方が經濟なことがお判りでせう。

また電熱器を使用するには電燈線でしたら必ずメートル制でなくてはいけません。定額燈は電燈としては普通使はれ標準電氣料金なのですから電燈に比べて非常に電力のいる電熱器を使用するのは盜電となります。メートル制でも一應は電氣會社に何ワットの器具を使はれるかお申込みになる必要があります。電熱器を購入される場合は粗惡品も間々ありますがこの頃では家庭で相當多く使用され、また取締りにも嚴重になつてゐますから信用のある店の品物でしたら先づ安全で安心して使用出來ます。

以上の如く使用する電熱の所用電力が幾らあつてそれが七百五十ワット位までなら電燈線から使用出來る點を注意してさへゐれば漏電等の心配はないのです。

高山晴男氏 影繪再公開 ◇幾久屋で

わが國におけるカットペーパー界の權威者として知られてゐる、高山晴男氏は、今夏來連以來、大連三越支店を皮切りに、奉天、新京營口等において公開頗る好評を博しましたが、二十七日から向ふ四日間、市內幾久屋デパートで大連での再公開、頗る人氣を呼んでゐます

桃色讀本 第二課（武田一路畫）

氣にかゝる帶のくづれ

羽織なしのご盛裝に ―この心懸が肝腎です―

羽織なしの御盛裝の場合は帶のくづれが一番氣になります。帶を締める時前を高く後を低くしますとどうしても早くくづれますから最初に前から後に廻す時五分位後を上り目に締めてごらんなさい。容易にくづれることがありません。帶が下らないやうにと帶揚を無茶にかたく締める方がありますがこれは胸を壓迫するだけで大した効果はありません。それより最初に帶を締る時しつかり締ることと、人絹のまじつたものなどどうしても結び目がゆるみますから紐で結び目の上を結へて置くとよいのです。

帶の位置はこの頃では極端に高いのは流行りませんが、それでも若い人ほど上に締めますからさういふ方は袖附も少くなさらないといけません。袖附が多いといくら帶を上に締めても下つて來ますし、餘り上にすれば袖附のところが無理しておかしな皺が出來ます。お尻の大きい方は結び方によほどご氣をつけないとお尻が歩いてゐるやうで下品に見えます。帶巾を幾分廣目に仕立てることも必要ですが法外に廣くするわけには行きませんから

結び方を工夫するより他ありません、背の高い方なら普通より大目に結べばよいのですが低い方が帶を大きくするとよけいにズングリに見えます。垂れをや丶長くして掛を最初引出して結んだ時にその折返しをタップリ出しますとお尻がいくらかかくせます、又お太鼓の形を夏の巾のせまい帶を締める時のやうにかけさわの端を少しづつ兩方に見せるやうにしますと全體の調子がついて自然お尻の大きさを誤魔化すことが出來ます。

冬の家庭藥

☆…ベルツ水の…☆ …作り方二つ…

冬になると大抵の御家庭ではベルツ水が用意されますが、これも脂肪性の方と荒れ性の方とでは違つた作り方をしなければなりません

荒れ性向き

アルコール	五〇瓦	（十錢）
グリセリン	五〇瓦	（十錢）
炭酸加里	二瓦	（一錢）
硼砂	四瓦	（一錢）
ベルガモット油	一瓦	（六錢）
水	一〇〇瓦	

【作り方】炭酸加里と硼砂を水に溶かしこの中へグリセリンを入れます、別にベルガモット油をアルコールによくまぜておいて最後に混合します、この液は白く濁つてゐますが漉すと美しい液となります。

脂肪性向き

アルコール	五〇瓦	（十錢）
グリセリン	五〇瓦	（十錢）
水	一〇〇瓦	
苛性加里	一瓦	（三錢）
ローズ油	一滴	

【作り方】先づローズ油をアルコールにまぜて置きます、苛性加里は水に溶かしこれにグリセリンを加へて混ぜます、その中にローズ油のまざつたアルコールを靜かに掻き廻しながら入れると出來上ります。

……◇……

出來上つたベルツ水には他の藥と區別するためにフエノールフタレンを一滴落すと櫻色の美しい液となります。そして御使用の節は乾くまで根氣よく摩擦するのがよいのです。

ダンス是か非か 6

まだダンス崇拜時代 聽て見出さうステップの正道

滿鐵社會課社會主事 中根信愛氏談

全然ダンスを認識しないものがダンスを語るといふのは妥當を缺くと思ひますから私の話も單に私一個の考へとしてきいて頂きたいのです、去年の恰度今頃例の大連の社員會でダンスホールを設けるとか設けないとか大分さわいだことがありましたね、奉天でも最近社員會でダンスを絕對に排擊しやうといふ氣分が可なり濃厚のやうですが、私としてはそれほどご目の敵にして騷ぐほどのこともあるまいと思ふのです、といつて勿論ダンスを獎勵するわけではありません

私共の小さい時分「ジヤンギリ頭を叩いて見れば、文明開化の音がする」といふ俗謠をよく聞いたものですが、その時分の日本人の歐米崇拜熱は到底今日の比ではなかつたやうです、明治維新になつて歐米諸國との交通が開け我國の文明の程度が遙かに歐米におくれてゐるのがわかつてから日本政府や日本の先覺者達は歐米の文化を日本にとり入れるために全く血眼になつたのです、そして歐米のものといへば何でも彼でも有がたがり、西洋人といへば自分等より數等上の人間のやうに考へ、若し洋行でもして歸らうものならまるで後光がさしてゐるやうにえらく思はれたものでした、

この時代思潮は國民全體の頭に深く浸みこんで、それが傳統的にずつと長い間日本國民の頭に潛在してゐたのです、又現に今日の日本人の大半が未だこんな意識をもち續けてゐるのではないでせうか？、ところが歐洲戰爭以後日本は一躍その國威を全世界に認められるやうになり、滿洲事變によつて更に國威を宣揚し、遂には聯盟を蹴とばして堂々と濶歩し得るほどえらくなつたのです、長い間外國の尻についてその後塵ばかりを拜して來た日本がいよ〳〵肩を張つて大威張りで歩ける日が來たのです

歐米諸國の偉さばかりに感心して自分の力を知らなかつた日本がやつと自分の力に氣がついたのです、そして長い間ほとんど忘れてゐたわが祖國の長所——そのすぐれた國體や傳統や國民性を再認識する日が來たのです、國民主義、日本主義、日本精神にかへれの聲が今日ほど切に叫ばれたことは曾てない事です

ダンスは無論のこと英語ですら今後は必要以外には有難がられることはありますまい、しかしダンスは一部の人々の趣味として娛樂として或は運動として今後も相當行はれるでせう、そして今日では往々その正しい道を踏み外して邪道に墮ちる人達も追々は本當の社交ダンスといふものを理解し進んではそのダンスにわが國獨自の往き方を見出すかもしれません

RADIO

大連 JQAK 二十八日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特産株式、各地相場）
▲正午　時報
▲午後零時五分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース、職業紹介事項
▲午後六時三十分　マルコニー侯歡迎の夕、講演「マルコニー侯を迎へて」滿洲電氣協會々長八田嘉明
▲午後七時「マンドリンオーケストラ」滿鐵音樂會マンドリン部（一）「カーニバルオブヴエニス」（二）ローマの謝肉祭（二）ヴエニスの謝肉祭
▲午後七時十五分　箏曲「千鳥の曲」箏本手福永大勾富、箏同福森勾富、替手福次大授導、尺八草崎圭山、新日本音樂「春興」宮城道雄作曲、本手福次大授導、同小笠原松子、替手福森勾當、尺八草崎圭山
▲午後七時三十分　長唄「吾妻八景」唄杵屋彌代治、三味線杵屋和壽々、ヒアノ伴奏村岡樂童
▲午後七時五十分「歡迎の辭」ヤマトホテル歡迎會場より—大連市長小川順之助「答辭」—ヤマトホテル歡迎會場より—グリエルモ・マルコニー
▲午後八時三十分　時報、ニュース、氣象通報

東京 JOAK 二十八日

▲午後六時三十分講演、演題講演者未定▲午後七時ラヂオドラマ、放送文藝懸賞當選發表「ヤップ島物語」中井彌惣次作、時一九三三年夏、所南洋ヤップ島（配役）岩田猛（友田恭助）岩田の友人野村仙次（藤輪欣司）混血兒マーシャ（田村秋子）高田五兵衛（東屋三郎）川合剛太郎（伊藤正一）醫師佐竹惣一（菱刈高男）其他カナカ土人、近所の人、通行人、看護婦等大勢▲午後七時四十分義太夫「双蝶々曲輪日記」（引窓の段）淨瑠璃竹本相生太夫、三味線鶴澤清三郎

卓上日誌

▲旅順第一尋常高等小學校　二十七日午後一時から支那語會開催この日は四年以上の兒童が面白い支那語の會話や劇などをする筈
▲大連朝日小學校　十二月二日午前九時から學藝會開催

本社特選 新棋戰（其四）

平手香落番交 二段△松下力
初段▲近藤孝

【圖は五三銀迄の局面】松下氏持駒 歩

△	▲
五四歩	六二銀
四六歩	四二金上
四五歩	三三銀
五五角	八四飛
七七桂	九三桂
四四歩	八六歩
六五桂	八七歩成

累計五十六手

土居八段講評

近藤君は三三銀と退却するやうでは、自營萎縮して指しにくい、四五同銀、二二角成、同玉と強く指して攻防に努むる處である、松下君が五五角以下手順に桂を六筋へ捌いたのは鮮かである、近藤君の九三桂以下の指手は姑息な攻防手段だ、一三角と上り次に飛車を五筋に於て利用を圖る處である。

萩原七段解說

松下君は前回敵の四四銀の弱手に依り六筋に位を取り、而も又、五四歩と打つ順になつては位得で十分に指せた陣形となつた、次に四六歩は、四五歩突きを窺ひ、角の交換が出來れば五三歩成以下七一角の順を含むものである、近藤君の四二金上るは五筋の防備を堅めたものでこの際至當な手である、松下君の四五歩は、敵に四二金と上られては五筋が強固になつた故指し過ぎで、此處は四七銀と上り、次に三六歩、三七桂の構へにする處である、近藤君の三三銀は弱い、四五同銀と應じる處で、三三銀と引く樣では四二金上りを活用しなかつた事になる、松下君の六五桂は、八六同歩では同飛、八七歩、七六飛、同金、六七銀と打たれて惡い

日本棋院秋季大手合戰譜（第五局）

先相先先番 三段 中村勇太郎
四段 藤田豐六郎

—【7】—

○一〇六ハ十四　○一〇八ト十二　○一一〇ト十一　○一一二ニ十三　○一一四ホ十二　○一一六ヘ十五　○一一八ホ十四　○一二〇ロ十五　○一二二イ十四

●一〇七ロ十二　●一〇九チ十三　●一一一チ十　●一一三ハ十二　●一一五リ九　●一一七ヘ十四　●一一九ト十五　●一二一ニ十五　●一二三ニ十四

（百二十三手完）黒中押勝
●六三劫とる●一一五二目とる
所要時間累計（白五時二分 黒二時四十四分）
（制限時間各八時間）

對局者のことば

白　百六は同じく百十八のアテを先にすべきだつたでせう
黒　百十一で（ト十三）にマガると白百十二、黒百十三、白百十四の手段があります
黒　百十五とウチヌイてはいゝと思ひました
黒　百十九で百二十一に出る手があつたのです
白　さう出られゝば大石は全部死んだでせう、どうもえらい目にあはされました

戰の跡

◇白百六は黒百七と交換して損を先にする意味がある、だから百八の方を先にするといふ對局者のことばなのであらうが、こゝに至つてはもはや大勢には關しない
◇黒百七にて百二十三にアテると白百十三黒百十二白百二十二とワタられる手があるし右の中、黒百十二とツガずに（ハ十五）にトレば白（ホ十一）のキリが成立する
◇黒百十一はこれに依つて白（ホ十一）のキリをも牽制した、百十一の手で（ト十三）にマガればどんな事になるか、對局者のことばにつゞいて讀者において試みられたい
◇本局、白の敗因としては終局に近く八十六、八十八、百等を直接のものとしてあげることが出來やう、それらについては既に詳說したからこゝには繰返して述べない

曾ての上長を迎へ在熱河將兵の感激
軍司令官の親しみある慰問に
隨行して 遠藤參謀語る

【錦州にて廿六日秋山特派員發】軍司令官の熱河初巡視に隨行した遠藤參謀は錦州に歸來し語る

軍司令官が今回熱河に訪問された、〇團は軍司令官がかつて四ケ年間在任されたことのある部隊で將士が軍司令官に特別の親しみをもつてゐるやうに軍司令官もまた非常な親しみをもつて將士を慰問されたが將士は何れも交通不便なこの熱河を訪問されたことにつきいふべからざる感激をもつて迎へた、張海鵬省長も軍司令官を迎へて心から喜び省長として歡迎の

午餐 宴を開いた、軍司令官は飛行機は始めてであるがなかなか元氣で往復とも熱河作戰の状況について説明をなさると熱心にこれを聽き窓外から俯瞰して殆んど素裸の山岳にこれでは熱河はこのまゝ捨て置けば全くの枯骨となつて死の國となる恐れがある、滿洲國も成立した今日であるから何とか文化の光に浴するやう先づ植林を行ひ殺風景な生活から幾分にても軟らいだ氣持の生活をするやう考へねばならぬといはれた、實は自分も熱河作戰に參畫したものとしてこの不自由な生活をする駐屯軍に對して

出來 るだけ氣分の柔らぐやう考へたいと思つてゐる、鮮宮の如きは寫眞でみると堂々たる實に外觀は立派で中ではアンペラを敷いて生活し室内の如きは青い草花一本すら見ることの出來ぬ殺風景で然も阿片や女に親しむといふ結果を來すから今後は滿鐵農事試驗所あたりから強い草花の種を貰ひ受けてどしどし村落に送り村落を美化すれば淫蕩的な生活も自然となくなるだらうと思ふ、軍司令官としても將士の勞を犒ふことに心痛されてゐた、しかし第一の關門を守る將士はさうした殺風景な不自由を

念頭 に置かず軍務に邁進してゐた〇團に宿泊した軍司令官は將士と同樣に麥飯で兵がつくつた納豆をそれにかけて食べられたが自分も實に美味しく食べた、自分は熱河聖戰に參與したときには單に飛行機で二回偵察しただけでまるで夢の熱河と思ふてゐたがその謎は今日において解けた、當時は氣狂ひを空中から打診するやうなもので殆んど見當がつかなかつたが今では灤東地區も平常に歸し熱河は文化の光があまねく輝き渡り眞に平和の色をみることは實に嬉しかつた、特に軍司令官は新戰場を

訪問 され非常な感激の模樣であつた、なほ出來れば今後荒廢せる喇嘛寺その他を史跡保存會でも設けて文化を保存したいものだと思ふてゐる

疲弊の營口
今後よくならう
太田營口領事語る

【奉天】事務打合せのため新京に向つた營口領事太田知庸氏は二十五日夜歸任の途來奉瀋陽館に入つたが語る

滿洲國獨立以來營口の疲弊は甚大なものだ、周圍には匪賊の出沒が絶えないし特に南支向け滿洲特産物は南支の排滿排貨を滿洲國側よりは南支を外國として該地向の貨物に或は

該地 より輸入の貨物に課税されるため物價の昂騰を來し貿易は全く杜絶の状態に在る從つて營口の特産加工々業油房等は續々閉鎖の憂き目に會ひ事變前一萬位居た日本人も今は約四千位に減少して居る、然し滿洲の特産物及其の加工品を必要として居た南支は永く不買排滿を續け得ない事情に在るからこの點は近く解決するだらうが滿洲國の高率税に對しては南支より引下げ運動が起るだらうと思ふ、遼河の航行等が大いに利用される樣になり今後營口も大いに發展するだらう只營口附近の匪賊は討伐も必要だが要は彼等に生活水準を高める樣にしてやる事が必要だらう、又

討伐 については彼等の唯一の安全地帶たる遼河沿岸の芦叢をなくするために其處を道路に改修するとか水田に開拓するとかする事が急務だらう、實際この芦林へ逃げ込んだ場合は全く大森林へ逃込んだのと同樣飛行機でさへ手がつかない狀態に在る

なほ同領事は二十六日歸任した

軍司令官の巡視

上より新民民衆の歡迎、錦州驛着、錦州のわが部隊檢閲、承德へ向ふべく飛行場に乘る軍司令官

滿人と米人
喧嘩で流血騷ぎ
奉天ヤマトホテル前で

【奉天】ヤマトホテル玄關前で滿人と米人が血の雨騷ぎ……滿洲國の日系官吏は二十五日夕刻日滿親善の意味で滿洲國の主なる官吏をヤマトホテルに招待し懇親宴を催したがその際滿洲國高等法院典獄の自家用自動車運轉手王某（二七）が本間氏を出迎へのため自動車でヤマトホテル前に來り宴會の終るのを待つてゐると突然一米人が醉拂つて通りかゝり該米人は之を普通のタクシーと考へたものか王に對して商埠地まで乘せて行けと命じたが、王は之を斷ると言葉の行違ひから遂に兩人の大格鬪となりその米人は毆られた後蹴られたので後に倒れた瞬間石に後頭部をブッつけ負傷した、之がためその米人を醫大醫院に入院せしめるやう奉天署から係官が現場に急行し取調べをなすやら一時は大騷ぎを演じたがその米人は商埠地六緯路毛皮商ゴールデン（三〇）と稱し加害者の方で治療費を支拂ひ見舞をなすこととなり陳謝して示談で解決した

鞍山鐵西の非常な發展

【鞍山】當地鐵西の滿人街は鐵東の邦人市街同樣昭和製鋼所の設置決定以來非常な勢ひで發展しつゝあり明春以後は更に競馬場もこれ等滿人市街繁賑のため移轉せねばならぬ事になつてゐるが製鋼所苦力相手の滿人市街として將來に大いなる發展を期待されてゐるところから早くも各地滿人大商店が目をつけ背後地騰鰲堡の代表的吳服店廣興裕はバス停留所横に支店を開設し繁昌してゐるに鑑み近く更に遼陽城内某雜貨商も支店を設くることになつてゐる等却て邦人街に先立ち繁榮振を見せてゐる

雇員登格試驗

【羅津】十月九日羅津建設事務所で施行した雇員登格試驗の受驗者四名中本月二十日發表の結果松島雷作君一名だけ合格してゐたが尚ほ羅津建設事務所勤務の社員で今次登格したものは間脇四郎、二方三郎、濱野軍次、森辰雄、高本勝、西島寅五郎、望月三市、橫尾榮一、桑田白二、古賀虎市、奥田直一、初崎幾次郎、日高金左衛門以上十三名は雇員に鹽田音次郎、中島休吉は技術員に水野正利、伊藤岸雄、西村久、三浦研一、泊菊雄以上五名は事務員に登格し何れも慶びを面に浮べて居る

接客業者診斷

【四平街】當警察署保安係は去る二十一日より二十二日の二日間當附屬地内における接客業者八百名につき傳染性疾患の有無を檢査したる結果邦人側には絶無なりしが滿人側にはトラホーム、肺結核その他皮膚病等驚愕すべき患者多く中にもトラホームは約五十餘名に達したるより病態輕重に稽へてそれぞれ適宜の處置を執れりといふ

國都建設の土地使用制限令
公布、廿四日より實施

【新京電話】滿洲國政府にては國都建設計畫區域内における土地價格の人爲的吊上げ及び土砂買占めその他の行爲により國都建設事業進捗の障礙を防止するため左の敕令を公布二十四日より實施することゝなつた

國都建設計畫區域内の土地使用制限に關する件

第一條　國都建設局長は地域及び方法を指定し國都建設計畫區域内における土地に關する權利の設定若くは移轉土砂の採取井泉若くは溝渠の掘鑿又は樹木の伐採を制限することを得、國都建設計畫區域中舊市街〇區域内に關しては前項の權限は新京特別市長に屬す

第二條　前條の規定による指定地域及び方法は國都建設局長又は新京特別市長一般にこれを布告すべし

第三條　國都建設局長又は新京特別市長の管理する土地又は建造物はその用途を妨げざる限度において國都建設局長又は新京特別市長の許可を受けてこれを使用することを得、國都建設局長又は新京特別市長はその管理する土地又は建造物を使用する者より使用料を徴收することを得

第四條　國都建設局長又は新京特別市長は第一條の規定に基く禁制に違背して土砂の採取井泉及び溝渠の掘鑿又は樹木の伐採をなしたる者に對し事情に應じ原狀恢復を命ずることを得

第五條　國都建設局長及び新京特別市長は許可を受けずしてその管理する土地又は建造物を使用したる者に對し使用料を徴收し又は期限を指定して原狀恢復を命ずることを得前項の規定による土地又は建造物の使用料は時價の百分の二十以内をもつて年額とし使用月數に應じ國都建設局長又は新京特別市長これを定め徴收すべし

第六條　前二條の規定により原狀恢復をなすべき者その義務を履行せざる時は國都建設局長又は新京特別市長これを執行し又は第三者をして執行せしめその費用はその義務ある者よりこれを徴收することを得

第七條　第一條の規定に基く禁制に違背し又は國都建設局長若くは新京特別市長の許可を受けずしてその管理する土地又は建造物を使用したる者は拘役又は二百圓未滿の罰金に處す

第八條　本令施行のため必要なる規定は國務總理これを定む

第九條　本例は公布の日よりこれを施行す

第十條　本例施行の際現に國都建設局長又は新京特別市長の許可又は承諾を得てその管理する土地又は建造物を使用する者は本令第三條により許可を受けたるものと看做す

不完全なる煙突が何んと千四百餘件
奉天署で檢査の結果

【奉天】奉天署では火災防止のため過般四日間に亙り管内における煙突の一齊檢査を行つたがその結果支障あるもの左の如く一千四百十一件の多きに達し是等に對しては夫々完備を促す處あつた

	ペチカ	ストーブ	溫突	其他
調査數	二四一	八〇〇一	九〇五	三四四
破損其他危險の虞あるもの	二	一九九	二	二七
設置場所不適當	一	八〇	三六	三五
煙突規定の長さなきもの	二	三六九	一八	三五
煙突繼目不完全	一	一三七	三六	三五
掃除不完全	三六	三二三	二	三五
其他	三	四七	五	三九
全計	六三	一〇三〇	一三二	一八六

不逞鮮人蠢動

【吉林】事變前吉林を中心に朝鮮獨立運動民族主義を標榜して樺甸磐石方面迄も魔手を伸ばして居た主犯崔義山は事變勃發と共に上海方面に逃走し行方を晦まして居たが、最近上海の朝鮮獨立運動の巨頭金圭植と連絡し密命を帶びて北平より再び吉林方面に潜入したるものゝ如く頻りと潜行策動が行はれてゐる模樣で當局では俄然大活動を開始した

錦州宣撫班來奉
滿洲國の實狀を視察

【奉天】錦州平田〇團宣撫班は二十五日開所式を擧行し午後一時から〇團本部において平田團長から訓示を受け割當てられた宿舍に投宿したが宣撫班としては滿洲の建國に付いて日滿親善關係、世界の大勢に就いて二十六日から四日間講義を受けるが二十六日は午前七時國旗掲揚式滿洲國歌合唱、八時半歩兵隊、飛行、砲兵、機關銃隊等を見學のため出發、學課を受け午後六時から映畫を觀覽、二十七日は午前五時半錦州出發世界の大勢、鐵道愛護の講義に十二時奉天着、午後一時より滿洲國小學校を見學、二時半奉天省公署で金井總務廳長、教育廳長の訓示を受け市内を見學廿八日午前八時半より忠靈塔參拜同九時より千代田小學校に於いて教育狀態を參觀し座談會を開催し午後一時より師範學校及び博物館市中を見學、同夜十時五十五分で離奉廿九日午前六時錦州着八時三十分より班長の訓話あつて同十時解散（寫眞は一行）

チチハルに兵士ホーム

【チチハル】創立滿一周年を迎へたチチハル婦人會では記念事業として將兵の安息所たる兵士ホームを設立に決定、過般來準備中のところ愈々具體化し、現朝鮮人居留民會事務所家屋を充つる事となつたが、經營方針としては

一、奉天の例に倣ひ部屋は凡て疊敷きとし別に娯樂場として十間一部屋を準備す
一、同ホームは毎週二回開く
一、飲食物は汁粉に限り代價は一杯三錢とす
一、娯樂場にはピンポン臺を据付けその他蓄音機、雜誌、新聞を備く
一、管理者として母性愛に富む中年の未亡人を委囑す

等規定し資金として有志の寄附を募る事となつたが、管理者たる婦人は近く來齊する筈で、資金の調達次第開設し慰安なき第一線に立つ勇士を心から慰める筈である

チチハルの住民燃料地獄を脱出
滿鐵撫順炭の値下

【チチハル】滿洲事變以後急激なる人口の增加と、昨夏の大水害によりチチハルに於ける燃料は鰻のぼりの奔騰をつゞけ撫順炭一噸國幣建二十五圓乃至三十三圓、薪が五十五圓乃至七十五圓程度の高値を示し、一年の過半を籠居生活する在住民に多大なる苦痛を與へて燃料地獄から解放を希ふ悲痛な叫びが日毎に高まりつゝあつたところ滿鐵にても之が成行を重大視し一大英斷を以て各種撫順炭の値下を本月二十一日より斷行する事となつたが新値をみるに

▲塊炭二〇圓一〇錢▲中塊二〇圓一〇錢▲二號塊一七圓一〇錢▲切込一六圓七〇錢▲粉炭一五圓四〇錢

と三割乃至四割の大値下げでその結果薪材値段にも大影響を與ふべくチチハル在住民は燃料地獄から解放された朗かさに充たされてゐる

日本外留學生の歸國を促す
吉林省公署の大英斷

【吉林】最近各國の態度愈々惡化の傾向に際し其の餘波に依る惡影響を防止せんが爲に今回吉林省公署に於て左の如き一大英斷が下された、卽ち事變前より日本内地を初め歐米各地へ派遣して居る留學生四十名の内日本留學生十八名を除いた外は教育思想上甚だ面白からぬ向が多いので中央文教部の指示を受け留學生の歸國方を促して旅費の發送をした

安東軍再勝す
安義對抗武道大會に

【新義州】新義州尚武會主催で二十三日開催された第二回安義對抗武道大會は、新義州側は今春第一回對抗試合敗戰の辱を雪がんと力闘したが及ばず、柔、劍、弓三部とも再び安東に名を成さしめた成績左の如し

	安東	新義州
劍道	二五點	二三點
柔道	六點	三點
弓道	一〇五中	九一中

擴大充實される鞍山の實業協會
大會社、工場を抱擁し

【鞍山】當地商工界の中心團體たる鞍山實業協會の充實擴大については昭和製鋼所を初め小野田セメント會社、亞鉛鐵會社等の大會社及び商店等が次々と地元に設置さるゝに及び、これ等新設大會社なるもドシ〳〵會員に加入さしてその内容を充實し且つ機能を發揮して名實ともに新興鐵都實業界の代表機關たらしむべきであるとし、新設會社當事者に於ても地元實業者たる以上這は當然のことであるとして略了解してゐるわけであるが實現に就ては會費負擔其他諸種の事情もあるし實業協會當局として は既に驛案の商工會議所令が目前に施行さるゝこゝにもなつて居りさうなれば在鞍商工業者全部が當然打つて一丸とならねばならぬことになつてゐるのでこの際の運動はこれを慎み、會議所令施行を待つて一擧に解決することにしてゐる模樣である、而して右實現の上は會館も現在の如き貧弱な建物では間に合はぬのでこれ又當然新築さるゝこととなるべく、或は公會堂新築計畫の折柄その一角に併置することになるかも知れぬが、現會館は去る大正十二年滿鐵の建物を買收移轉建築したもので爾來十年昭和製鋼所誘致運動を初め兎も角も地元商工團の代表機關として相當の功績を擧げて來た現會員約百二十名、會議令施行の曉は上記新設大會社商店の加入により會員も増加し、やがて大鞍山商工界の心臟部として劃期的活躍をなすであらうと期待されてゐる

……締役たりし谷保太郎氏轉任の後を受けて今回大石橋電燈株式會社專務取締役兼瓦房店電燈株式會社專務取締役として愛甲直剛氏來任、なほ瓦房店電燈株式會社支配人として齋藤喜一氏右兩氏は高橋庶務係案内の上新任挨拶のため市内各方面を歷訪した

鞍山の天然痘　邦人に傳染
患者は八卦溝に出入

【鞍山】天然痘附屬地に傳播し市外八卦溝の天然痘患者發生については當地警察地方事務所協力防疫に努めてゐたところ、遂に二十四日朝に至り市内北一條通一丁目一一六請負業玉木恭一妻女マチ（三〇）は鞍山病院にて診斷の結果眞性天然痘なること判明、直に同醫院に收容すると共に患家の大消毒を行つたが患者は日頃八卦溝に出入してゐたもので同方面の系統とみられてゐる、なほ當局では應急對策として附屬地居住民に對し一齊に臨時種痘を施行の豫定と

鞍山除隊兵慰勞宴

【鞍山】鞍山時局婦人會では二十七日午後一時から鞍樂館に於て今回除隊となる當地守備隊勇士約百名の慰勞送別會を盛大に開催する由であるが、當日は小學生の童謠舞踊や婦人全員有志の三曲合奏琵琶その他の餘興を附し茶菓を饗して婦人會らしい名殘を惜む豫定である、なほ時局委員會では勇士の功勞を謝する意味において不炭紙工の卷煙草入一個宛を夫々記念として贈ると

新舊專務取締役

【熊岳城】瓦房店電燈會社專務取……

■關東軍についたい■　携帯便利の熱量食

營口小學校のバザー

營口小學校の年中行事のバザーは二十六日午前十時から開市された二三日前から先生も兒童も必死の努力で準備に多忙を極めた其甲斐あつてあの設備とても素人の陳列と思はれぬ飾り付定時の十時にはもう一ぱいの人の山だ、押し掛ける人の波は係員を轉手古舞さした精巧なる兒童の作品、美麗な造花手工品もまたゝくうちに賣り切れる、二階の食堂は一寸東京三越の食堂を思はせて氣分が一ぱいに漂つて居た、紅茶にコーヒー、しるこに稻荷すしと御客は思ひ〳〵の好みに依つて次から次へと注文に兒女達の忙しさ目も廻る程の活動振り、千個のすしは一時間半許りで賣切れ午後一時三十分にはしるこも賣切れ、りんごも賣切れ午後の二時には總てが賣切れの大盛況を呈した、講堂に開かれた洋畫展覽會こゝも人の波、手に持つたプログラムと繪を引合した鑑賞眼は感歎の聲に滿ちてゐた、どれもこれも精魂を傾注された跡歷然とした傑作揃た、七十四品といふ多數の陳列は近頃にない大會で殊に十九號の支那町の繪はさらにある構圖だが一寸氣に入つた、二〇の望兒山繪具の配合筆の廻し二九の樹立、四四の北陵の秋とてもよい感じがした、七三の鳳凰城の秋は出品中の逸品であつた、兎角傑作集で一つとして無駄がなかつた、次いで午後二時からバザー賣約品の引渡しで買主は思ひ〳〵に家路に運んだ、斯くして小學校行事のバザーも歡迎裡に終了した

强請滿人逮捕

【鞍山】當地附近滿洲國各村長、區長等有力者を訪問、鞍山警察署員と詐稱して金錢を强要する二名組滿人ある由を聞き込んだ鞍山署では、かれて各方面に手配犯人探索中のところ二十三日夜立山東方部落に潜伏せる由探知同地派出所員三名が同家に踏み込み難なく逮捕本署に引致したが目下高等係で取調べ中で相當の被害ある模樣

光榮の旅中校長　教育會から表彰
五十周年記念に際し

【旅順】帝國教育會では今回創立五十周年記念に當り全國に亘り我が國教育界に對し特に功勞顯著なる者に對しては表彰を行つたが、その内に旅順中學校長今井順吉氏も選ばれて此光榮に浴した
氏は明治三十四年三重縣師範卒業以來附屬小學校訓導師範教諭から高女教諭校長中學校長を歷任し三十有三年一日の如く育英事業に盡瘁せられ旅順高等女學校長として佐藤前校長の後を襲ひ更らに同七年現在の旅順中學校長を拜命し就任以來銳意校風の振興、校務の改善に努め「旅中をして天下第一」の大理想を掲げ子弟の督勵を爲しつゝありて隨つて教職間生徒方面からも多大の尊敬を以て迎へられてゐる、今回創立二十五周年を迎へたる機とし滿蒙研究室を設置し記念花壇溫室等を施設するや又は支那語の督勵、卒業生の受驗指導等各々その材能に應じ適當なる訓育に努め日曜祭日と雖も未だ曾て校務を廢せずその勵精恪勤振りは今回の表彰に當り當然とされてゐる、氏は亦資性純潔自ら持するに謹直、人に接するに溫恭にて幼にして漢學を父に受け十五歳にして已に父の家塾を代講し師範に入るや國文學を研究し文章に長じ亦その講演たるや深淵なる學殖より出する名言に聽者をして多大の裨益を與へる（寫眞は今井校長）

鞍山の歲末　大賣出し

【鞍山】當地商店筋では早くも歲末聯合大賣出し計畫を發表追々師走氣分を投げかけてゐるが、恒例により主催は商店協會と輸入組合で大賣出し期間は來る十二月十一日より三十日迄抽籤現金賣を問はず右期間内購買者には一圓毎に景品券を進呈、三枚を以つて抽籤券と引替へ一等五十圓以下六等まで空籤なしの景品（共通商品券）を進呈することになつてゐるが近日一齊に大賣出看板が店頭に押し並び師走來を告ぐるであらう

吉林民會で　遊興稅徵收

【吉林】財政窮迫の難關を持續して居る吉林邦人居留民會では何んとかして財源捻出策を講ずべく諸種の懸案が持ち出されて居たが今回第六種稅即ち遊興稅の徵收を行ふこととなり既に官廳の許可を得たので來る十二月一日より之を實行する樣決定、目下徵收準備に着手して居る、右遊興稅の稅率は遊興費十圓に對し五十錢の割合で他都市よりも低率であるが實施の徵收額年一萬圓に達する模樣である

鞍山の入營者

【鞍山】本年度當地よりの入營者は次の十九名にして獨守歩六、歩兵聯隊七、野砲三、工兵、重砲、輜重各一名であるが地方事務所では二十八日午前十時より鞍山神社に於て入營奉告祈願祭を執行御守札を交附してその壯途を送ると、なほ入營期日は獨立守備隊は本年十二月一日其他は一月廿日である
△獨守歩一一三輪豐助△同橋口墨芳△同一二東原繁勝△同六宮尾武男△同九横手時藏△同公主嶺早幸俊彥△歩四八中島弘△同一四小野豐△同七裹谷萬郎△同四鐵博△同二四鈴木信一△同一三觀海法之△同四〇西原保明△工兵二〇小林登△野砲二四市田博△同第一福山饒△同第四山田常志△基隆重砲大西滿男△輜重八高橋昇三

熱河派遣の警官から　無線の通信

【旅順】赤峰、承德に駐在してゐる關東廳警務官に對しては豫て攜帶無線電信機の配置を爲しつゝあつた處、此程漸く完了したので二十五日初通信を行なつた處成績頗る良好で派遣隊からは「隊員一同元氣旺盛裡勤務しつゝあり」との無電が受信された

各地片々

◇營口　營口警察署にては來る十二月二日より新市街一圓の區域内の野犬狩りを執行するについては畜犬飼養主は屋内に繫留するか又は飼主の住所氏名を記したる札を付けるか若しこれがないと誤つて驅除せらるに付き豫め承知されたいと
◇營口　二十六日滿鐵社員俱樂部に於て行はれた營口商業實習所毛皮販賣會は時恰もよし三寒入りの初日で北風が吹き昨日までの暖かさに打つて變つた寒さに毛皮の必要を氣溫が喚起して勢ひこの會に足が向いたのと加へて小學校のバザー歸りの人足を引付けたので結果賣上金八百圓を超す成績を舉げた
◇營口　遼東地區警備司令部顧問陸軍歩兵大尉小野岡太郎氏は今回新京地區警備司令部附として其設置に關與することゝなつたが後任は未だ未定である、而して氏は金川大尉の後任として來任以來警備其他の帷幕に參じ功績見るものあり又氏は營口の水に合ひしか離れ難しと洩らした萬更御世辭でもないらしい
◇吉林　在吉鮮人新聞記者十一名は相互の親睦連絡を保つ上に於て記者團の設立を叫ばれて居たが二十二日正式に設立を見た
◇熊岳城　大阪朝日新聞熊岳城販賣店千葉商店主催のトーキー映寫會は二十六日午後六時よりクラブに於て開催されたが當地としては珍らしきところより會場立錐の餘地なき迄の滿員で大盛況裡午後八時半終了した
◇熊岳城　熊岳城婦人會にては時節柄生活改善家事節約の意味において目下普く使用されつゝある毛系編物の破損を經濟的に手際よく修繕するため滿鐵社會課が援助せる矢木嘉次郎氏の毛系編物修繕講習會を二十六日午前十時より午後四時迄滿鐵クラブ日本間において開催したが必要に迫られた一般家庭に大いに歡迎され多數の受講者があつた

旅順放送

▲出雲大社教旅順教會所では例年の如く昭和九年度大麻並に曆の頒布を行ふ由であるが不在配布洩れの向は同教會所に赴き奉齋されたいと
▲豫て資金募集中であつた昭和園兒童遊園地横の大弓場は二十五日午後一時青木署長、岸田助役其他各關係者列席の上地鎭祭を行つた
▲先般次女妙子さんを失なつた關東廳土木課主任牧島喜一郎氏は二十五日滿中院に當り返禮に代へ大連保兒婦人ホーム、鎌倉保育園旅順支部、旅順幼稚園、西本願寺へ金一封宛寄贈した
▲松島町一ノ三秋葉芳男氏長女道子さん十一日出生
▲土屋町柿沼惣氏三男武文（二）君二十四日死亡
▲在旅大小天狗連一同は今回豐竹三春師匠を聘し豐竹會を組織來るべき新春と共に大に唸る由であるが今次の義太夫同好連はアマチユアー連でも漸く趣味を解した堅實な顏ブレ丈に將來大に期待される

故佐伯副參事官告別式

【開原】故昌圖縣副參事官佐伯正氏告別式は十一月二十六日午後一時昌圖縣城内商務會前廣場に於て執行された、司會者康縣長始め當日着任せし副參事官、指導官及各局科長、民政部、財務部、大同學院、開原、鐵嶺、梨樹、通化、東豐西豐、興城の縣長並に參事官、黑龍江省總務部員、協和會開原辦事處及び日滿官民參列し、左の式次に依り佛式にて最も莊嚴に執行された
一、開式挨拶康縣長二、讀經各宗僧侶三、弔辭各代表四、弔電五、燒香六、軍警學生敬禮七、閉式挨拶八、閉式
故佐伯氏は京大出身の法學士にして柔道四段の猛者、大同學院を優秀で卒業し昌圖縣に就任以來寡言力行百政功績著るしく内外の信望厚き人格者であつたが享年僅かに二十六歲にして有爲の良材を夭折した事は痛恨の至りである、郷里よりは病重しとの急報に接し令兄兩名來昌せられたるも途中釜山に於て逝去を聞きたる由、遠旅の疲れを忘れて靈骨を守護し二十六日告別式終了後奉天に向つた

瓦房店青年の敬老會

【瓦房店】瓦房店青年團は二十六日午後四時より瓦房店居住の高齡者三十名及各所屬長十數名を市民俱樂部日本間に招待し先づ森社司の長壽祈願式を嚴肅裡に行ひ青年團長機關區橋本英信氏團員代表挨拶を述べ次に敬老會を代表して三瀨彌作氏謝辭を述べそれより酒折詰辨當菓子の歡待を受け午後五時より劇場に於て半ケ月前より熱心に稽古を續けてゐた曾我兄弟、父歸る、月形半平太、筑紫館、初音樓、榮旅館、レストラン、朝日、キング兩カフエーの美妓華やかな他プログラム二十二の慰安餘興に滿場喝采を博したが就中三宅保線區長令孃三宅イチエさん、榮旅館令孃佐藤照子さんの可憐なる少女の舞踊に時の過ぐるを知らず唯感激絕讚を浴びせかけ心ゆくまで樂しましめ、深草榮造氏の發聲で萬歲を三唱し盛會裡に午後十時終了した

遺族救恤に造林事業

【鳳凰城】鳳城縣公署では同縣警察隊戰死傷者及遺族に對する救恤金捻出の目的を以てかねて造林事業を計畫中であつたが愈々明年三月植林に着手することゝなり同事業の完全なる遂行を期するため黃運組合理事佐藤榮三郎氏を顧問に推し左記四個所三百畝に十萬株の植林をなすことゝなつた
城北山六〇畝唐松二萬株、河夾心三〇畝白楊一萬株、香舖東三〇畝白楊一萬株、鳳凰山北坡一八〇畝杉松六萬株
尙大同四年度には更に十萬株を植林の計畫であると

五人の女性が兵隊さん慰問

【吉林】北滿一帶に吹きすさぶ酷寒の風は愈々本格的に入り、零下十六七度の寒氣を保つて居るが、此の酷寒の中に積雪丈餘の山岳地帶を雄飛し不逞匪賊と戰つて居る兵隊さん達をせめても慰めてやりたいと、奉天聯合婦人會の橋本榮子さん、牧野タネさん、新京聯合婦人會兵士ホームの岩坂安子さん、濱田幼子さん、赤木常盤さんの五名は第一歩を二十二日午後零時過ぎ吉林憲兵隊に訪問、丁寧な慰めの言葉を殘して零時三十分發列車で東方に向け慰問の途についたが吉林憲兵隊では此の慰問に深く感謝して居る

羅津滿鐵消防隊組織

【羅津】滿鐵羅津建設事務所では先般來火災を未然に防止する爲め防火委員を組織し合宿其他の要所々々には水バケツを備へ防火に努めて居たが幸ひにも羅津にはガソリンポンプが一臺備へ付けてあるので一層防火の完璧を期すべく羅津滿鐵消防隊を本月二十一日に組織した、而して隊員は三十一名で監督は野本庶務長、副監督は山本八十八、同加藤康平、傳令長岡理信、同福地虎吉、給水班は班長横尾榮一郎以下四名、喞筒は班長中島秀吉以下十三名、破壞班は班長藤原俊一以下八名である

荷馬車襲はる

【四平街】梨樹縣第二區管界老房身屯居住劉忠海と呼ぶ滿人は去る二十三日午前三時頃糧豆類を六頭牽きの馬車に堆積して四平街に來る途中前記老房身屯を距る約二支里の地點に差蒐るや突如五名組の賊徒現はれ各拳銃を擬して劉を脅迫し馬匹と共に車體を强奪して逃走した

熊岳城守備隊歡送迎宴

【熊岳城】今回熊岳城守備隊多數將卒の轉出と除隊兵の留送別のため熊岳城居住民一同は永の功勞を謝し寒地に向ふ一同への送別宴を二十五日午後四時より市民俱樂部大廣間において開催したが來會者八十餘名に及び菊花に飾られた會場には九個の大圓卓の準備あり、定刻先づ渡邊試驗場長の挨拶よろしくあり、次いで酒井守備隊長部下一同に代りて謝辭を述ぶ終つて淸宴に移り此の間熊岳城オール美妓の酒間斡旋に各有志十八番の隱し藝續發快飲快食十二分の歡を盡し熊岳城守備隊萬歲を三唱し盛會裡に散會した

肥り過ぎの方が「美しい姿になるには」
醫學者の說く肉體美は

肥りすぎも瘦すぎも多くは素質によると大抵の人は考へてゐます。成程これは事實です、しかし素質だからといつて食物や藥で肥すぎ瘦すぎが左右出來ないとは必ずしも申されません。人の頭の良い悪いは素質だからどうにもならぬけれども、敎育する必要はないとはいへない、丁度これと同じ理窟で肥りすぎも相當の程度迄左右出來るのです

近代女性の最も希望することは如何に美しくあるべきか—この上如何に美しく見せるべきかといふ問題だといつても過言ではありますまい。アメリカの映畫が流行すると都會の若き女性は一齊にアメリカ美容を學び、フランス映畫が輸入されると、すぐフランスの化粧法を眞似るといふ時代です。そこで問題は外形的な顏の手入れや肌の手入れだけで眞の美が表現出來るかといふ事ですが、これは最早今は論じ盡されて眞の美は健康美—均整美だといふことに落着いて來ました。
ところがその健康美—均整美を何がつくるかといふ事になりますと、今日では運動だといはれてゐますが、均整美根本破壞の原因たる肥りすぎを治療せねばならぬといふ事は、あまりやかましくいはれてゐません。これは女性として最も迂濶な事ではないでせうか美に非常に敏感な近代女性は、スポーツに堪能であると同時に、均整美獲得の根本問題に大なる注意を拂ふ必要があります。
肥り方にも二種あります、まづアクロナガリ、これはぶく〳〵肥つてゐて粘液浮腫ともいふべきもの原因は甲狀腺の異常、もう一つのヂストロフイア、アジポソゲミタリスといふのは腦下垂體の異常であります、この原因は內分泌によるか、食物にもよる事が非常に多い、食べ過ぎて肥つてしまつたなどゝいふ事は、あまり感心したものではありません、之は脂肪が皮下に蓄積して肥つた恰好をつけてゐるだけですから病氣になりこそすれ、何のたしにもなりませんではどうすればよいか、醫學博士細野省吾先生は次の樣に語られて居ります。
一般に効果を認められてゐるものは「減食、粗食、運動療法」などがあります。肥滿者の適度な運動は餘分の脂肪を消費しますし、又減食や粗食は餘分の脂肪が體內に蓄積されぬ効果があります。
然し如何に瘦たいからと云つて急に運動や減食をする事は却つてその爲健康を害する危險が伴ひますから注意しなくてはなりません今一つ更に食餌療法がありますが食餌療法とは、筋肉を減ぜぬ程度に富んだ食物や澱粉質のものは出來るだけ少く攝つて適度の運動をする事でありますが、但し此方法で相當の効果を見る迄には餘程の月日と努力が必要でありますから早く、相當効果を擧げるには藥物療法に依る外ないと思ひます

やせると曲線が自然に美しくなる

現在では色々の藥が使用されて居りますので種々研究して見たが、最も効果的な藥はアイマーであります。アイマーは甲狀腺劑其の他數種の消化劑榮養劑等を巧に配合してある藥劑であつて此アイマー中に配劑してある甲狀腺劑は人體の內分泌をうながし新陳代謝を旺盛にする作用を有するものでありますから最も合理的に目的を達する事が出來るのであります。勿論アイマーの他にも瘦身劑として販賣されてゐる藥もありますが多くは頭痛下痢等の副作用が伴ひ易いのであります。
殊がアイマーにはこのホルモン劑の他に消化劑、榮養劑等も具合よく配劑してありますから、榮養障害を起したり、下痢等の副作用等がなくむしろ榮養を助長するものですから從來の「やせ藥」とは全然其趣を異にして居ります。繰返し申しますが、肥り過ぎは單に容姿美の上からばかりでなく男も女も健康保持の上にも充分御注意を願ひたいと思ひます。
アイマーの定價一週間三圓、十五日間五圓五十錢、一ケ月分拾圓、因に發賣元東京九段上、ケーテー商會、振替東京七八三五四番、尙三越松屋、松坂屋、高島屋、白木屋、ほてい屋各藥品部、下西、大木、玉文、友、大阪丹平、高橋、實業會社、小林大藥房、福井七商店、名古屋小林大藥房其他全國有名藥店にあり、說明書は發賣元より進呈

捕へみれば稅關吏 綿布類の大密輸
沙河口驛で列車積込みの際 驛員が怪しんで訴へ

非常時滿洲を背負つて立つべき滿洲國稅關吏が自己の職權を利用して、いやしくも價格五千圓程度の綿布、毛布類を密輸せんとした由々しき事件が持ち上つた、さらぬだに稅關吏の荷物取扱ひ態度に對しては、不親切、怠慢、**横暴** の聲大なる折も折この醜事件に對し關係者各方面始め大なるセンセイションを捲き起してゐる

卽ち、去る二十五日午後九時九分沙河口驛發十七列車が發車せんとする間際同驛郭小荷物係が無賃小荷物として稅關署名すみの柳行李五個を同列車に積み込まんため手にかけたところ意想外に重いため不審をいだきこのため同驛稅關吏出張員に調べて呉れと申し出でたので當時の出張員吉田武夫＝假名＝稅關吏は「これは自分の署名したものではないから知らない」とはねつけてしまつた、仕方なく郭小荷物係りは當番の南川驛助役に **申告** して置き該柳行李小荷物五個を全部プラットホームに運び列車に積込むばかりにして置いたところ暫時の後同小荷物を驛員の立會もなく解き中を調べてゐる者あるを南川助役が發見しその不當を詰つた、ところが意外にもそれが同驛稅關出張員竹本信一＝假名＝であつた、竹本は事件發覺と見てか南川助役に對して「この荷物は自分の友人のもので、都合があつて送らないでいゝといつて來たから取りもどしておきます」と驛の赤帽を使ひ稅關控室に持ち歸らんとした、そこでかれてより密輸の噂云々を聞いてゐた沙河口署驛前派出所小崎巡査が怪しみ取調べるべく押收したものである

沙河口署では直に柳行李の內容を取調べる可く關係者を召喚したが吉田及び竹本は既に姿を晦まして居り同署司法係の **活動** が開始されてゐる、なほこの怪事件に因み財政部某事務官は社會發表を恐れ關係者一同を戶別訪問し抱き込み運動を續けてゐると云ふ憎む可き事實がある

(寫眞は密輸の行李)

無斷で開封
驛員の立會ひもなく 南川沙河口驛助役談

これにつき當時勤務當番だつた南川驛助役は語る

小荷物係りの郭君が無賃小荷物として預つてゐた柳行李五個について不審がつてゐたので稅關まで再度檢査を乞ひ行つたのですが、私としては稅關の署名が立派にしてあるので信用して別に怪しみもしなかつたわけですが、プラットホームで稅關の人が驛員の立會もなく無斷で開封してゐるので、私は滿鐵として責任上當人を訊したのでした、預つてゐるお客樣の荷物に對しところが意外にもそんなものだつたとは實に驚き入るばかりです、兎角最近當驛の稅關吏の方々は非常に不親切で見てゐる私達一同お客樣に對しはら／＼させられる樣な仕打ちをしてなられましたが、私はその數日前にも稅關の方々に會ひ親しく語り合つてもつと反省して欲しい意味をもらしてゐたのでした

調べれば澤山ある
驛員の手柄話

沙河口驛員一同は右につきそれぞれ語る

稅關の人は僕達には朝會つたつて挨拶もして呉れません、同じところで働いてゐるのにプラットホームに於てさへ他人行儀をさられてゐます、密輸なんか嚴密に調べて下さつたら、もつと／＼あるでせう、何しろあの方々(稅關)はこれは轉勤の荷物だ、これは友人のものだ、何んだかんだと云はれて澤山無賃で物を送られますがそれに反して一般お客さんのになると何が入つてゐるか判り切つてゐる小ちやな小荷物でさへも底の底まで調べられ、或ひは二日も三日も置きつぱなしにしてあるといつた鹽梅を時々目擊して氣の毒でならない時があります、お互ひにもう少し親切に愉快に仕事に從事したいものです

登沙河で發見! 三葉蟲の化石
滿洲陸地は五六百萬年前から形成されたを確定

二十七日午後四時二十分發新京行急行列車の出發間際、送る人々と送られる人々との間にあわたゞしい別れの言葉が交されてゐる大連驛ホームの一等車昇降口に古色蒼然たる **石塊** を入れた函を挾んで學者風の二人の男が額を聚めて熱心に何かを論じ合つてゐた——話はかうである——函をさゝげてゐる若い方は滿鐵地質調査所の技術助手別所文吉氏

同所では一昨年より滿洲の地質研究のため二萬五千分の一の關東州地質圖を基にして前世紀生物の化石、その他の資料蒐集に努めてゐたが去る十日別所氏が金州管內張家屯、葛家屯との間登沙河で發見した三葉虫の化石が從來發見されたものより遙かに瞭然たる貌を現し、滿洲地質に關する學說に **重要** な參考資料として役立つものと、偶々二十六日早朝來連遼東ホテルに投宿した斯界の權威者滿鐵教育研究所理學博士遠藤隆次氏の鑑定を仰がんとしたが生憎同氏が要務多忙のためその機を得なかつた、ところが研究に熱心な別所氏は遠藤博士が右列車で歸奉するを聞きこの機を逸してはと例の函を提げホームに馳せつけたものである

右につき遠藤博士は語る

これは確かに今から五、六百萬年前の所謂カンブリア時代に棲息したアトプス・オリエンタリスといふ生物の化石です、從來も屢々これに類似したものが發見されてゐたがこんなによく保存されたものは一つもなく、從つてこの化石の發見は滿洲の地質學說に大きい貢獻をするものと思ひます

發見者別所文吉氏はホームにて語る

今月十日に金州管內の登沙河で見つけたものです、遠藤博士が昨日來連されたので鑑定して戴くつもりでしたが博士が多忙のため果さず遂にこんなところへもつて來た **次第** です、博士からはお聞きの通りカンブリア時代のアトプス・オリエンタリスといふ節足動物と鑑定されましたから滿洲の陸地が五、六百萬年前から形成されたものであると言ふ從來の學說が決定的に確められたわけです、なほこれを機にます／＼地質研究に精進しやうと思つてゐます

けさの讀本
——海の彼方の話——
食卓にさゝぐ

クサメは犯罪を構成するや否や

【ワルシャワ(ポーランド)發聯合郵信】(クサメ)は法律上犯罪を構成するか否かなど、議論するものがあつたら隨分愚しい限りだが實際のところこうした問題が最近ポーランドの大審院において大眞面目で論議されたのだから世は樣々だ、事件はポーランドにおける事實上の獨裁官たる陸相ピルスズキー元帥の生誕祝賀會の席上陸軍少佐某が會場の靜肅を破つて嚔をやつたのである、それが元帥に不敬だとあつて裁判の問題となりサーク地方裁判所は二十圓也の罰金刑を彼氏に申渡した、ところが當の少佐は勿論友人達の間にも不服を唱ふる者が多いので大審院に上告した、そこで大審院がこの事件を審理したところ全くの偶發事故で殊に今日まで嚔が犯罪を構成した判例もないとあつて結局無罪放免となつたとはあまり類の少い話

靴屋から見た完全な足とは

【ロンドン發聯合郵信】ロンドンの王室農業會館では目下「萬國靴展覽會」といふのが開催されてゐる、この展覽會に集まつた世界各國の專門家が一致した意見として發表したところによると理想的な婦人の足といふのは次の樣な條件を具備してゐなければならないさうです。

一、サイズは四乃至四半
一、足幅あまり狹からざること
一、關節の突出てないこと
一、甲はよく彎曲して高いこと
一、短く形よき指

この展覽會に出品してゐる某靴屋さんの話によると大多數の婦人は折角好い形をした足を持つてゐながら憎いことに餘り大きすぎて理想から落第するとのこと、尙英國の婦人は他國の婦人に比して遙かに多くの靴を買ふさうで平均一年六足ぐらゐの割合です、一般に現代の婦人方は流行よりも寧ろはき心地の方を選ぶとのことです。

老婆の死と犬と

【ニューヨーク發聯合郵信】家族は七人でした、つまり六匹のよく肥つたプードル——あの愉快に毛深くて賢い小犬——とマートル・ホーグ夫人との七人暮しで外との交渉は何にもなしでした。

でこの七人の家族はニューヨーク市西六十二番街百〇九番地のアパートにつゝましやかに生活してゐましたが先づ電燈料が拂へなくなつて電燈を止められ續いてガスも斷られてしまひました、續いて家賃も滯り勝ちになりましたがプードルには勿論心配の仕樣もありません、たゞ可哀さうに食餌さへもが杜絕えはじめた頃からプードルにはホーグ夫人の悲しさが判り始めたかいつもその裳に縋つては慰め顏に首をすり寄せてゐました、或日アパートの管理者ジョーン・ヘリティ氏はホーグ夫人が六匹のうちの一匹クキンシーを散步に出しながら低く呻くのを聞いた樣に思ひましたがその時は何とも思はずに看過したのです、所が翌日ヘリティ氏が通りかゝるとクキンシーは部屋の扉口で悲しげに啼いては走り廻つてゐるのです。

ハッと思つて警察(電話)と窓から飛込んで見ますと、ベットの上にホーグ夫人が冷たくなり五匹のプードルが護衞の恰好で遺骸を丸く取まき鼻を鳴らせてゐます、クキンシーは之を見ると警官の足許をすり拔けてベットに飛上りました 夫人の死因は心臟麻痺、家には食物といつてはパンのかけらもありませんでした。

死刑是か否か

佐藤屋留雄の死刑判決に世論沸騰の折柄、法政對立教兩大學々生の死刑是か否か大討論會は俄然法曹界を震撼し、全國的に大問題化してゐる。(『新青年』十二月號に發表)

センダンは双葉にして香し

【モントリオール發聯合郵信】カナダ國有鐵道技師ヘクター・マクネール氏の坊やビリー君は今月僅か三歲だが讀み書きが出來るばかりかその出來方が普通の出來方とは違つて相當なものだといふ、現に誕生以前生後八ケ月目で旣にABCのアルハベットを全部覺えた十二ケ月目には電話番號が平氣で讀め十通の手紙が讀めた、數字では加へ算が上手だといふ、二年六ケ月目にビリー君—精しくはウイリアム・ドナルド君は自分の名前が完全に書け繪本が讀めた、のみならず新聞も讀めばその意味が判るので兩親をびつくりさしたといふ、ビリー君はこれ以外の點では別に賢でつかちでもなく不具でもない、普通の坊やだ、そして今では喜んで立派な本とさへ見れば讀みたがり長い文章も困難なく通讀出來るといふ、これが誰にも敎はらず學校にも行かず全部獨力でこれ迄になつたのだといふから將來おそるべしである。

石田侍從武官
廿七日錦州着

【錦州特電二十七日發】關東軍の軍狀視察並に聖旨令旨を傳達のため長き邊より御差遣になつた石田侍從武官は松山屬を從へ二十七日午後零時十五分着列車で來錦した驛頭には平田〇團長、後藤副領事、秋篠憲兵分隊長、宇井警察署長、古閑滿鐵建設事務所長、濱口民會長、錦縣長その他各官民多數の出迎へあり、石田侍從武官は下車と同時に驛貴賓室に入り出迎への人々より挨拶を受け沿道警戒の中を平田〇團司令部に至り司令部正面前庭で平田〇團長以下各將兵に對し聖旨、令旨を傳達し平田〇團長より奉答を受け、引續き關東軍經理部派出所前庭で宇井所長以下警官に對し聖旨、令旨傳達あり、それより侍從武官は衛戍病院に至り傷病兵に對し同じく聖旨、令旨を傳達したが同夜は錦州ホテルに宿泊、二十八日は山海關に往復の豫定である

心の匪賊を心痛
朱縣廷氏の訪問に 明朗將軍の感激

【錦州特電二十七日發】熱河初巡視の途來錦した菱刈將軍は二十六日午後五時半頃宿所である平田〇團の團長官舍で人品卑しからざる一老人の訪問を受けた、この老人こそ清朝沒落の後遼西の古都錦州に閑雲野鶴を友とし悠々自適してゐる元勳朱縣廷氏(八〇)その人である、將軍との話は支那の陽明學から舊東北軍閥の誅求に及び轉じて滿洲國の建國に及び却々盡くるところを知らず朱氏は滿洲國の建國を心から喜ぶとともに樂土建設に少からず心を惱ましてゐると見え、世の匪賊はなんでもないが心の匪賊を討伐することは容易でない、これは一に文教の力に俟つより外仕方がない、としんみり語つた由である、辭して歸る時さすがの明朗將軍も期せずしてホロリとなりいろ／＼その心境を察し遼縣長をして充分勞はるやう注意し自身で抱きかゝへるやうに自動車に乘せ門外まで鄭重に見送つたさうである

☆　☆　☆

浪の音の誘惑に
氣味惡くゲラ／＼笑ふ狂女
狂ひは呼んで他の乘客に傳染 うすりい丸の怪談

大連への航路を靜かに續けてゐたうすりい丸前部三等室に唐突としてゲラ／＼と狂笑が夜のしゞまを破つて物凄く笑ひかけあたりの船客にぞッとした肌寒さを感じさせた、笑ひの主は神戶から乘船した香坂しづ子(四〇)と名乘る婦人、大阪に居る愛兒に會ひに行つての歸り途、間斷ない波浪の聲と、エンヂンの囁きに、別れて來た許りの愛兒の上を偲んでかフイと狂ひの蟲に憑はれたらしい、朝になつても一向正氣に戾らず普通人とは見えない所作言動であたりの船客に氣味惡さを覺えさせてゐた、タスキ掛けで船內せましとばかり練り步き船のボーイ連中の制止の聲も聞かばこそ、とにかく船側でも觸るべからず、さはるべからずの方針を採つてゐたがどうしたわけか狂ひが狂ひを呼んでその附近に居つた門司から乘船の太田省藏(三五)がいよ／＼明朝は大連だと云ふのに急に狂態をあげ出しドクターが驅けつけるやら注射を打つやら大騷ぎを演じたが一向利目はないらしく一晚中狂つてゐたといふ二十七日うすりい丸が入港と共に同船の船客が口々このつかれたやうな狂人の噂をしてゐたが上陸と共にそれ／＼何處へか姿を消した

最高の賓客!
けふ無電の恩人着連
大連の日程、歡迎の催し決る

二十八日午前七時四十分着連する無電の恩人マルコニー侯の大連における日程は左の如く決定した ▲二十八日午前十時大連發旅順へ▲同午後四時頃、星ケ浦ホテル着、電々會社招宴▲同七時ヤマトホテルにて官民歡迎宴▲廿九日午後四時長平丸にて天津へ

歡迎の夕べ

大連放送局では二十八日マルコニー侯歡迎の夕を催すがそのプログラム左の如し
▲午後六時三十分　講演マルコニー侯を迎へて　八田滿鐵副總裁
▲七時　マンドリン・オーケストラ(一)カーニバル・オブ・ヴェニス(二)ローマの祭
▲七時十五分　箏曲千鳥の曲(箏本手福永大勾當、同福森勾當、替手福次大授導、尺八草崎主山)新日本音樂春興(宮城道雄作曲本手福次大授導、同小笠原松子替手福森勾當、尺八草崎主山)
▲七時半　長唄吾妻八景(唄杵屋彌代治、三味線杵屋和壽々、ピアノ伴奏村岡樂童)
▲七時五十分　歡迎の辭(ヤマトホテル歡迎會場より小川市長)答辭(同グリエルモ・マルコニー侯)

滿期凱旋兵 日程の變更

滿期凱旋兵の日程中十二月一日午前六時と同七時の兩回に亘つて大連驛に到着するが右變更となり午前七時着の分は取消しとなつた

無電事件一味近く送局

大連署で檢擧した無電事件は司法係小川部長の手で取調べ中のところ、犯罪內容漸く明瞭となり兩三日中送局されることゝなつた

事件の首魁は天津在住春木某であるが既報の如く關東州の無線電信法が外地にまで及ばぬ爲め春木を逮捕することが出來ず、從つて事件の核心に觸るゝに至難とされてゐる留置中一味の自供によると中野九八(二二)は首魁春木に月給百五十圓で無電技師として雇はれ去る九月二十日頃來連、市內濱町二七〇中村樂器店こと秋山米造方二階を借り受けて無電發信裝置をなし三日後には天津の春木宛に大連錢相場の發信を開始したものである更に一味の平岡孝雄(二九)は中野からニュースを買はないかとの相談を受けて青島から來連試驗的に發信してゐたものらしい、中村樂器店主秋山米造は一味の犯行は知つてゐたが加擔した事實はないと否認してなりこの點引續き追究中である

關東州及び滿鐵附屬地における無電法は從來體刑の規定がなかつたところ本年七月二十一日勅令をもつて違反者は一年以下の懲役、千圓以下の罰金といふに處罰主義に改正されて居り、今回の事件は法律改正直後に起つた問題だけにその法的裁斷を注目されてゐる

三日大連着
淺間磐手兩艦

帝國練習艦隊、淺間、磐手の兩艦が師走はじめ旅大にその英姿を現し海軍國日本の喜びを海外の第一線にある我々市民と共に頒ちあふと云ふ樂しい知らせが練習艦隊より當地海務局、埠頭等に報ぜられ「何分よろしく」と懇懃に挨拶がもたらされた

練習艦隊は松下元中將を司令官に戴き淺間が太田泰治大佐、磐手が原清大佐を艦長とし兩艦通じて准士官以上百四名、候補生の數は兵科百十三名、機關科三十九名、主計科十五名、下士官以下千三百四名、十二月二日仁川を發して三日午後二時大連に颯爽たる雄姿を現はすが八日午後四時大連發旅順に廻航、十一日午前六時旅順拔錨、青島を經て內地に歸航し正月を日本で過した上遠洋練習航路につく事になつてゐる

大連入港と共に三十八番バース三十九番バースに繫留されるが滯泊中は午前九時より午後四時迄一般に公開拜艦を許し市民と海の勇士等との心からの親睦を圖らうとしてゐる、なほ海の勇士等は大連神社、忠靈塔に正式參拜をなす事になつてゐる

負傷者收容

【ハルビン特電二十七日發】遭難列車の負傷者はハルビン及び昂々溪から現地に向つた救護車に收容し重傷者五名(內邦人一名)はハルビンに、比較的輕傷者七名(內邦人二名)は昂々溪に送り、輕傷者は一般乘客と共に臨時列車に收容し昂々溪に向ひ軍部の負傷者はチチハル野戰病院に收容した

滿洲刀劍會總會

遼東ホテルに於ける本年掉尾の刀劍研究會及び第四回總會は既報の通り二十六日午後一時より開催、事務會計の報告ありて承認又は規則改正により沿線各地を加へ役員改選の結果左の如く決定した

會長高柳保太郎(重任)理事田良龜太郎(常任)同內藤四郎(常任)同末次喬、同井上信翁、同內山金之助、監事津上善七、監事杉小太郎

なほ名譽會員に安藤要塞司令官、大場警務局長、山崎滿鐵理事、松山滿日社長、寶性大連社長、諸氏を推擧して盛會裡に散會した、因に滿洲刀劍會事務所を大連市濱町百五番地內藤四郎氏方に置く(電話五八〇七番)

金密輸犯逮捕

【東京特電二十七日發】近來滿洲に金の密輸出を行ふもの多いといふので各地の警察が嚴重探查中であるが二十七日神奈川縣警察部刑事課の手で橫濱市中區の小林與四郎(四七)を檢擧し取調べの結果、彼は二十一日金塊一貫五百匁を持つて滿洲へ赴く途中新義州で捕はれた同市大岡町の渡邊圓治(二七)の相棒で去る四月から金塊約五貫目を奉天方面に密輸出してゐたものと判明したがなほ共犯者多數ある見込で或は天賞堂の金塊犯人と連絡あるのではないかといふ

月並碁會の成績

二十六日日本棋院大連支部で催された月並碁會の成績左の通り
▼一等高本吉郎▼二等谷戶虎一郎▼三等柳川治之助▼四等白濱豐成▼五等萱原俊平▼六等石垣▼七等池內實行▼八等片岡語咲▼九等草川宏之佑▼十等井坂正

藤村義朗男

【東京二十七日發國通】食道潰瘍で危篤を傳へられてゐた藤村義朗男は二十七日午後三時二十分逝去した、享年六十四、氏は三井を背景に活躍し嘗て遞信大臣たりしこともあつた

安樂椅子

狗の置物の蒐集家として聞えた大連卓士の高山卓士氏は狗の置物のコレクション一千餘を携へて上京し麹町區富士見町に居住する事となつたその談話。

◇

二十年前大連の骨董屋から明代の乾漆物の置物の狗を手に入れたのが病みつきで狗の蒐集を始めた。支那固有の犬は廣東犬と北支那產の狆で廣東犬は秋田犬に似て居り狆は名古屋狆に似てゐる。西洋犬が支那に來たのは漢の時代にグレーハウンド、明の時にセッターとポインターが來た。

◇

世界中で犬に最も親みのあるのは英國で犬に關する文獻、藝術品など英國に最も多い。英國產のセッター、ポインター、テリヤ等は今世界中の犬の他の種族を絕滅させる勢ひだから自分の集めてゐるものも漸次これ等の二、三の型に統一されて行くさうだ(東京特信)

青空ホテル（51）

近江帆三
吉邨二郎畫

父の登場（八）

旗島が出勤してしまつた後は、何とも致し方がない。新聞を隈なく讀んでしまつて、窓から往還を見おろしてみても、何の變哲もない。爲方がないから、煙管で火鉢のへりをカンカラ／＼叩いてみる。これはちよつと面白い藝當だが長くは續かない。一人歩きは嚴禁されてゐるのでうつかり外出も出來ない。

新六氏は二階から三階にかけて、廊下をぶら／＼歩き廻つてみた。毎日のことなので、何號室にはどういふ人間が棲んでゐるといふことはすつかりわかつてしまつた。顔は見ないが、名前だけは知つてゐる。

屋上へ出ると、洗濯物がへんぽんと飜つてゐた。

お孝ちやんが白い洗面器に、洗濯物を山盛りにして上つて來た。ちよい／＼顔を合はすので心易くなつてゐる。

「いゝお天氣でございますわね」

とお孝ちやんは白いエプロンにさつと陽を受けた。

「結構なお天氣さまです」

「毎日ご退屈でいらつしやいませう？」

「はい。遊んでゐるのも辛いものです」

「あなたはどこかへお勤めですかい」

「はあ」

「やつぱり會社へでも？」

「いゝえ。ホホホ」

とお孝ちやんは笑ひ出した。まさか、正面切つてカフエーへ出勤してゐるともいへない。

「ちよつと銀座の方へ――」

「あゝ、さうですかい」

「今日はおそ番ですから三時頃から出かけますの」

「ホウ、夜勤ですか」

「えゝ、夜勤です。ホホホ」

と、お孝ちやんはまた笑つた。

しかし、新六氏には愛想笑ひだとしか思はれない。優しい、いゝ娘だなと思つた。

「旗島さんは本當にいゝ方ですわ」

「さうですか。わしの眼から見ると、ちよつともよいことはありませんで。どうやら酒も飲むやうだし、ムダ遣ひもするやうだし…」

「それアお一人ですから爲方がありませんわ。いまに奧さんでもお貰ひになればねえ」

「はい。まだ家内を貰ふのは早いと思つとるんですがな、本人がどうしても貰ふといふものだから、まあそれもよからうと思ひましてな」

「あら。ぢや、いよ／＼ね」

「はい」

「綺麗な方ですわねえ」

「ホウ、あなた知つていらつしやるか」

「はあ、二三度お目にかゝりましたわ。信子さんでございませう」

「左樣ですわい。ホウ、これはまた妙なご縁で――」

と、新六氏は驚いてしまつた。

「ほんとにお上品で淑やかで、旗島さんにはほんとにお似合でいらつしやいますわ」

「ところが、わしはまだ一度も拜見したことがなくてね。せめて、寫眞でもと思ひましたが、あれは寫眞も持つとりません」

「まあ、暢氣でいらつしやいますわねえ」

「いや、決して暢氣どころの話ぢやありません。ぜひ一度は見ておきたいと思ふのですが、あれは何たら彼たらいうて、見せようとしません。時に、あんたはその信子さんと友達ですかい？」

「いゝえ。お友達ぢやございませんでも時々お目にかゝるんです。美容院で――」

「ホウ。どこか惡いのですか」

「あら病院ぢやございませんわ。さあ、何といつたらいゝでせうね。髪結ひさんのずつと新式なそして綺麗になるところですわ」

「なるほど、髪結床か」

と新六氏は始めて合點した。髪結床なら女の集まるのは當然である。

新刊紹介

雄辯（十二月號）法政對立敎大學討論會「死刑是か否か」は若人平素の蘊蓄を傾け互に論難攻撃最近の社會問題座談會、津久井龍雄氏の「民族的正義觀へ」と題する熱烈なる獅子吼、全國青年の抱負經綸を忌憚なく訴へた「全國青年雄辯大會」國防第二線、米露回復と日本等（五〇錢、東京大日本雄辯會講談社）

滿洲日報
十一月廿七日發行

福建の對日空氣俄然險惡化

十九路軍の正規兵 我ランチに一齊射擊

重大事態惹起か

【上海特電廿七日發】福州來電に依れば二十五日基隆より入港せる大阪商船長沙丸の臨檢[illegible]た日本總領事館小型ランチが馬尾の十九路軍旅團司令部前を遡航中血迷へる十九路軍は不法にもランチ目掛けて小銃十數發を猛射した、幸ひランチに命中しなかつたが十九路軍正規兵が日本國旗を掲げた總領事館ランチに發砲せることは違法行爲であり守屋總領事は直に支那側に嚴重抗議中である、これをきつかけに福州の對日空氣は惡化し俄然事件は重大化せんとしてゐる

【東京特電二十七日發】上海來電によれば十九路軍が二十五日夕福州總領事館のランチに射擊を加へ又二十六日大阪商船大型ランチを數時間抑留せるなど排日空氣は俄に險惡化した

福建政府の魔手伸び 北支に動搖の色漲る

新政府辦事處猛策動

【天津二十六日發國通】福建の獨立は北支に內面的に相當の動搖を與へつゝあり何應欽は昨二十五日于學忠、宋哲元、萬福麟等各將領の連署を求めて中央に對し陳銘樞以下の嚴重處罰を請ふ旨の通電を發し于學忠も亦中央の命に依り獨立宣言の通電を抑留し各工會、團體、黨部等の集會停止を公安局に嚴命、極力動搖を防ぎつゝあるが福建代表曹恩同は秘かに東北各將領と會見潛行的に諒解運動を續けてゐる、一方陳銘樞は天津に駐津辦事處を設け處長に尹士禎を外交委員に王家鈺、財務委員に宋彥廣を任命活躍せしめつゝあり又西南派も駐津辦事處を中心に活躍既に同處に對し胡漢民、蕭佛成より華北工作に對する密電ありとも傳へられてゐる、省政府は右閉館を命じたがなほ東北將領間にも相當動きあり何應欽は未拂給料を中央に請求する等機嫌を取りつゝあり表面平穩なるも一本の燐寸の點火に依り忽ち爆發する危險性を多分に含んでゐる狀態にある

三氏の逮捕令

南京側一日攻擊開始

【上海特電二十七日發】南京國民政府は二十五日附正式に陳銘樞、李濟琛、陳友仁三氏の逮捕令を發した、福建の討伐に關しては既に海軍陸軍に動員令を下してをり航空隊は前航空署長黃秉衡氏を總司令に任命福建討伐航空軍を組織した、依つて遲くも來月一日までに空、陸、海の攻擊部隊は攻擊位置の完了をなし十二月一日から攻擊が開始されるものと見られてゐる

天津の于學忠 記者團と懇談

【天津二十七日發國通】福建獨立並にこれに伴ふ北支の動搖に對し新聞を中央に有利に導き且つ北支の動搖を來す如き記事の掲載を差控へしむるため河北省主席于學忠氏は本日午後三時省政府に在津支那側新聞記者を招待し懇談することゝなつた

蔣韓兩氏會見

【天津二十七日發國通】福建獨立に關し韓復榘氏の諒解を求むべく濟南に向つた北平軍事分會委員蔣伯誠氏は二十五日濟南着、二十六日韓復榘氏と會見中央の意を傳へ諒解を求むるところあつた、氏は二十七日夜濟南發何應欽氏に一切の狀況を報告する筈

日佛對滿事業組合 數日中正式調印

佛代表の證明書到着

さきに佛國海外發展協會代表ド・リヴイエ氏と滿鐵側石本總務部長との間において折衝の結果調印の運びにまで漕ぎつけた日佛對滿事業組合はド・リヴイエ氏の調印資格に就いて不備の點があつたので東京佛國大使館に照會書類請求中のところ愈々證明書が到着したので北滿旅行中のド・リヴイエ氏は二十五日來連した、數日中にド・リヴイエ氏は佛國大使館の證明書を持つて滿鐵を訪問、日佛對滿事業組合の契約書に正式調印の上、該組合の設立をみる筈

ニコ〳〵として 無電王夫妻着奉

沿道の風光に感嘆

【奉天電話】無線の父マルコニー侯夫妻は二十六日午後十時五十分奉天着の安奉線列車で奉天の人となつた、驛頭にはハルビンより態々出迎へのため來奉したマアフエ伊國領事夫妻始め大倉組關係者その他日滿官民多數の出迎へあり夫妻は長途の旅に聊か

◇聊か の疲勞の色も見せずニコ〳〵として貴賓室に入り出迎への者と懇懃なる挨拶を交はし自動車でヤマトホテルに入り旅裝を解いたが廿七日は早朝に起出で新京よりの出迎へのため來訪した交通部總長丁鑑修氏と會見懇談し午前十一時半より在奉新聞通信記者團と會見したが二十七日夜ヤマトホテルにおける丁交通總長の歡迎宴に臨み二十八日のはとで一路大連に向ふ豫定である、なほマルコニー侯は左の如く語る

滿洲國はこれから見物しようと思つてゐるが、まだ感想と云つたことはない、日本から朝鮮を經て

◇奉天 に來るまでどこを見ても綺麗な風光の良い地で而かも到る所鄭重なる歡迎を戴いて心から感謝してゐる次第であります滿洲見物は多年の希望でありましたが今回漸くその希望がかなつた譯で、殊に滿洲は日露戰爭のあつた所なのでこの戰跡を見たいと考へて居ります、滿洲國が成立して新京とかハルビンとか名稱はよく聞いて居りますが今回の旅行に際しこれらの地を見物しないで歸ることは甚だ遺憾に思つて居ります、今晚か明日大連に行きそれから天津、上海を見物して歸る積りである

因に丁交通部總長との

◇會見 は同日午前十一時から二十分ヤマトホテル中央廳間に於て行はれたが單に挨拶に止まり丁總長はマルコニー侯に對し滿洲國議認の資料ともなるべきパンフレットと寫眞等を贈つた(寫眞は滿洲に第一歩を印した安東驛のマ侯夫妻)

◇マ侯日程變更 二十七日夜來連の豫定であつた無電王マルコニー侯は日程を變更して二十八日午前七時四十分着列車にて着連の筈

佐藤敬三氏

青島海事協會理事佐藤敬三氏は二十六日午前五時急逝、大連における海事關係者を代表して大塚源吾氏が二十七日出帆奉天丸で青島に急行した、尙故佐藤氏は青島航政局顧問として青島における港灣行政を確立し現行水先法を制定したものでその死を悼まれてゐる

藏相依然として强硬

昨夜藏相私邸の省議

【東京二十七日發國通】大藏省は二十六日日曜に拘らず午後五時から赤坂表町藏相私邸に省議を開き藏相以下上塚參與官、藤井主計局長、賀屋豫算決算課長等列席主計局側より各省復活要求に關する折衝經過特に二十六日海軍當局との折衝につき詳細報告、藏相の最後的決裁を求めて指示を仰いだところ藏相としては海軍側の要求八千萬圓餘と云ふ金額は餘りに多過ぎ大藏省の方針と相容れない、よつて主計局は飽くまで當初の方針を變へず今一應事務當局間の折衝を重ね其上で不可能ならば自分として最善の途を選ぶべく努力しようとの當初の方針に則り主計局を鞭撻したので主計局もこれ以上藏相の意見を求むるに由なく七時散會、省議散會後上塚、藤井兩氏は官邸に來り更に海軍の村上經理局長の來訪を求め約二時間協議したがその後の諒解成立せず二十七日に持越しの止むなきに至つた、結局二十七日あたり高橋、大角兩相の政治的折衝行はれ事態の圓滿進展をみるに至るのではないかと見られる

海軍側も强硬主張

【東京二十七日發國通】豫算の復活要求に關し海軍では二十六日午後五時より霞ケ關海相官邸に大角海相、藤田次官等參集し協議の結果國防の重責を負ふ海軍としては飽くまで一億二千萬圓の要求を讓歩せず强硬に主張することに決定し二十七日午後より海軍首腦部總動員で關係筋を廻り最後の諒解運動を試みる筈で大角海相の政治的交涉はその後となる模樣である

政治的解決へ

閣議は廿九日か卅日

【東京二十七日發國通】難關の來年度豫算は目下のところ如何なる解決を告げるや全く見透しさへつかず大藏當局と各省には依然難交涉が繼續されつゝあるが、愈々事務折衝としては最終の段階に入つたゝめ二十六日は日曜にも拘らず各省は再復活案を中心に協議を續ける緊張振りであつたが特に最難關視つゝある海軍農林兩省においてはそれ〴〵大角海相、後藤農相を中心として官邸に省議を開き長時間の協議の後果然財政當局の查定案を一蹴せる頗る强硬なる再要求を決議し海軍農林兩省は二十六日午後それ〴〵大藏當局に强硬態度を披瀝しその他各省とも鋒先を揃へて財政當局に肉薄し來つたがこれに對し大藏省側は午後五時から二時間に亘り高橋藏相私邸に藤井主計局長以下首腦部參集し各省の再要求に對する事務當局の最後的查定狀況を報告、その內海軍農林等の大物については最早や事務的折衝による解決を期待し得ずよつて藏相の裁斷に委せる以外に途なき旨を述べ茲に愈々復活要求は事務的折衝の域から政治的解決の一歩を踏み出すことゝなり政治的解決の活動は二十七日に入つて全く本格化し高橋藏相を中心に大角海相、後藤農相等の會見が期待され最終結末迄には齋藤首相の乘出し斡旋も行はれることゝならうが、政府側としては目下のところ大藏省が絕對自力に依る解決を標榜してゐる點を尊重し、首相も待機の姿勢をとり政治的折衝に入り財政當局と各省の互讓によつてこれに首相裁斷の形式を踏み圓滿解決を告げるものと期待してゐる、しかしこれ等の折衝を經るためには二十七日一日では到底間に合はず從つて實質的解決を見ざるうちは閣議に上程せざる方針であるから目下のところでは二十八日の定例閣議には間に合はぬ模樣で二十九日か或は三十日臨時閣議開催の運びとならう

貴族院の意向 藏相を支持

【東京二十七日發國通】來年度豫算編成のため政府は非常に緊張し特に軍部と財政當局との關係が最も注目されてゐるが貴族院有力筋の意向は今回の大藏當局の查定方針並にその內容は流石に老藏相の手並と感心されるこれに對し陸海軍並に農林當局が强く復活要求をなしてゐるが外交、國防、財政の三位一體の立場からこの際高橋藏相は所期の方針通り貫徹することが國家の大局から必要であらう、若しこの場合大藏當局の方針が敗れるならば財政の基礎を危くする惧れが多分にある、しかして豫算編成難で政變をみるが如きことあれば益々時局を紛糾させることゝならうからこの際是非とも大藏當局の方針を貫徹せしめねばならぬと藏相を支持してゐる向が多い

人事

◀栗原鑑司氏(中央試驗所長)二十七日入港うすりい丸にて歸任
◀島田信吉氏(大[illegible]庶務課長)同上
◀中田末廣氏(電々會社技術部長)同上
◀小澤新之輔氏(錢鈔囑託)同上
◀井上禧之助氏(旅順工大名譽敎授)同來連
◀多賀二夫氏(日商重役)同上
◀左近允尚正氏(新任駐滿海軍部付海軍中佐)赴任のため同上
◀藤森大佐(駐滿海軍部參謀)二十七日午前九時發はとにて歸任
◀芳賀千代太氏(新京鐵道事務所長)同上
◀江川忠一氏(撫順炭販賣會社支配人)同上

ばいかる丸船客

【門司特電二十七日發】二十九日大連入港豫定ばいかる丸の主なる船客諸氏
天津領事栗原淸、貝瀨謹吾、東京製線社員渡部基、住友電線谷口亘、海軍少佐沖野益男、德泰公司濱野榮一、玉木繁治、湯淺達三、東後達三郎、宗像金吾、原田辰雄、瀧川辰太郎、濱松贊、近藤兼三郎、河合昇三郎

蛇角

◇姿なき文明の利器、無電の發明者、マ侯明朝來連。
◇ウエルカム、ウエルカム。
◇双頭の蛇、互に嚙み合ひ、毒氣全支に漲る、何と氣の毒な。
◇匪賊國際列車を襲擊、蟷螂の斧煩さし煩さし。
◇輝く隊隊兵、噂の入營兵、われ等の若き勇士に、幸あれ。
◇靴の音間近に聞くや冬の星。

號外發行

本社は二十七日午前七時「匪賊に襲擊された國際列車顚覆事件」に關し號外を發行した

滿鐵の改組 一般も漸く冷靜

平山支社次長來連語る

滿鐵東京支社次長平山敬三氏は事務打合せのため廿六日午後四時半周水子着飛行機にて東京より來連遼東ホテルに投宿したが、二十七日出社、林、八田正副總裁に東京における改組問題を繞る空氣について報告した後左のごとく語つた

滿鐵改組問題は一時東京でも大騷ぎをやつたが今はすつかり鎭まつて新聞も

論說 では取扱ふがニュースとしてはのせぬやうになり、方々の役所へ行つても殆んど話も出なくなつた、それは一般にこの問題の落ちつくところを見通してそう急激な改革は行はれないと信じて來たからであらう、社員會の宣言は各方面に好評を博し「白日の下に論議せよ」といふ主張には皆同意を表してゐた、社債の發行がこの騷ぎで相當支障を來したことは事實だが銀行手持ちが多かつたことは必ずしもこのためばかりでなく一般に金融逼迫し東京市債など流れたやうな環境にもよるものである、この次の社債がどうなるかは金融界のことはほとんど

豫測 を許さぬから何とも斷言は出來ない、今度來連したのは私が滿鐵を代表して取締役をして居る傍系會社中、日滿倉庫阪神築港、昌光硝子および山東鑛業の總會が年內にあるのでその對策を本社と打合せて置くためで、それ以外には用向はないから三、四日滯在して直に歸京する考へである

白衣の勇士を出迎へませう

明朝六時廿分着驛

中央軍三萬

【上海廿七日發國通】蔣介石氏は福建軍の北上に備へるため浙江省境を堅めるに決し既に津浦線沿線に駐屯の四ケ師約三萬の南下を開始した、一旦浦口に集結の上水路寧波又は溫州へ向はせるものと確聞する、尙中央の軍政當局は前記動員部隊の水路輸送用として招商局その他の支那汽船會社を徵發しつゝある

菱刈軍司令官歸還

けふ錦州から奉天へ

【奉天電話】錦州○團部に宿營した菱刈軍司令官は二十七日午前九時十分平田○團長その他日滿官民の見送裡にゼム十六號機で錦州を出發午前十時半多少の難航の中に東飛行場に着、土肥原特務機關長、蜂谷總領事、臧省長代理、粟野所長、黑崎滿洲航空會社副社長、兒玉副社長その他日滿官民の出迎へを受け航空會社應接室にて挨拶を受けた、兒玉副社長から滿洲航空會社の業績と計畫その他既定方針の說明に時々質問しそれから承德を往復した四飛行士に對して挨拶あり瀋陽館に着中食をなし午後三時のはとで新京に歸還した

村山龍平氏に叙位叙勳

【東京二十七日發國通】[illegible]ではこの程逝去した村山龍平氏に對し多年文化操觚事業に盡瘁した功勞を思召され左の通り叙位叙勳の御沙汰を賜つた

勳二等 村山龍平
叙從四位
叙勳一等授瑞寶章

阿比留乾二氏

滿洲國前司法部總務司長阿比留乾二氏は明春二月出發フランス留學の途に上るので十二月初め離滿に先だち旅大官民の舊知に挨拶の爲め二十六日夜來連、二十七日は午前中本社來訪、次いで滿鐵本社を訪うたが二十八日は旅順に往復し同夜大連驛發奉天に向ふ由

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は改組案に就いて最後的協議を行ふ爲め二十七日午前十時三十分より開催、正副總裁、伍堂、十河、村上、山西各理事石本總務部長列席の下に始められたが正午に至るも休憩せず辨當を取り寄せて中食を攝つた上午後に續けて會議を行つた

「滿鐵改造論」

既報日笠本社囑託執筆の「滿鐵改造論」は大阪屋號書店より出版されたが內容は本紙掲載の外左の諸項に亘り「國家統制を基幹とする軍部案と新國策の檢討」を加へたものである

國家統制に依る全面支配制と全滿鐵の分解、特殊企業及び傍系事業の支配的統制と其機構、關東軍の指導精神と現地に卽する新經濟國策、中央の改革案審議と緊急勅令か議會提出か、日本經濟界の聯關と軍部案の重要視點、非常時國策の動向と滿洲經濟策の相關性

女の部屋 (22)

林芙美子作 一木彈畫

眼 (一)

手術室の扉でもあける様な氣持で把手を廻した智子は、だが敎室の何處にも、土方の姿も洋子の姿も見出さなかつた。廊下に足音のする度に、遲刻者が把手をがたつかせる度に彼女は心臟が止る程ハツとして期待に慄へたがそれも徒らに苦々しい失望を重ねる丈に終つた。

一時間中彼女は何を聞いてゐたのか少しも覺えてゐなかつた。その不安と焦躁は軈て暗い絕望に變つて彼女の心を嚙んだ。

幸は悄然歸つて來た智子の顏を見てすぐ何事かよくない出來事を想像した。そして彼女の後から跟いて廻つた。智子はそれを知つてゐたが態と頑固に默りこくつて、さつさと和服に着かへ始めた

——何處か氣分でも惡い

——いゝえ。

嫌な事でもあつたのぢやないの?

——いゝえ

幸は汎々呟いた。

餘程氣をつけてゐないと、若い娘が外に出て動いてゐる中には色んな誘惑もあるのだから。

——そんな事ぢやないわ。妾今日學校で逆も不出來だつたの。

——さう、そんな事だつたら……

……さほつと安心した様に、だつてあんたは働いてるのだから他のお嬢さん方の様に充分な下調べも出來ないのだもの、そんなにね……

智子はふつと泪ぐんだ。それを見られまいと

——妾おなかゞ空つぽ。御飯早くしてね。

さいつて幸を臺所に追ひやつた。おどおどと自分の事を思つてくれる叔母に何となく濟まない氣がした。彼女は自分も臺所に行つて用意を手傳ひ始めた。

斯うして賴る所もない叔母と二人の靜かな生活が一番樂しいではないか?何を好んで戀を企てる?働かねば食べて行けない様な女達に許された戀……それは屈辱と忍從の戀でしかない。戀を請ひ取るなんて、おゝ嫌だ!

けれども彼女等が戀をし樣とすれば「愛して下さいね」と賴まねばならないのだ。洋子達の様に「愛してあげるわよ」とは出られないのだ。

——あんたが小さかつた時は、ほんとに燒茄子の好きな子でね、大人の三人分位食べたもんだけど

幸は鐵網にのせた茄子を轉がし乍ら、あんまりむつつりしてゐる智子の氣を、どうにかして引き立てゝ樣々な事を[illegible]

食事がすむと、又何時でも同じ死んだ様な夜が來た。幸は茶の間で時々鋏の音をさせ乍ら縫物を。智子は自分の室で讀書を。

縫物をしながら幸は思ふのだつた。

(若い身で可哀さうに、他の娘達の様に外に出るではなし、活動一つ見に行かずに、兩親さへ生きてたら一人つ子でいやが上にも甘やかされて今頃は婿探しに血眼だらうに……)

夜毎の縫物に翳つてゐる幸の目からは、僅かの感動でもすぐ泪が流れるのだつた。

(いゝお婿さんでも早く探して……)

九時頃、表戸のあく音がして男の聲で案內を請ふのが聞えた。

來る人と云へば職人達の押し賣か厨屋位の此の家に今頃一體誰だらう、と思ひながら幸が立たうとしてゐる時、智子が出て行くらしい氣配がした。

國際列車襲擊 後報

裝甲列車で擊退 高波將軍は昂々溪着

匪賊は靑山好の一味

【ハルビン特電二十七日發至急報】西部線で國際列車を襲擊した匪賊は靑山好の一味五十名で約百米に亘り犬釘を拔取つて待受けたもので、列車は急速力のため機關車、貨車一輛、郵便車一輛が顚覆寢臺車は顚覆は免れたが滅茶苦茶に破壞され阿鼻叫喚の慘狀を呈し死傷者相當多數の見込賊は頑强に抵抗したが遂に擊退し、昂々溪から現地に向つた裝甲列車は二十七日朝八時昂々溪に歸還した、高波將軍も同列車にて到着した、非戰鬪員の死傷はなほ不明だが、軍人の損害は山本軍曹、尾島上等兵が戰死し入江上等兵、丸山中尉、大塚一等蹄鐵工兵、淺見軍曹、高橋一等兵が重輕傷を負ふた

【チチハル特電二十七日發】二十六日夜小蒿子附近において匪賊との戰鬪において戰死した我兵は飛行〇隊の山本軍曹、尾島上等兵で重傷は深澤上等兵でありその他兵士六名負傷した列車顚覆のため一般乘客の負傷者は五十名に達するといはる

北鐵の應急處置

【ハルビン特電二十七日發至急報】北鐵管理局は應急處置として左の通り決定した、二十七日の西部線運轉は二一列車はハルビン安達間で打切り、滿洲里發ハルビン行列車は昂々溪にて打切り、乘客を全部降ろし救護列車に變更して現地に向ひ死傷者を收容してハルビンに急行する

國際囑託一行も無事

國際列車襲擊事件に關し國際運輸チチハル支店長發二十七日午後零時半本社着電によれば昨夜小蒿子附近において國際列車顚覆、匪賊襲擊し遭難の山崎囑託、岩囲、前田兩社員は幸ひ負傷もなく無事到着したと

滿鐵への入電

北滿鐵路西部線國際列車顚覆事件に就いて滿鐵資料課には二十七日午前十一時三十分ハルビン事務所より左の如き電話があった

顚覆列車には皇軍飛行隊將士八十名乘込み居り匪賊の襲擊に對して直ちに應戰した、皇軍損害戰死二、重傷一、輕傷四

戰死傷者氏名

鄭家屯守備隊の損害

【新京電話】二十六日四洮線太平川驛西方に匪賊襲來し同地守備隊は急遽出動これに應戰したが右報に接しこれが急援に向つた鄭家屯守備隊員は途中突如匪首不明の匪賊の襲擊を受けこれに應戰敵を擊退したがこの戰鬪で我が方は左の戰死重輕傷者を出した

▲戰死者　江本敏武大尉、篠田一等兵、小池治三郎一等兵、尾崎一等兵、宇津木鶴一等兵、中山保一等兵、古山正一一等兵、富岡敏一等兵、有福一等兵

▲重傷者　服部伍長、竹井上等兵、小川一等兵、根本一等兵、百木田一等兵、石塚一等兵、野上一等兵、篠田上等兵▲輕傷者　石井上等兵

兒玉博士宅の紛糾和解成立

既報の兒玉博士邸家主水谷信厚氏が兒玉博士を相手どり家賃及び損害賠償金一千圓を請求してピアノ一臺を假差押へした事件に關してはその後博士代理人大內辯護士、水谷氏代理人齋藤、田村兩辯護士の間に種々交渉が續けられてゐたが、結局博士側より水谷氏に對して若干の包み金を贈り水谷氏は無條件で假差押へ處分を解くことに安協することになり、廿七日和解成立の手續きを終ると同時に水谷氏はピアノの假差押へを取下げた

銃後を護る非常時女性　愛國の血に燃ゆる大衆婦人を中心に結成された大日本國防婦人會關東本部の發會式は二十三日午後一時から靑山南町の靑山會館で擧行されたが各支部から派遣された代表約二千名はその意氣を示す白エプロンのユニホーム姿も勇ましく現代流行の有閑マダムの不行跡を尻目に雄々しい團結の力を示した（寫眞は盛大な發會式）

現業員にも休暇 社員會から要望

近く會社に提出する

滿鐵社員會相談部では先般來沿線各地方事務所及び撫順炭礦所在地十五ケ所に於いて現業社員を中心とした社員生活相談座談會を催してゐたが社員家庭生活向上に就いての樣々の改善意見が論議されたなかに現業員の休暇制定要求が各地座談會を通じて强く主張されたので相談部では是を沿線現業員の要望として近く社員會役員會において協議の上鐵道部長を通じて會社側に提出することとなつた

即ち現在鐵道現業員中各驛勤務の者の如きは朝八時から翌朝八時までの勤務で又翌朝八時から始り年中全休日はないため不規則な生活のため健康を害する者多く曾て評議員會に於いて休日制定要望を討議され仙石總裁の當時休日制定されることに內定してゐたが、其の後會社の業務繁忙の爲め今日まで實現しなかつたものである

鏡泊學園生 實地踏査

敦化から出發

【吉林特電二十七日發】本年五月より敦化に滯在中であつた鏡泊學園生徒約三百名の中約五十名は實

遂ひに不滿爆發し 噴火山上に踊る

新興俱樂部は何處へ

巨　經營上大蹉跌を來した滿人遊戲場新興俱樂部の內容がひとたび世上に暴露されるや十萬圓の額を投じて營業下請負をしてゐる梁傑宥氏等の營業請負公司の關係者間に非常な動搖を與へ遂に不滿の爆發となつて井上理事長に對し「一體どうして吳れるのだ」と膝詰談判に及ぶ騷ぎと化した、請負人側の言ひ分は本年六月契約當初すぐにも理想的營業の出來るといふ話であつたので巨資を投じ請負うたものであるが半歲を經た今日、營業種目の嚴重制限下にあつて電燈代の收益すら舉らぬといふ不振狀態にあつては投資額の回收はおろか延いて社會的信用問題に及び生業にまで

惡　影響を來してゐる、今日まで理事長の人格を信じて來た我々もこの際理事長が振興策を講ずるにあらざれば我々は俱樂部の建物を競賣に附すより執るべき手段はないといふにあり態度頗る强硬にして推移の如何によつては建物の競賣及び舊俱樂部關係において刑事々件とまで進展しかねない形勢となつて來た、よつて井上理事長は事態の惡化を憂慮單身關東廳を訪問するなど善後策に奔走を續けてゐるが、俱樂部內部においては營業上大蹉跌を來してゐる最大原因は官邊より人格的に白眼視される二三役員の存在するがためであつて

役　員の處置さへ講じてゐたならば俱樂部自體世間の惡評を受けず一方官邊の壓迫方針より脫れ得たとであらうが理事長の優柔不斷から事ここに至るまで人事に關する淨化作用を行はず遂に今日の如く事態惡化に導いたものでこれは獨り井上理事長の負ふべき責任であるとなし同氏に對し俄然非難の聲が擡頭してゐる而して理想派役員間では井上理事長を鞭撻し私情を離れて人事問題を急速解決し官廳の方針緩和を圖り資本七十五萬圓の新興俱樂部更生策を講ずるより外なしといふに意見一致を見た模樣で辛うじて下請負人側の騷ぎを鎭撫してゐる有樣である

最善の方法で 更生を圖る

理事長井上信翁氏談

右に就き井上理事長は語る今日まで私を信じて默つてゐた下請負人が騷ぐのも無理はありません、自分としては充分責を感じてゐます、この際俱樂部の更生策を講じなければ騷ぎは鎭まりますまいが何しろ根本に橫はる問題が問題ですから早急に運ばないのが殘念です、官憲の御意向が那邊にあるかも大體推察することも出來ますが、自分としては最も圓滿に、最善の方法を執りたいと考へてゐる、私の態度が優柔不斷であるとの非難も耳にしてゐますがこのお叱りは至極尤もなことで、此點も充分責任を感じてゐる次第ですどうか萬事を御推察の上、餘り追究せずに置いて下さい、しかし俱樂部をこのまゝ潰して終ふことは出資者に對し非常な迷惑を及ぼす重大問題で、そんなことは如何なることがあつても出來ないことで、私は理事長としてあらん限りの誠意と努力とにより誓つて俱樂部の更生策を圖る考へです

某辯護士が關係の 不正事件發覺

金融魔和田の取調べ

十萬圓に達する手形詐欺で大連署に留置されてゐる金融魔市內桃源臺二〇番地金融ブローカー和田一郞(三)は同署司法係柏宮警部補の手で取調中であるが、連日に亘る多數被害者及び

證人　の召喚によつて漸く大詐欺事件の內容が判明するに至つた

卽ち和田は昭和六年十月から本年六月まで大連輸入組合員相手の金融ブローカーとなり金主は市內對馬町福島藤太郞、初音町藤田秀雄、西公園町中村兼一の三氏で輸入組合員から二ケ月一回の決濟に當つる金融を依賴さるるや前記三金主に手形の割引をさせて金融を行つてゐたものであるが、和田はかつて市內大山通で永記洋行と稱する貿易商を營んでゐた時代の多額の債務があり、之に充當するため金融依賴者より金主に還るべき金の

橫領　を行ひ、一昨年末頃から盛んに幽靈手形を濫發し前記三金主を欺いて取込み詐欺を行つてゐたものである

この幽靈手形は二十七日午前中の取調においては八十枚この被害金額二萬五千三百八十圓に達してゐるが、三金主の被害は

中村氏關係　約五萬圓
福島氏關係　約三萬五千圓
藤田氏關係　約一萬三千圓

といふ驚くべき多額に上りこのほか少額の手形詐欺、橫領の被害は實に四十餘名の多人數に上つてゐる、なほ同事件の取調

進展　につれ端しなくも某辯護士外一名に絡る不正事件が發覺したる模樣で同署では極秘裡に內偵を進めつゝあり、事件は意外な方面にまで飛火せんとする形勢にある

軍國の冬訪づれて 驛に埠頭に我勇士

除隊、入營の若人行進

除隊シーズン、入營季節となつてカーキ色にガッチリした身體を包んだ若人の來往が急激に殖える、滿期除隊兵は國防の第一線に立つて陸軍日本の威武を中外に輝かした誇りに滿ち溢れ乍ら懷しい故鄕へ凱旋する、入營兵はいづれも母國を離れて赤い夕陽の滿洲の守りにつくべく意氣壯な若人達である

駐滿部隊の來滿のトップを切つて二十九日入港御用船綾葉丸で〇〇〇名、三十日入港天平丸で〇〇〇名、十二月一日入港あいだ丸で〇〇〇名續々精悍な顏を見せる筈で滿期除隊の勇士等のトップは十二月一日午後三時九番バース出帆御用船天平丸と二日同バース出帆あいだ丸で〇〇〇名、これを大連驛發着をもつて知らせば

十一月二十九日午後十一時、午後十一時四十分兩列車にて北行▲三十日午前七時、午後七時三十分兩列車にて大連驛着▲三十日午後十一時午後十一時四十分列車にて大連驛發北行▲十二月一日、午前六時二十分、午前七時兩列車にて來連▲同日午後九時、同十一時發列車にて北行、なほ十一月二十八日午前六時二十分着列車にて傷病兵五十五名十二月四日午前七時列車にて遺骨二十餘體が到着する豫定である

林、馬兩匪首 歸順申込

【錦州特電二十七日發】我が軍の

命の恩人に差入れ

匪賊生活が祟り李送局

匪賊に拉致されて危く死の一歩手前で助かり懷しい我家に歸ることを得た沙河口巴町七九長谷川組中尾德四郞氏を繞る人質美談は既報した處であるが、その物語りに主役を演じ、ハルビン憲兵隊で歸順を許された山東生れの匪賊李德才(二)はその後沙河口署で取調べの結果、匪賊の仲間であつた當時の事情がたゝり强盜並びに不法逮捕監禁脅迫の罪名の下に一件書類と共に二十七日檢察局に送られて來た、血で血を洗ふ匪賊生活を清算して更生の生活に入ることを決意した李は小さな風呂敷包一つを持つて晴々とした顏色を輝かせつゝ送られて來たが、その包みの中には中尾氏が命の恩人に對する心づくしの握り飯が大事に納められてゐた

警察の御飯は支那パン二つだと聞いた中尾さんが、溫い御飯を走してくれたのですと李は語つてゐたが、曾ては命を助けられた中尾氏が、今は差入れその他許される限りの力を盡して李のために努めてゐる、飽く迄も麗しい人情美談として檢察局の係官に非常な感激を與へてゐた

地踏査のため松乙溝に向け既に出發したが第二回約五十名は本月三十日頃同地に向け出發することゝなつた、目下同地附近は積雪尺餘に亘り見渡す限り銀世界に彩られ方向さへ困難なる折柄一行の出發は相當な興味を持たれてゐる

千代田公設市場の 場外取引取締り

百名だけ露天販賣許可

市內千代田町公設市場における場外取引問題は保安衛生の見地から所轄大連署保安係で市當局と協力し嚴重取締を行つてゐるが、何分入場料問題と市場狹隘の爲め市場外取引の根絶を期することが出來ず頗る手を燒いてゐたが今回大連署では市當局とも凝議の結果、入場料の遞減と市場の柵を取り拂つて場內を擴張し野菜、魚類の販賣者六十名に限り强制的に入場させその他商人は百名に限り露天販賣を許可することに決定した

場外取引は千代田町慶民聯合會に管理させ關東廳土木課において道路擴張の必要ある場合は何時でも撤去する條件が附せられてゐるが、これをもつて同方面の需要供給を便することが出來得るものと見られ、これ以外の場外取引は警察力を以て嚴重取締るに方針決定した

州外への送電に 實業廳から抗議

復鎭東への送電紛糾

鐵路總局が安東城子疃間に運轉する自動車營業の事務所は城子疃と州境を挾んで存在する復鎭東に設置されることに決定してゐるが同事務所の設置に伴ひ電燈配給問題で貔子窩民政署と奉天省實業廳の間に紛糾を起してゐる

卽ち鐵路總局では州內から事務所への電燈配給につき貔子窩民政署の諒解を得たのでその豫定で準備を進めてゐたところ突如奉天省實業廳から州內から州外への送電には奉天省實業廳の認可を必要とするとてこれに抗議を申込んで來たものである

民政署側ではこの種の問題は地方民の要望にも副ふことであり、地方縣知事の了解があれば足るとしてゐるもの、如く解決には相當日子を要する見込で本問題は小範圍のものにしろ今後この種の問題に先例となるものであるため關係筋では根本的解決の一日も早からんことを切望してゐる

天津租界埠頭に けふ汽船初入港

昭和二年竣工以來の第一船

【天津二十七日發國通】昭和二年竣工以來白河の泥塞のため汽船の遡航をみなかつた日本租界埠頭に本日愈々第一船として東興洋行の八千代丸淸水丸の兩船が入港することとなつた、入港は午後二時頃の豫定で日本租界では居留民一同歡迎祝賀に忙殺されてゐる

兼井氏香港へ

金福鐵路內紛裡の中心人物兼井鴻臣氏は歸朝途上の門野社長を船中に出迎へて委曲經過を報告し併せて所信を陳ぶる爲め二十七日午前十一時出帆の奉天丸にて香港に向つた、歸途は廣東、南京の政情を視察し來月十五日頃歸連の豫定なる由

徹底的討伐にあつた熱河匪賊の天下好、大恩字の兩名が二十三日靑砥部隊に對し無條件歸順を申込んだことは既報の通りで既に小銃二百、輕機關銃三、重機關銃二を提出し完全に武裝を解除されたが尙灤東から逃入して來た林中好及び馬常榮の兩匪首も誠意を示して歸順を申込んだので二十六日靑砥部隊から武裝解除に向つた

トミーと 引分け

新進堀口善戰

【東京二十七日發國通】バンタム級の世界選手權保持者たるヒリッピンのヤング・トミー對新進堀口との八回戰試合は異常な人氣を呼んで二十六日午後田園調布の野球グラウンドに開催、堀口よく戰つて遂に引分けとなつた、最近日本の拳鬪は相撲の人氣を奪つた觀がありこの日も觀衆はグラウンドに滿ちた

家出は間違ひ

既報、金州大連醫院分院看護婦田代華子(二)同宮內好乃(二)兩女の所在不明事件は最近兩女が大連醫院を辭職し來連したのに對し看護婦規則に基き十日以內に轉居屆を提出しなかつた爲め、金州警察署では所在不明者として大連署衛生係へ搜査の手配を發した結果家出人と誤られたものであるが、兩女は現在大連市內の兩親の膝下に在り分院の方も新婚生活に入るべく圓滿辭職したものである

なほ當時同分院關係者で男二名の失踪事件があつた

北原選手轉勤

大連ラグビー俱樂部選手北原一造氏は今回三井物產ニューヨーク支店詰に榮轉することになつたが二十九日出帆のうすりい丸で赴任の由

母も子も大喜び!!

お子さんには漫畫繪本『凸凹黑兵衛』お母さんには五千圓懸賞つきの新案家計簿と編物の本と合計三冊の別冊附錄がつくので婦人俱樂部十二月號は大評判!

天気予報

二十八日

北西の風晴

滿潮(午前 七時十分 / 午後 七時五十五分)
干潮(午前 零時五十分 / 午後 一時十分)

各地溫度（二十七日午前十一時）

大連	二	奉天	零下二
旅順	五	新京	零下五
營口	零下一	新義州	三

今日の小洋相場(十一時半)　金百圓につき一二〇圓九五錢

善鬼惡鬼（271）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

月下の勝負（一）

湖上の山に冬の月は冴え冴えとしてゐた。こんもりと茂つた樹々の梢の、どこからともなく、梟の啼く音が淋しかつた。

車澤五郎の轟五郎兵衛と、潮田少貳は互に、二三間を離れて、樹の根に腰を下してゐる。

玆六だけが少し離れたところで木を削つてゐた。樫の木の手頃の枝を切り下して、二本の木太刀をつくつてゐるのだ。

「同じ幹から出た樫の木太刀です。長さも同じ、重さも同じ、そして質も同じ木太刀で勝負をするのだから面白いなア」

「節はしらべたか」

玆六は、獨り言を云つた。

少貳は云つた。

「充分にしらべました。依怙ひいきは決してありません」

「眞劍の試合がして見たかつたなア」

五郎が云つた。

「拙者も、本當はそれが望みだつた」

少貳も云つた。

「飛んでもない、一方は拙者の先生、一方は初對面ながら、滅法氣に入つた人物です。どつちに怪我があつても困ります」

玆六は熱心に木太刀を削る。

「怪我など心配して、立派な勝負は出來るものでない」

五郎兵衛が云つた。

「その通りだ。眞劍も木刀の如く打ちふり、木刀も眞劍のやうに打ち振るところに、勝負の骨法はある」

少貳は左右の指をポキン／＼と云はせた。

「玆六どの、ものは相談だが、必ずとも一寸手前で刄を食ひとめて見せる、眞劍つかはしてくれぬか」

五郎がいつた。

「飛んでもない。一寸手前で刄先を食ひとめるもの、はずみといふ事がある。月が晝のやうに明るいとはいへ、晝と夜とでは寸法がちがひます。眞劍は斷じていけません」

玆六はおしきつて木劍試合を主張した。二人は默つて了つた。

「この男はあはてもの丶くせに、辛勞性です」

「さうらしい」

「今更になつて、二人の命のかけ引立てをするぐらゐなら、五郎どのを拙者の前に連れて來ない方が好いのだ」

「さうも云へないな。拙者の片腕をふところ手と見あやまつたり刀の柄においた指先を指割仔とやらに見あやまつたり、眞劍の試合をするよりも危ない事です」

「全くその通りだ。玆六、眞劍をゆるしてくれ」

五郎と少貳は、そんな事を話し合つて、再び玆六に云つた。

「斷じてなりませぬ」

「大丈夫だがなア」

「いけません」

「玆六どの、貴公それほどに我々の劍を危なく思はれるか」

「それとこれとは話がちがひます」

「どうちがふ」

「劍は兇器と申しますからな」

「持ち手によつて、使ひ手によつて、劍の精神がかはつてまゐる」

五郎が云つた。この言葉はすばらしく少貳の心を動かした。

「使ひ手によつて劍の精神がかはる、なるほど其の通りだ」

少貳は我意を得たりといふ顔でにつこり笑つた。五郎と少貳の目と、目がぴつたり合つた。

玆六は無心に木太刀を削つてゐたが、兩手にかまへて、流々とふるつた。

「出來たか」

「出來ました。木劍の寸法も同じ事、目方も同じ事、そして、幹を等しうした樫の枝です。節も木目もそろつて居ります。反りも寸分ちがはぬつもりです。一應改めて下さい」

兩手にかまへたまゝで、玆六は兩人の前へ持つて來た。

「忝けない。併しどうしても眞劍はゆるしてくれぬか」

「なりませぬ」

「ならぬとあらば」

五郎の目がちらりと少貳へ光つた。少貳の目も光つた。

「あッ危ない」

けたゝましく叫んで、二三間飛びすさつた玆六の前では、刄の稲妻が相青眼に、時ならぬ虹のやうに横たはつてゐた。

片岡千惠藏が陪審員になる

京都市右京區嵯峨野有栖川町に植木正義の名で住居する千惠プロの御大片岡千惠藏が今回右京區の陪審員に任命された、陪審員は品行方正を第一の條件として居り映畫人で而も俳優でこの名譽職に任命されたのは千惠藏が最初である、彼は

撮影が忙しいのでとお斷りしたのですが是非ともおすゝめでお受けしました少しでもお役に立てばと光榮に思つてゐます

と語つた

うわさ話

松竹蒲田の三四年新春映畫はオール・サウンド版「初戀の春」とオールトーキー「女と生れたからにや」▲近日上映豫告の常盤座の「夢見る唇」中央映畫館の「嬉しい頃」映樂館の「戀の市丸」はいづれも正月興行に廻るらしく▲日活館の「南海の劫火」映樂館の「いろはにほへと」が今年掉尾の大物となる模樣▲そして早くも新春の陣容が噂に上つてゐるが、洋畫陣では「グランド・ホテル」と「キング・コング」が動かぬところで新春早々華やかな一戰が豫想される▲そして常盤座はワーナーを上映すると共にメトロを加へ從來のパ社と組んで洋畫陣を愈々強力化する計畫▲その間を縫つて帝國館を全部洋畫專門館にする計畫が再び傳へられてはゐるが、物にならぬものと見られてゐる▲井田示君が常盤座をやめ寒くなつたので近日内地に引揚げる豫定だと

◇◇黒衣の處女◇◇

「制服の處女」で一躍有名になつたドロテア・ウイークとヘルタ・ティーレの最後のコムビものとして秋の映畫シーズンを飾つた獨逸トビス映畫で新鋭フランク・ウイスバー監督作品（來る廿九日から映樂館上映）

社説

無電王歡迎

マルコニー侯夫妻は曩に日本を訪ひ、我朝野の大歡迎を受け畏くも勳一等旭日章を賜はつた朝鮮、滿洲を視察して支那に赴く筈であるが、二十八日朝大連に到着する。マ侯は無電王としてその名四海に響き渡り、三尺の童子と雖もその盛名を知らぬものはない。その業績の如きも勿論此處に贅する必要はない。實に世界の文化を一轉させた大偉人として天下萬人の崇敬する所である。イタリアの國寶的人物たるはいふまでもないが、實に世界の至寶である。安東の我社通信員にも語つてゐる如く、侯はその偉業を以て尚足れりとせず、更に研究に浸頭し、殊に短波無電について研究し、テレビジヨンの研究は完成に近づいてゐるとの事。その研究心の旺盛なる欽仰に値ひする。大連の地今や此世界的偉人を迎ふるに當り各界の歡迎する所たるは無論の事だ。吾人は茲に侯の文化的功績を讃歎するの機會を得たるを光榮と爲し、その一路平安を祈つて

統制政策とその考察點

今の世界は總ゆる方面に統制論が振り翳される。人間生活が漸次組織化されるに隨ひ、各般經濟統制の支配下に産業貿易の一般的强化が唱へられる譯であるが、併しながら、統制といふことはいふまでもなく人工的である。人工を以て自然的發展を支配しやうといふのであるから餘程巧妙に愼重に取扱はれれば角を矯めて牛を殺すの害がないとはいはれない。殊に統制經濟の意義が一般に徹底されざる憾みがあつて、一般の資本家並に企業家に可なりの恐怖を與へ、その投資心、並に企業心を委靡させてゐる。

◇

坊間傳へられる砂上の偶語をきくに、一時アレほど旺盛であつた對滿投資熱は、近來内地資本家の間に悲觀され始めた。それは資本主義に對する世論の風潮に因する點もあるが、同時に今や流行となれる統制論が、一般事業家の進出すべき餘地なきを思はしめてゐるからでもある。今の經濟は何といつても資本主義機構の上に立つ。極端な資本主義が、中小商工業や大衆の利福を侵害した弊害の少くないのは言ふ迄もない。併し總ての事業に資本を要することは亦いふまでもない。自然資源を利化するものは人智であるが、その資源と人智とを聯繋させ、融合させ、利化の實功を擧げしめるも

……その考察點ではなからうか。

◇

議論としての沙汰は姑く措き實際問題として統制に對する多くの疑義がある。例へば米の豐作に本づく内國政府の指導がそれだ。就中朝鮮や臺灣などの米作段別を削減して、或は甘蔗作へ、或は棉作への急轉向を企てた如き、それ自身が一種の統制工作の現れであつたが、各地方の實情は容易にさうした轉向を准さなかつた。又更に滿洲に於ける大衆燃料たる石炭の如き、そこに國家の大局から見て縦に濫掘を許すべきでないのは明白だ。併し既存の小炭坑が所謂狸掘りに依つて、地方大衆の日常生活に、幾十年來繼續し來つた小中生産業者に安價な燃料を供給を他に求め得ざる土地柄から……

積缺整理の現金を債權者へお裾分け

滿鐵"善政"を讃へらる

張學良軍閥に對する積缺整理問題は既報のごとく二十四日最後の決定を見て發表されたが、日本人債權者に關する分は約二百五十萬圓で、その内四十四萬圓は滿鐵が占めてゐた、しかして右積缺の内各債權者一樣に現金償還五割五分、積缺公債償還四割五分であつたから滿鐵が受くべき現金償還は約二十四萬圓に達したが滿鐵は一般邦人債權者の利益のために全額を積缺公債にて償還を受けて差支へなき事を欣然承諾したので、右二十四萬圓の現金は邦人債權者六十名に按分しその代り邦人債權者より相當額の公債を滿鐵に交付することになつた、よつて邦人債權者代表大信洋行專務石田榮藏氏外三名および奉天商議會頭代理野添書記長は二十七日滿鐵本社に出頭右現金と公債の授受を行ふと共に社内關係方面を歴訪して滿鐵の好意を深謝するところがあつた、右につき野添書記長は語る

今度滿鐵が當然受くべき現金償還を辭退して一般邦人債權者の方へ廻して下さつたことは非常な善政でこれによつて助けられた邦人債權者團としては感謝の外なく我々斡旋役として來た商議關係者としても喜びに堪へない次第です、積缺問題は隨分むづかしい問題であつたが、邦人債權者の申告は事變直後になされたものだけに一點の疑惑を挿まれることなく、又滿洲國側も内外人を一視同仁して同樣の取扱ひをなしすべて圓滿に片付いたことは滿洲國のためにも債權者團のためにも同慶の至りだと思つてゐます

阪神間鳴尾地先埋立工事促進

山下側滿鐵と折衝

阪神築港會社は山本總裁當時、日滿倉庫と共に滿鐵の内地に於ける足がゝりとして計畫設立されたもので、阪神間鳴尾地先に於いて六十萬坪の埋立築港をなす目的で設立し資本金一千萬圓中四分の一拂込みなし山下汽船六割、滿鐵四割の株を所有して居る、しかるにその後不況のため工事着手に至らず今日まで放置されてゐたが山下側はしきりに工事着手を希望し屢々滿鐵と折衝を行ひ來り最近は景氣回復したると日滿間の經濟關係密接になりたるとにより再び工事着手論が優勢となり十月中に漸く起工

……同社は前記のごとく山下汽船が六割の株を有し滿鐵よりも大なる發言權を有して居るが同社は拂込みによるを好まず借入金によらんとして居る模樣で、借入金によれば傍系會社といふ看板から自然滿鐵が保證する地位に立つわけである、しかし四分の一しか拂込みをせぬ會社が事業着手資金をすら借入金で充當することが合理的であるかについては滿鐵内部に相當議論があり、まづ拂込みをなすべきであるとの主張があるので滿鐵と山下の間に今後なほ折衝が行はれる模樣である

日滿土木建築協會發會式 豫て計畫中の日滿土建協會は二十五日午後二時より新京ヤマトホテルに於て創立總會を開き引續き同四時より盛大なる發會式が行はれた(夕刊參照)寫眞は來賓菱刈軍司令官(代理小磯參謀長)の祝辭朗讀

鐵道部の異動

總局へ二百名轉出　沿線の五驛長更迭

理由は今春來鐵路總局轉出社員に伴ふ現業員の異動說が盛んに傳はりその後極めて部分的に異動の發表はあつたが各現業員共全く浮腰の形にありかくては大切な特産出廻期を前にして輸送方面にまで支障を來すが如きことの招來を憂慮してこの際根本的異動を斷行することに決定したによるものでこゝに春以來懸案となつてゐた異動も今回を以て全く一段落を告げることになつてゐる

太郎氏(埠頭事務所監視係主任)の轉任で渡邊氏は鐵路局の科長、二宮氏は旅順驛長となるものであるが渡邊氏は二ケ年間社員會常任幹事として二宮氏は社員會本部運動部長としてまた埠頭聯合會における急先鋒として殊に兩氏共滿鐵改組問題突發と共に寢食を忘れて活動をつゞけて來た人々であるだけにその異動に特別の注目が拂はれてゐる、而して狹田鐵道部長は自分は社員會の存在價値を充分に認めるが鐵道部從事員が鐵道

上京商議四氏折衝の趣旨

氏の述べた意見要旨

滿鐵辭令(廿八日付)

新京鐵道事務所車務長　福田又司
鐵道部事務員　向野元生
工務課庶務係主任　渡邊柳一郎
旅順驛長　山本徹
熊岳城驛長　坂倉節三
鞍山驛長　上田竹槌
首山驛長　福永悦三郎
煙臺驛長　中村慶次
沙河驛長　坂本武
奉天驛貨物主任　後藤進一
本溪湖驛長　小平一
鳳凰城驛長　星野幸吉
新京鐵道事務所營業長　田中末治
鐵嶺驛長　小平誠
四平街驛長　田中幸英
新京列車區長　宮城調明
大連機關區長　中川正
鐵路總局勤務を命ず(各通)
鐵道建設局勤務を命ず　遼陽驛長　廣谷宗一
四平街驛長を命ず　奉天列車區長　大尾褧裟助
埠頭事務所第一埠頭主任　鷹澤初治
遼陽驛長を命ず　同輸入主任　高木彌一
鐵嶺驛長を命ず　湯岡子驛長　井上丑五郎
鞍山驛長を命ず　埠頭事務所監視主任　二宮宗太郎
本溪湖驛長を命ず　三十里堡驛長　谷本憲一
旅順驛長を命ず　營口驛貨物助役　大西喜策
奉天驛貨物主任を命ず　新京鐵道事務所　安樂俊雄
公主嶺驛貨物主任を命ず　安東驛構内助役　松原文雄
遼陽驛貨物主任を命ず　海城驛長　大石義三郎
新京列車區長を命ず　營口驛長　野村富壽
新京鐵道事務所營業長を命ず

夢の熱河にモシ〳〵

來月一日開通式

【奉天電話】菱刈軍司令官の熱河訪問は同地方が産業の開發文化建設その他有ゆる點において重要性であることを物語つてゐるが通信機關の完備を計るため熱河省境の中心赤峰に電話を架設し二月一日その開通式を擧行することになり二十六日毛呂電話局長は大谷課長三井主任と共に錦州に到り同地より飛行機にて赤峰に至る筈であるが毛呂局長は語る

投書歡迎

五十行以内　匿名さしつかへなし

八相

學校より家庭　慨歎生

◇本欄にて某父兄は中等教育は青春を徒費する無味乾燥なる教育だと申されたがそれならば男女共學にでもして大いに青春を享樂させよと云ふのか、某父兄よ「聲を大にして當局の反省を求めればならぬ」と云はれたるが私は其前に聲を大にして父兄自身の反省を求め度いのだ。

◇即ち學校教育のみを以て教育の全部と思ふ勿れ一日二十四時間の大部分子供は家庭内に在るのだ、最も大切な家庭教育を等閑にして何か事件が起るや悉く學校に責任をなすり付けんが如き無自覺な人達の多いのには驚くのである。

◇學校よりも家庭が基本だ、内地では家庭には老人が居て口喧しいのと各家庭には夫々家風も有つて父兄自身の生活に愼みと云ふものが有るが我が大連の如き植民地では父兄の生活が放縱に流れる、その結果子供に良き感化は與へない。

◇例へば子供の前で平氣で馬鹿話したりダラシの無い行爲をなして見せる父兄がある、幾ら學校で德育に力を入れても家庭で打壞されては何にもならん、況や現在の學校教育なるものが大量生産主義であるから生徒個人々々に付て一々丹念に磨を掛けて仕上げてから出す程手が行き屆かないのだ。

◇又教師自身も教育者として殆ど人格未完成のお粗末な連中が多いのだ、故に現代の學校教育(德育の方面)に餘り大きく期待する勿れと云ひ度い、その點に於ては昔の塾の方が遙かに優れて居ると思ふ、何れにしても世の父兄諸君は子供の家庭教育にもつと十分反省すべしだ

家賃の値上げ　平和臺生

◇私達は平和臺停留場近くに住むさゝやかな俸給生活者ですが、先日家主より突然、十二月分より家賃は二十二圓より二十七圓に値上げする旨申渡されました

◇諸事物價高の冬期に入つてこの思ひやりのない値上(二割三分)は私達のみに課せられた難題としてのみでなく、充分社會問題として取扱はれる價値あるものと信じます。

◇我等忍ぶべきか、抗すべきか、双方のいひ分御調査の上、權威ある貴紙の嚴正な筆によつて何分の裁斷の下されんことを望みます。

市況(廿七日)

株式

内地變らず五品釘付

内地主力株保合を入れて當市も氣配變らず五品は閑散裡の釘付商狀であつた

特産

邦商の賣長に大豆軟調

錢鈔

材料薄で保合閑散

後場材料變らず當市も保合にて氣乘薄閑散

商品

麻袋變らず綿糸保合

奥地市況

市場電報

佈告(第二回)

日本陸軍士官學校入學希望者中在滿志願者に對する便宜上去る十一月一日本官佈告中の應募の要領を次の如く行ふことを得大同二年十二月十五日迄に駐日本國公使館附武官曹寶森の許に到着する如く確實なる保證人連署の願書に寫眞(名刺判)及左記樣式の履歷書並日本人醫師の健康診斷書を添付して提出し大同三年一月中旬迄に曹武官よりの受驗命令を受けたるものは同年一月二十八日午前十時迄に日本國東京に至り駐日本國公使館附武官の許に出頭し受驗に關する指示を受くべし

履歷書樣式
姓名(二個以上の名を有するものは括弧を附し併記すべし)
年齡(生年月日)
原籍(詳細に記入すべし)
滿洲國の官職(官職あるもののみを記入す)
學歷(修了學校名を記す)
日本語修得の程度(日本語及日本文の程度を明記す)
日本到着豫定年月日(大同　年　月　日東京到着)
希望兵科(歩騎砲工輜重等の一科)
以上

大同二年十一月二十日　軍政部總長　張景惠

家庭

家庭の電熱器

邪慳に取り扱ふとすぐ腹を立てる

經濟には電熱線を引く事　我マダムへご注意

スキッチ一つによつて何事も容易に操作するこさの出來る電氣の應用は他の何物も及びもつかない便利さを持つてゐて近頃は正に電氣時代さも云へませう、從つて家庭への電氣の進出も目覺ましく電燈、電氣アイロン等は今更申す迄もなく普及されきつてゐます、そして電氣コンロ、ストーヴ等の電熱さして臺所へ進出し始めてゐるのです、しかし電氣は非常に正直なものなのです、可愛がつて使用して行かないと直ぐ火を吹き出したりして思ひもよらない災害を家るこさがあります、家庭の電熱器使用について注意しなければならない點を二つ三つ……

滿電 から配電されてゐる滿洲の家庭では電熱用配線がなくても電燈線から容易に電熱器の恩惠を受けるこさが出來ますが、滿電では電燈用さして電氣を送る場合に一燈について一キロワットまでの電氣を使用出來るだけに設計してあります。從つて使用する電熱器に入用な電氣が一キロワット迄は使用しても安全なわけなのですが、この場合は精一パイに使つた場合で確實に安全さ云へない事情が起ると時に危險を伴ふこさがありますから先づ七百五十ワット位まで〻止めた方がよいのです。一キロワット以上の電氣のいる電熱器を使ふ場合には是非とも電熱線を通じて送電を受けなければいけません。

この 點は單に電氣料金の上からも云へるこさで、普通メートルをつけた電燈料金は最初の三キロまでは一キロ十二錢、次の三キロは十一錢、その餘は一キロ十錢の割合であるのに、電熱用として特別に送電を受ければ、一キロワット電熱器一つを基準さして最低料金一圓五十錢の外に、一キロワット四錢の割で非常に低廉さなります。一キロまでのものでなくても電熱器を使用される場合は電熱線を新に引かれる方が經濟なこさがお判りでせう。

また 電熱器を使用するには電燈線でしたら必ずメートル制でなくてはいけません。定額燈は電燈さしては普通使はれ標準電氣料金なのですから電燈に比べて非常に電力のいる電熱器を使用するのは盗電さなります。メートル制でも一應は電氣會社に何ワットの器具を使はれるかを申込みになる必要があります。電熱器を購入される場合は粗惡品も間々ありますがこの頃では家庭で相當多く使用され、また取締りにも嚴重になつてゐますから信用のある店の品物でしたら先づ安全で安心して使用出來ます。

以上 の如く使用する電熱器の所用電力が幾らあつてそれが約七百五十ワット位までなら電燈線から使用出來る點を注意してさへゐれば漏電等の心配はないのです。

桃色讀本　第二課（武田一路畫）

氣にかゝる帶のくづれ

羽織なしのご盛裝に　この心懸が肝腎です

羽織なし の御盛裝の場合は帶のくづれが一番氣になります。帶を締る時前を高く後を低くしますさどうしても早くくづれますから最初に前から後に廻す時五分位後を上り目に締てごらんなさい。容易にくづれるこさがありません。帶が下らないやうにさ帶揚を無茶にかたく締る方がありますがこれは胸を壓迫するだけで大した効果はありません。それより最初に帶を締る時しつかり締るこさ、人絹のまじつたものなどどうしても結び目がゆるみますから紐で結び目の上を結へて置くさよいのです。

帶の位置 はこの頃では極端に高いのは流行りませんが、それでも若い人ほど上に締めますからさういふ方は袖附も少くなさらないといけません。袖附が多いさいくら帶を上に締めても下つて來ますし、餘り上にすれば袖附のさころが無理しておかしな皺が出來ます。お尻の大きい方は結び方によほど氣をつけないさお尻が歩いてゐるやうで下品に見えます。帶巾を幾分廣目に仕立てるこさも必要ですが法外に廣くするわけには行きませんから工夫するより他ありません、

結び方を 背の高い方なら普通より大目に結べばよいのですが低い方が帶を大きくするさよけいにズングリに見えます。垂れをや〻長くして掛を最初引出して結んだ時にそこの折返しをタップリ出しますさお尻がくらかかくせます、又お太鼓の形を夏の巾のせまい帶を締める時のやうにかけさわの端を少しづつ兩方に見せるやうにしますさ全體の調子がついて自然お尻の大きさを誤魔化すこさが出來ます。

ダンス是か非か　6

まだダンス崇拜時代

聽て見出さうステップの正道

滿鐵社會課社會主事　中根信愛氏談

全 然ダンスを體驗しないものがダンスを語るさいふのは妥當を缺くさ思ひますから私の話も單に私一個の考へさしてきいて頂きたいのです、去年の恰度今頃例の大連の社員會でダンスホールを設けるさか設けないさか大分さわいだこさがありましたれ、奉天でも最近社員會でダンスを絶對に排撃しやうさいふ氣分が可なり濃厚のやうですが、私さしてはそれほど目の敵にして騒ぐほどのこさもあるまいさ思ふのです、さいつて勿論ダンスを讃美するわけではありません

私 共の小さい時分「ジヤンギリ頭を叩いて見れば、文明開化の音がする」さいふ俗謠をよく謡いたものですが、その時分の日本人の歐米崇拜熱は到底今日の比ではなかつたやうです、明治維新になつて歐米諸國さの交通が開け我國の文明の程度が遥かに歐米におくれてゐるのがわかつてから日本政府や日本の先覺者達は歐米の文化を日本にさり入れるために全く血眼になつたのです、そして歐米のものさいへば何でも彼でも有がたがり、西洋人さいへば自分等より數等上の人間のやうに考へ、若し洋行でもして歸らうものならまるで後光がさしてゐるやうにえらく思はれたものでした、

こ の時代思潮は國民全體の頭に深く浸みこんで、それが傳統的にずつさ長い間日本國民の頭にまで潜在してゐたのです、又現に今日の日本人の大半が未だこんな意識をもち續けてゐるのではないでせうか?、さころが歐洲戰爭以後日本は一躍その國威を全世界に認められるやうになり、滿洲事變によつて更に國威を宣揚し、遂には聯盟を蹴さばして堂々さ濶歩し得るほどえらくなつたのです、長い間外國の尻についてその後塵ばかりを拜して來た日本がいよく肩を張つて大威張りで歩ける日が來たのです

歐 米諸國の偉さばかりに感心して自分の力を知らなかつた日本がやつさ自分の力に氣がついたのです、そして長い間ほさんど忘れてゐたわが祖國の長所——そのすぐれた國體や傳統や國民性を再認識する日が來たのです、國民主義、日本主義、日本精神にかへれの聲が今日ほど切に叫ばれたこさは曾てない事です

ダ ンスは無論のこさ英語ですら今後は必要以外には有難がられるこさはありますまい、しかしダンスは一部の人々の趣味さして娯樂さして或は運動さして今後も相當行はれるでせう、そして今日では往々その正しい道を蹈み外して邪道に墮ちる人達も追々は本當の社交ダンスさいふものを理解し進んではそのダンスにわが國獨自の往き方を見出すかもしれません

冬の家庭藥

…☆ベルツ水の…作り方二つ…☆

冬になるさ大抵の御家庭ではベルツ水が用意されますが、これも脂肪性の方さ荒れ性の方さでは違つた作り方をしなければなりません

荒れ性向き

アルコール	五〇瓦（十錢）
グリセリン	五〇瓦（十錢）
炭酸加里	二瓦（一錢）
硼砂	四瓦（一錢）
ベルガモット油	一瓦（六錢）
水	一〇〇瓦

【作り方】炭酸加里さ硼砂を水に溶かしこの中へグリセリンを入れます、別にベルガモット油をアルコールによくまぜておいて最後に混合します、この液は白く濁つてゐますが濾すさ美しい液さなります。

脂肪性向き

アルコール	五〇瓦（十錢）
グリセリン	五〇瓦（十錢）
水	一〇〇瓦
苛性加里	一瓦（三錢）
ローズ油	一滴

【作り方】先づローズ油をアルコールにまぜて置きます、苛性加里は水に溶かしこれにグリセリンを加へて混ぜます、その中にローズ油のまざつたアルコールを静かに攪き廻しながら入れると出來上ります。

……◇……

出來上つたベルツ水には他の藥さ區別するためにフエノールフタレンを一滴落すさ櫻色の美しい液さなります。そして御使用の節は乾くまで根氣よく摩擦するのがよいのです。

高山晴男氏　影繪再公開

◇—幾久屋で

わが國におけるカットペーパー界の權威者さして知られてゐる、高山晴男氏は、今夏來連以來、大連三越支店を皮切りに、奉天、新京、營口等において公開頗る好評を博しましたが、二十七日から向ふ四日間、市内幾久屋デパートで大連での再公開、頗る人氣を呼んでゐます

日本棋院秋季大手合戰譜（第五局）

四段　藤田豐次郎　先番三段　中村勇太郎

白	黒
○一〇六ハ十四	●一〇七ロ十二
○一〇八ト十二	●一〇九チ十三
○一一〇ト十一	●一一一チ十
○一一二ニ十三	●一一三ハ十二
○一一四ホ十二	●一一五リ九
○一一六ヘ十五	●一一七ヘ十四
○一一八ホ十四	●一一九ト十五
○一二〇ロ十五	●一二一ニ十五
○一二二イ十四	●一二三ニ十四

（百二十三手完）黒中押勝
●六三劫さる●一一五二目さる
所要時間累計（白五時二分　黒二時四十四分）（制限時間各八時間）

—【7】—

對局者のことば

白　百六は同じく百十八のアテを先にすべきだつたでせう
黒　百十一で（ト十三）にマガるさ白百十二、黒百十三、白百十四の手段があります
黒　百十五さウチヌイてはいゝさ思ひました
黒　百十九で百二十一に出る手があつたのです
白　さう出られゝば大石は全部死んだでせう、どうもえらい目にあはされました

戰の跡

◇白百六は黒百七さ交換してから百八の方を先にする意味がある、だから百八の方を先にするさいふ對局者のことばなのであらうが、こゝに至つてはもはや大勢には關しない
◇黒百七にて百二十三にアテるさ白百十三黒百十二白百二十二さワタられる手がある。しかし右の中、黒百十二さツガずに（ハ十五）にトレば白（ホ十一）のキリが成立する
◇黒百十一はこれに依つて白（ホ十一）のキリを牽制した、百十一の手で（ト十三）にマガればどんな事になるか、對局者のことばにつゞいて讀者において試みられたい
◇本局、白の敗因さしては終局に近く八十六、八十八、百等を直接のものさしてあげることが出來やう、それらについては既に詳説したからこゝには繰返して述べない

卓上日誌

▲旅順第一尋常高等小學校　二十七日午後一時から支那語會開催　この日は四年以上の兒童が面白い支那語の會話や劇などをする筈
▲大連朝日小學校　十二月二日午前九時から學藝會開催

ラヂオ RADIO

大連 JQAK　二十八日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前七時　ラヂオ體操第二
▲午前十一時　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）
▲正午　時報
▲午後零時五分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース、職業紹介事項
▲午後六時三十分　マルコニー候歡迎の夕、講演「マルコニー候を迎へて」滿洲電氣協會々長八田嘉明
▲午後七時「マンドリンオーケストラ」滿鐵音樂會マンドリン部（一）「カーニバルオブヴエニス」（二）ローマの祭
▲午後七時十五分　箏曲「千鳥の曲」箏本手福永大勾當、箏同福森勾當、替手福次大撿導、尺八草崎主山、新日本音樂「春興」宮城道雄作曲、本手福次大撿導、同小笠原松子、替手福森勾當、尺八草崎主山
▲午後七時三十分　長唄「吾妻八景」唄杵屋彌代治、三味線杵屋和壽々、ピアノ伴奏村岡樂童
▲午後七時五十分「歡迎の辭」ヤマトホテル歡迎會場より大連市長小川順之助「答辭」ヤマトホテル歡迎會場より―グリエルモ・マルコニー
▲午後八時三十分　時報、ニュース、氣象通報

東京 JOAK　二十八日

▲午後六時三十分講演、演題講演者未定
▲午後七時ラヂオドラマ、放送文藝懸賞當選發表「ヤップ島物語」中井彌惣次作、時一九三三年夏、所南洋ヤップ島（配役）岩田猛（友田恭助）岩田の友人野村仙次（藤輪欣司）混血兒マーシヤ（田村秋子）高田五兵衛（東屋三郎）川合剛太郎（伊藤正一）醫師佐竹惣一（菱刈高男）其他カナカ土人、近所の人、通行人、看護婦等大勢
▲午後七時四十分　義太夫「双蝶々曲輪日記」（引窓の段）淨瑠璃竹本相生太夫、三味線鶴澤清三郎

本社特選　新棋戰（其四）

平手香落番交　二段　△松下力　初段　▲近藤孝

【圖は五三銀迄の局面】松下氏持駒　歩

△五四歩　▲六二銀
△四六歩　▲四二金上
△四五歩　▲三三銀
△五五角　▲八四飛
△七七桂　▲九三桂
△六四歩　▲八六歩
△六五桂　▲八七歩成

累計五十六手

土居八段講評　近藤君は三三銀さ退却するやうでは、自營萎縮して指しにくい、四五同銀、二二角成、同玉さ強く指して攻防に努むる處である、松下君が五五角以下手順に桂を六筋へ捌いたのは鮮かである、近藤君の九三桂以下の指手は結息な攻防手段だ、一三角さ上り次に飛車を五筋に於て利用を圖る處である。

萩原七段解説　松下君は前回敵の四四銀の弱手に依り六筋に位を取り、而も又、五四歩さ打つ順になつては位得で十分に指せた陣形さなつた、次に四六歩は、四五歩突きを窺ひ、角の交換が出來れば五三歩成以下七一角の順を含むものである、近藤君の四二金上るは五筋の防備を堅めたものでこの際至當な手である、松下君の四五歩は、敵に四二金さ上られては五筋が強固になつた故指し過ぎで、此處は四七銀さ上り、次に三六歩、三七桂の構へにする處である、近藤君の三三銀は弱い、四五同銀さ應じる處で、三三銀さ引く樣では四二金上りを活用しなかつた事になる、松下君の六五桂は、八六同歩では同飛、八七歩、七六飛、同金、六七銀さ打たれて惡い

滿日各地版

曾ての上長を迎へ 在熱河將兵の感激
軍司令官の親しみある慰問に 隨行して遠藤參謀語る

【錦州にて廿六日秋山特派員發】軍司令官の熱河初巡視に隨行した遠藤參謀は錦州に歸來し語る

軍司令官が今回熱河に訪問された、○團は軍司令官がかつて四ケ年間在任されたことのある部隊で將士が軍司令官に特別の親しみをもつてゐるやうに軍司令官もまた非常な親しみをもつて將士を慰問されたが將士は何れも交通不便なこの熱河を訪問されたことにつきいふべからざる感激をもつて迎へた、張海鵬省長も軍司令官を迎へて心から喜び省長として歡迎の

午餐 宴を開いた、軍司令官は飛行機は始めてであるがなか／＼元氣で往復とも熱河作戰の狀況について說明をすると熱心にこれを聽き窓外から俯瞰して殆んど素裸の山岳にこれでは熱河はこのまゝ捨てゝ置けば全くの枯骨となつて死の國となる恐れがある、滿洲國も成立した今日であるから何とか文化の光に浴するやう先づ植林を行ひ殺風景な生活から幾分にても軟らいだ氣持の生活をするやう考へねばならぬといはれた、實は自分も熱河作戰に參畫したものとしてこの不自由な生活をする駐屯軍に對して

出來 るだけ氣分の柔らぐやう考へたいと思つてゐる、離宮の如きは寫眞でみると堂々たる實に外觀は立派でも中ではアンペラを敷いて生活し室内の如きは青い草花一本すら見ることの出來ぬ殺風景では勢ひ阿片やなどに親しむといふ結果を來すから今後は滿鐵農事試驗所あたりから強い草花の種を貰ひ受けてどし／＼村落に送り村落を美化すれば浮薄的な生活も自然となくなるだらうと思ふ、軍司令官としても將士の勞を犒ふことに心痛されてゐた、しかし第一の關門を守る將士はさうした殺風景な不自由を

念頭 に置かず軍務に邁進してゐた○團に宿泊した軍司令官は將士と同樣に麥飯で兵がつくつた納豆をそれにかけて食べられたが自分も實に美味しく食べた、自分は熱河聖戰に參與したときには單に飛行機で二回偵察しただけでまるで夢の熱河と思ふてゐたがその謎は今日において解けた、當時は氣狂ひを空中から打診するやうなもので殆んど見當がつかなかつたが今では灤東地區も平常に歸し熱河は文化の光があまねく輝き渡り眞に平和の色をみることは實に嬉しかつた、特に軍司令官は新戰場を

訪問 され非常な感激の模樣であつた、なほ出來れば今後荒廢せる喇嘛寺その他など史跡保存會でも設けて文化を保存したいものだと思ふてゐる

疲弊の營口 今後よくならう
太田營口領事語る

【奉天】事務打合せのため新京に向つた營口領事太田知庸氏は二十五日夜歸任の途來奉瀋陽館に入つたが語る

滿洲國獨立以來營口の疲弊は甚大なものだ、周圍には匪賊の出沒が絕えないし特に南支向け滿洲特產物は南支の排滿排貨で滿洲國側よりは南支を外國として該地向の貨物に或は

該地 より輸入の貨物に課税されるため物價の昂騰を來し貿易は全く杜絕の狀態に在る從つて營口の特產加工々業油房等は續々閉鎖の憂き目に會ひ事變前一萬位居た日本人も今は約四千位に減少して居る、然し滿洲の特產物及其の加工品を必要として居た南支は永く不買排滿を續け得ない事情に在るからこの點は近く解決するだらうが滿洲國の高率税に對しては南支より引下げ運動が起るだらうと思ふ、遼河の航行等が大いに利用される樣になり今後營口も大いに發展するだらう只營口附近の匪賊は討伐も必要だが要は彼等に生活水準を高める樣にしてやる事が必要だらう、又

討伐 については彼等の唯一の安全地帶たる遼河沿岸の蘆叢をなくするために其處を道路に改修するとか水田に開拓するとかする事が急務だらう、實際この蘆林へ逃げ込んだ場合は全く大森林へ逃込んだのと同樣飛行機でさへ手がつかない狀態に在る

なほ同領事は二十六日歸任した

滿人と米人 喧嘩で流血騷ぎ
奉天ヤマトホテル前で

【奉天】ヤマトホテル玄關前で滿人と米人が血の雨騷ぎ……滿洲國の日系官吏は二十五日夕刻日滿親善の意味で滿洲國の主なる官吏をヤマトホテルに招待し懇親宴を催したがその際滿洲國高等法院典獄の自家用自動車運轉手王某(二七)が本間氏を出迎へのため自動車でヤマトホテル前に來り宴會の終るのを待つてゐると突然一米人が酔拂つて通りかゝり該米人は之を普通のタクシーと考へたものか王に對して商埠地まで乘せて行けと命じたが、王は之を斷ると言葉の行違ひから遂に兩人の大格鬪となりその米人は毆られた後蹴られたので後に斃れた瞬間石に後頭部をブッつけ負傷した、之がためその米人を醫大醫院に入院せしめるやう、奉天署から係官が現場に急行し取調べをなすやら一時は大騷ぎを演じたがその米人は商埠地六緯路毛皮商ゴールデン(二八)と稱し加害者の方で治療費を支拂ひ見舞をなすことゝなり陳謝して示談で解決した

軍司令官の巡視

上より新民民衆の歡迎、錦州驛着、錦州のわが部隊檢閱、承德へ向ふべく飛行場に乘る軍司令官

國都建設の土地使用制限令
公布、廿四日より實施

【新京電話】滿洲國政府にては國都建設計畫區域内における土地價格の人爲的吊上げ及び土砂買占めその他の行爲により國都建設事業進捗の障碍を防止するため左の敎令を公布二十四日より實施することゝなつた

國都建設計畫區域内の土地を使用制限に關する件

第一條　國都建設局長は地域及び方法を指定し國都建設計畫區域内における土地に關する權利の設定若くは移轉土砂の採取井泉若くは溝渠の掘鑿又は樹木の大伐採を制限することを得、國都建設計畫區域中舊市街○區域内に關しては前項の權限は新京特別市長に屬す

第二條　前條の規定による指定地域及び方法は國都建設局長又は新京特別市長一般にこれを布告すべし

第三條　國都建設局長又は新京特別市長の管理する土地又は建造物はその用途を妨げする限度において國都建設局長又は新京特別市長の許可を受けてこれを使用することを得、國都建設局長又は新京特別市長はその管理する土地又は建造物を使用する者より使用料を徵收することを得

第四條　國都建設局長又は新京特別市長は第一條の規定に基く禁制に違背して土砂の採取井泉及び溝渠の掘鑿又は樹木の伐採をなしたる者に對し事情に應じ原狀恢復を命ずることを得

第五條　國都建設局長及び新京特別市長は許可を受けずしてその管理する土地又は建造物を使用したる者に對し使用料を徵收し又は期限を指定して原狀恢復を命ずることを得前項の規定による土地又は建造物の使用料は時價の百分の二十以内をもつて年額とし使用月數に應じ國都建設局長又は新京特別市長これを定め徵收すべし

第六條　前二條の規定により原狀恢復を爲すべき者その義務を履行せざる時は國都建設局長又は新京特別市長これを執行し又は第三者をして執行せしめその費用はその義務ある者よりこれを徵收することを得

第七條　第一條の規定に基く禁制に違背し又は國都建設局長若くは新京特別市長の許可を受けずしてその管理する土地又は建造物を使用したる者は拘役又は二百圓未滿の罰金に處す

第八條　本令施行のため必要なる規定は國務總理これを定む

第九條　本例は公布の日よりこれを施行す

第十條　本例施行の際現に國都建設局長又は新京特別市長の許可又は承諾を得てその管理する土地又は建造物を使用する者は本令第三條により許可を受けたるものと看做す

鞍山鐵西の非常な發展

【鞍山】當地鐵西の滿人街は鐵東の邦人市街同樣昭和製鋼所の設置決定以來非常な勢ひで發展しつゝあり明春以後は更に競馬場もこれ等滿人市街膨脹のため移轉せねばならぬ事になつてゐるが製鋼所苦力相手の滿人市街として將來に大いなる發展を期待されてゐるところから早くも各地滿人大商店が目をつけ背後地騰貴の代表的吳服力廣興益はバス停留所横に支店を開設し繁昌してゐるに鑑み近く更に遼陽城内某雜貨商も支店を設くることになつてゐる等却て邦人街に先立ち繁榮振を見せてゐる

雇員登格試驗

【羅津】十月九日羅津建設事務所で施行した雇員登格試驗の受驗者四名中本月二十日發表の結果松島雷作君一名だけ合格してゐた

尙は羅津建設事務所勤務の社員で今次登格したものは間脇四郎、二方三郎、濱野軍次、森辰雄、高本勝、西島寅五郎、望月玄市、横尾榮一、桑田白二、古賀虎市、奥田直一、初崎幾次郎、日高金左衛門以上十三名は雇員に鹽田音次郎、中島休吉は技術員に水野正利、伊藤岸雄、西村久、三浦研一、泊菊雄以上五名は事務員に登格し何れも慶びを面に浮べて居る

接客業者診斷

【四平街】當警察署保安係は去る二十一日より二十二日の二日間當附屬地内における接客業者八百名につき傳染性疾患の有無を檢査したる結果邦人側には絕無なりしが滿人側にはトラホーム、肺結核その他皮膚病等驚愕すべき患者多く中にもトラホームは約五十餘名に達したるより病態輕重に稽へてそれ／＼適宜の處置を執れりといふ

不完全なる煙突が 何んと千四百餘件
奉天署で檢査の結果

【奉天】奉天署では火災防止のため過般四日間に亘り管内における煙突の一齊檢査を行つたがその結果支障あるもの左の如く一千四百十一件の多きに達し是等に對しては夫々完備を促す處あつた

	ペチカ	ストーブ	溫突	其他
調査數	二五四一	九〇〇一	九五五	三四三
破損其他危險の虞あるもの	二	一九九	二	一七
設置場所不適當	一	八〇	三六	一五
煙突規定の長さなきもの	二	三六九	八	二五
煙突繼目不完全	一	一二三	二八	一五
掃除不完全	三六	一一三	二	二五
其他	三	四七	五	三九
計	六三	一〇三〇	一二三	一八六

不逞鮮人蠢動

【吉林】事變前吉林を中心に蟠踞し獨立運動民族主義を標榜して樺甸磐石方面迄も魔手を伸ばして居た北韓籍義山は事變勃發と共に上海方面に逃走し行方を晦まして居たが、最近上海の朝鮮獨立運動の巨頭金圭植と連絡し密命を帶びて北平より再び吉林方面に潛入したるもの如く頻りと潛行策動が行はれてゐる模樣で當局では俄然大活動を開始した

錦州宣撫班來奉
滿洲國の實狀を視察

【奉天】錦州平田○團宣撫班は二十五日開所式を擧行し午後一時から○團本部において平田團長から訓示を受け割當てられた宿舍に投宿したが宣撫班としては滿洲の建國に付いて日滿親善關係、世界の大勢に就いて二十六日から四日間講義を受けるが二十六日は午前七時國旗掲揚式滿洲國歌合唱、八時半步兵隊、飛行、砲兵、機關銃隊等を見學のため出發、學課を受け午後六時から映畫を觀覽、二十七日は午前五時半錦州出發世界の大勢、鐵道愛護の講義に十二時奉天着、午後一時より滿洲國小學校を見學、二時半奉天省公署で金井總務廳長、敎育廳長の訓示を受け市内を見學廿八日午前八時半より忠靈塔參拜同九時より千代田小學校において敎育狀態を參觀し座談會を開催し午後一時より師範學校及び博物館市中を見學、同夜十時五十五分で離奉廿九日午前六時錦州着八時三十分より班長の訓話があつて同十時解散（寫眞は一行）

チチハルに兵士ホーム

【チチハル】創立滿一周年を迎へたチチハル婦人會では記念事業として將兵の安息所たる兵士ホームを設立に決定、目下準備中のところ愈々具體化し、現朝鮮人居留民會事務所家屋を充つる事となつたが、經營方針としては

一、奉天の例に倣ひ部屋は凡て疊敷とし別に娯樂場として土間一部屋を準備す
一、同ホームは毎週二回開く
一、飮食物は汁粉に限り代價は一杯三錢とす
一、娯樂場にはピンポン臺を据付けその他蓄音機、雜誌、新聞を置く
一、管理者として母性愛に富む中年の未亡人を委囑す

等規定し資金として有志の寄附を募る事となつたが、管理者たる婦人は近く來齊する筈で、資金の調達次第開設し慰安なき第一線に立つ勇士を心から慰める筈である

チチハルの住民 燃料地獄を脫出
滿鐵撫順炭の値下

【チチハル】滿洲事變以後急激なる人口の增加と、昨夏の大水害によりチチハルに於ける燃料は鰻のぼりの奔騰をつゞけ撫順炭一噸國幣建二十五圓乃至三十三圓、薪が五十五圓乃至七十五圓程度の高値を示し、一年の過半を蟄居生活する在住民に多大なる苦痛を與へて燃料地獄から解放を希ふ悲痛な叫びが日毎に高まりつゝあつたところ滿鐵にても之が成行を重大視し一大英斷を以て各種撫順炭の値下を本月二十一日より斷行する事となつたが新値をみるに

▲塊炭二〇圓一〇錢▲中塊二〇圓一〇錢▲二號塊一七圓一〇錢▲切込一六圓七〇錢▲粉炭一五圓四〇錢

と三割乃至四割の大値下げでその結果新材値段にも大影響を與ふべくチチハル在住民は燃料地獄から解放された觀かさに充たされてゐる

日本外留學生の歸國を促す
吉林省公署の大英斷

【吉林】最近各國の態度愈々惡化の傾向に際し其の餘波に依る惡影響を防止せんが爲に今回吉林省公署にて左の如き一大英斷が下された、卽ち事變前より日本内地を初め歐米各地へ派遣して居る留學生四十名の内日本留學生十八名を除いた外は敎育思想上甚だ面白からぬ向が多いので中央文敎部の指示を受け留學生の歸國方を促して旅費の發送をした

安東軍再勝す
安義對抗武道大會に

【新義州】新義州尚武會主催で二十三日開催された第二回安義對抗武道大會は、新義州側は今春第一回對抗試合敗戰の恥を雪がんと力鬪したが及ばず、柔、劍、弓三部とも再び安東に名を成さしめた成績左の如し

	安東	新義州
劍道	二五點	二三點
柔道	[illegible]	三點
弓道	一〇五中	九一中

まづ映畫教育
省立小學映畫聯盟を結成
文教部も大乘り氣

【新京電話】吉林省教育廳は省立學校を中心として映畫による教育を實施することゝなり、去る十月上旬先づ省立小學校十六校を以て吉林省立小學映畫聯盟を結成せしめ第一着手として新興滿洲國の全貌及び明けゆく滿洲の巡回映寫を行つたところ成績は頗る良好で該聯盟參加を希望する向も少からずあり文教部でもこれに刺戟され將來日本及びその他の優秀映畫を輸入すべく準備中で差し當り情報處に保管しある日本風物情況の幻燈版約三百枚を提供映寫せしめることになつた

[illegible]斷つ[illegible]學兒童
漸次開校の運び
[illegible]省の教育界進展

【新京電話】[illegible]思想の根源地[illegible]化は事變前は相當根強い排日行動が行はれ教科書その他の資料も大部分は三民主義を以て編纂されてゐた狀態であつたが滿洲國建設により排日教育者の全部が逃走しその[illegible]した、なほ匪賊の跳梁の爲各學校は閉鎖の已むなきに至つてゐたが今次の皇軍討匪工作により治安も全く成り何れも開校の運びとなり、兒童の教育も漸次盛んになり現在では縣內に既に六校の開校を見滿洲國獨自の教育方針によつて逐次その成果を收めつゝあるが第一完全小學校の如きは毎日二時間日語教授を行ひ相當の成績を擧げ兒童の對日感情も好轉しつゝある

石田侍從武官
廿七日錦州着

【錦州特電二十七日發】關東軍の軍狀視察並に聖旨令旨を傳達のため長き途より御差遣になつた石田侍從武官は松山屬を從へ二十七日午後零時十五分着列車で來錦した驛頭には平田○團長、後藤副領事、秋篠憲兵分隊長、宇井警察署長、古關滿鐵建設事務所長、濱口民會長、凋縣長その他各官民多數の出迎へあり、石田侍從武官は下車と同時に驛貴賓室に入り出迎への人々より挨拶を受け沿道警戒の中を平田○團司令部に至り司令部正面前庭で平田○團長以下各將兵に對し聖旨、令旨を傳達し平田○團長より奉答を受け、引續き關東軍經理出張所前庭で宇井所長以下職員に對し聖旨、令旨傳達あり、それより侍從武官は衛戍病院に至り傷病兵に對し同じく聖旨、令旨

邦人乘客者

【ハルビン特電二十七日發】遭難列車に乘つてゐた邦人乘客の主なる者、左の通り
○團長高波少將、大阪工廠鐵材製造所石田健治、陸軍造兵工廠木村國二郎、電信電話會社橋本孝、中尾實、吉村忠元、櫻間篤吾、大隈末雄、松本官三郎、和田義夫、結城宗繁、國際運輸ハルビン支店員前田繁雄、岩間春一、山崎重次、ハルビン中央電話局庶務課長香田常英、工務處員田上九一、松黒運輸公司池側重吉、大興股份公司社長青柳德太郎、社員福島清五郎、谷內嘉作、興安總署警務科長坂水梧郎、松本組專務海田千代松、大矢組ハルビン支店員濱野賢一、ハルビンモストワヤ前田時計店員吉澤末吉、アヘト津川旅館主津川岩枝、大連淡路町三一菅由夫、ハイラル東二道街梶原昭次、チチハル平安街高津半治、ハルビン埠頭區嘉井德一、大連大和町二六福本眞太郎、ハルビン料理店深川女將深川トラ子、外一名

惠まれぬ母と子のために

捧げよ缺食兒童のためにをモットーに昨年來活動をつゞけて來た東京聯合婦人會加盟團體及び母子保護募金デー團體八十一團體その他が參加し二十三日の新嘗祭當日を期して數千名の團員を總動員して午前九時東京府廳前に勢揃ひ、先づ齋藤首相夫人、鳩山文相夫人、香坂府知事夫人、牛塚市長夫人が眞つ先きに喜捨し婦人團員數千人は十六班に分れ、たすき姿も甲斐々々しく市內各所に向つて繰出し恵まれぬ母と子のため活動を開始一般市民から喜捨を受けた(寫眞は市役所前にて左から齋藤首相夫人、鳩山文相夫人、牛塚市長)

共犯を逮捕
鐵西居住滿人宅の
數人組强盜の一人

【奉天電話】去る十一月十六日當外鐵西居住滿人馬伯山方の表玄關を破つて內部に侵入多額の金品を强奪逃走せる數人組の强盜については奉天署で極力調査中二十七日午後零時東方面より端緒を得て司法係では俄然色めき滿田刑事部長以下の刑事隊は市內隅田町六番地に居住する滿人趙鳳武(二)方を包圍し踏込みを襲うて趙を逮捕し本署で嚴重取調べの結果同方に徒入せる强盜の一味で共犯者のあることを自白、更に同人の自供により共犯二名も一網打盡に逮捕しオンドルの中に隱匿せるモーゼル拳銃一挺三號と彈丸八十三發を押收し本署に引揚げた、目下引續き詳細取調中であるが彼等は附屬地工業區等に潛伏し拳銃を隱匿して機會を狙つては奉天を中心に强盜を働いてゐたものであると

借金から服毒

市內若狹町六十二番地大井虎一(三)は二十六日午後十一時半頃自宅居間にて猫いらず多量を飲み自殺を計らんとしたが、苦悶の聲に隣人が不審かり大連署に屆出で取敢へず弘濟醫院に入院せしめたが生命危篤である
原因は不明なるも多額の借金を苦にしてゞはないかと見られてゐる

錦州の地は超天下第一關だ
銃後の緊張を促して
感想を語る軍司令官

【錦州特電二十六日發】錦州に歸來した菱刈軍司令官は自動車で平田○團司令部に赴り同夜は司令部構內の○團長官舍に宿泊したが、記者の往訪に對し諧謔混じりに左の如く語る

飛行機は始めてかつて?いや東京でも大阪でも乘つてみた、今度も天候が良かつたので非常に愉快であつた、老人は先が短いから流行物には一番早く乘るよ死んで終つたら乘れないからなア、アハヽヽ、承德か、あちらは割合に暖かかつたよ、離宮も亦立派であつた、昔の人でさへあれだけ造るものだから今の人達に造らせたらもつと立派なものが出來るであらう、兵隊は皆元氣で働いてゐる、一體こゝまで出掛けて來て寒い寒いのさわが儘はいつてなられまい、僕は北海道の旭川にゐるとき一月中旬だつたと思ふが零下何十度といふ寒い日に兵隊を素ッ裸にさせて體操をやらしたことがある、それでも何でもなかつた、人間かつてこれで案外强いものだよ
軍司令官は飛行機に乘る時外套を着てゐなかつたやうだが「外套は

心の匪賊を心痛
朱縣廷氏の訪問に
明朗將軍の感激

【錦州特電二十七日發】熱河初巡視の途來錦した菱刈將軍は二十六日午後五時半頃宿所である平田○團長官舍で人品卑しからざる一老人の訪問を受けた、この老人こそ清朝沒落の後遼西の古都錦州に閑雲野鶴を友とし悠々自適してゐる元勳朱縣廷氏(八七)その人である、將軍との話は支那の陽明學から轉じて滿洲國の建國に及び轉じて東北軍閥の誅求に及び却々盡くるところを知らず朱氏は滿洲國の建國を心から喜ぶとともに樂土建設に尠からず心を惱ましてゐると見え、世の匪賊はなんでもないが心の匪賊を討伐することは容易でない、これは一に文教の力に俟つより外仕方がないとしんみり語つた由であるが、辭して歸る時さすがの明朗將軍も期せずしてホロリとなりいろ〳〵その心境を察し凋縣長をして充分勞はるやう注意し自身で抱きかゝへるやうに自動車に乘せ玄關まで鄭重に見送つたさうである

☆　☆　☆

初冬の姿
きのふ寫す

慰問袋七萬個
陣中の兵隊さんへ
日本の若き女性から

【東京二十七日發國通】手足も千切れる程寒い滿洲各地の陣中で寧國のため働いてゐる兵隊さんに若く若い女性から溫かい心を籠めた慰問袋七萬個が送られる事になつた、なほ恤兵部では遠く家庭を離れて出征してゐる將士のためお正月の慰問用に溫かい心づくしの慰問袋を贈りたいと心を痛めてゐたが今度東京府學務部及び國防婦人會關東本部の斡旋で陸軍省から恤兵金三萬五千圓を支出し東京府下の女學校八十三校の女學生と國防婦人會各支部員二十一人當り五十錢づゝを配りこれで慰問袋を作る事となつた
恤兵部では二十七日から既に慰問袋の取集めに着手したが來月十日頃までには全部を集めて次ぎ〳〵に滿洲へ發送する手筈で酷寒の曠野に吹きさらされる皇軍兵士のそれ〴〵にも正月迄にはやさしい溫い心づくしが行き渡る豫定である

着ないのですか」と問ふといや持つて行つた、矢張り人並みのことはする、諸君のやうに脂が乘つて張り切つてゐる時代なら少々の寒さもこたへないが吾々のやうに歳をとつて來ると脂氣はなくなるし肉は落ちるし御覽の通りかう瘦せてゐては寒さが骨身にこたへる、朔風膚を刺すといふが刺すどころか刺し通すよアハヽヽ、と
軍司令官は愉快である、司令官は更に語を轉じ「錦州はよい處だなア」と前提し
錦州は奉天と北平の中間に位し承德赤峰の方へ行く分岐點でもありそれに廣漠たる蒙古を背景として政治的にも經濟的にも肝心な場所である、つまり扇の要みたやうな土地だなア、從來山海關は天下第一關といはれてゐたが、錦州は山海關どころか超天下第一關であらう、その要衝の地にゐる諸君もまた餘程仕合せものだ、まアみんな島國根性を捨て、大陸に乘り出したやうな大きな心持になつて着々基礎を築き上げるんだ、そして元氣で働くんだ、吾々も歲をとつて先はないが倒れるまで邦家のため御奉公する覺悟でやつてゐると銃後の錦州人に緊張を促した

宛申込みのこと
なほ團體編成に左記驛軍を認めることになつた
一、大連道場滿鐵團二、大連道場實業團三、大連水上署、大連警察署、大連消防署四、小崗子警察署、沙河口警察署五、沙河口道場六、旅順武德會支部七、奉天道場八、奉天警察團九、全撫順一〇、全新京(日本側機關のみ)一一、滿洲國武道部、一二、安東、本溪湖一三、鐵嶺四五、大石橋、營口一六、鞍山一公聯合軍一四、遼陽、鞍山一普蘭店、瓦房店、金州一七、全ハルビン

ダンス界淨化の希望を聽取

ダンス界淨化のため旣報の如く大連舞踏場組合からダンサー其他ホール從業員に對する取締希望條項を決議し大連署保安係に提出したが岩井保安主任は一方的意志のみでは不徹底であるとなし各ホールのダンサー、バンド其他從業員代表者一名宛を二十七日朝から招致し彼等の意向及び希望を聽取した

全滿柔道有段者團體優勝戰

滿洲柔道有段者會では來る十二月三日午前九時より大連滿鐵道場に於いて第十回全滿洲柔道有段者團體優勝旗爭奪戰を擧行するが[illegible]
規定左の如し
▲團體編成　正選手五名補員(但し三段以下なるも段外者を加ふるも差支へなし)
▲申込場所　滿鐵本社地方部課體育係氣付滿洲柔道有段

マルコニー侯

【奉天電話】滿鮮視察の爲め二十六日午後十一時來奉ヤマトホテルに投宿した無電王マルコニー侯夫妻は二十七日午後十時四十五分發列車で大連經由天津に向つた

佐伯氏遺骸

【新京電話】二十三日四平街滿鐵醫院に入院チフスで死亡した昌圖縣屬官佐伯正氏の遺骸は二十八日午後六時五十分新京着同夜東本願寺において通夜二十九日午前一時大同學院及び同學院同窓會主催の下に追悼會を行ふこととなつた

クサメは犯罪を構成するや否や

【ワルシヤワ(ポーランド)發聯合郵信】(クサメ)は法律上犯罪を構成するか否かなどゝ議論するものがあつたら誠に馬鹿しい限りだが實際のところこうした問題が最近ポーランドの大審院において大眞面目で審議されたのだから世は様々だ、事件はポーランドにおける事實上の獨裁官たる陸相ビルスズキー元帥の半職祝賀會の席上某陸軍少佐某が會場の靜肅を破つてクサメをやつたのである、それが元帥に不敬だとあつて愛國の問題となりサーク地方裁判所は二十[illegible]の罰金を被氏に申渡した、ところが當の少佐は勿論友人達の間にも不服を唱ふる者が多いので大審院に上告した、そこで大審院がこの事件を審理したところ全くの偶發事故で殊に今日まで嚔が犯罪を構成した例もないとあつて結局無罪放免となつたとはあまり類の少い話

靴屋から見た完全な足とは

【ロンドン發聯合郵信】ロンドンの王室農業會館では目下「萬國靴展覽會」といふのが開催されてゐる、この展覽會に集まつた世界各國の專門家が一致した意見として發表したところによると理想的な婦人の足といふのは次の様な條件を具備してゐなければならないさうです。
一、サイズは四乃至四半
一、足幅あまり狹からざること
一、關節の突出てないこと
一、甲はよく彎曲して高いこと
一、短く形よき指
この展覽會に出品してゐる某靴屋さんの話によると大多數の婦人は折角好い形をした足を持つてゐながら惜いことに餘り大きすぎて理想から落第するとのこと、何英國の婦人は他國の婦人に比して遙かに多くの靴を買ふさうで平均一年六足ぐらゐの割合です、一般に現代の婦人方は流行よりも寧ろはき心地の方を選ぶとのことです。

老婆の死と犬と

【ニューヨーク發聯合郵信】

青空ホテル（51）

近江帆三
吉邨二郎畫

父の登場（八）

旗島が出勤してしまつた後は、何さも致し方がない。新聞も隈なく讀んでしまつて、窓から往還を見おろしてみても、何の變哲もない。仕方がないから、煙管で火鉢のへりをカンカラ〳〵叩いてみる。これはちよつと面白い藝當だが長くは續かない。一人歩きは嚴禁されてゐるのでうつかり外出も出來ない。

新六氏は二階から三階にかけて、廊下をぶら〳〵歩き廻つてみた。毎日のことなので、何號室にはどういふ人間が棲んでゐるといふことはすつかりわかつてしまつた。顏は見ないが、名前だけは知つてゐる。

屋上へ出ると、洗濯物がへんぽんさへ飜つてゐた。

お孝ちやんが白い洗面器に、洗濯物を山盛りにして上つて來た。ちよい〳〵顏を合はすので心易くなつてゐる。

「いゝお天氣でございますわれ」

とお孝ちやんは白いエプロンにさつさ陽を受けた。

「結構なお天氣さまです」

「毎日ご退屈でいらつしやいませう?」

「はい。遊んでゐるのも辛いものです」

「樂しうございますわ」

「あなたはどこかへお勤めですかい」

「はあ」

「やつぱり會社へでも?」

「いゝえ。ホホホ」

とお孝ちやんは笑ひ出した。

「それアお一人ですから仕方がありませんわ。いまに奥さんでもお貰ひになればねえ」

「はい。まだ家内を貰ふのは早いと思つとるんですがな、本人がどうしても貰ふといふものだから、まあそれもよからうと思ひましてな」

「あら。ぢや、いよ〳〵ね」

「はい」

「綺麗な方ですわれえ」

「ホウ、あなた知つていらつしやるか」

「はあ、二三度お目にかゝりましたわ。信子さんでございませう」

「左樣ですわい。ホウ、これはまた妙なご縁で——」

と、新六氏は驚いてしまつた。

「ほんとにお上品で淑やかで、旗島さんにはほんとにお似合でいらつしやいますわ」

「ところが、わしはまだ一度も拜見したこともなくてれ。せめて、寫眞でもと思ひましたが、あれは寫眞も持つとりません」

「まあ、暢氣でいらつしやいますわれえ」

「いや、決して暢氣どころの話ぢやありません。ぜひ一度は見ておきたいと思ふのですが、あれは何たら彼たらいうて、見せようとしません。時に、あんたはその信子さんと友達ですかい?」

「いゝえ。お友達ぢやございませんわ。でも時々お目にかゝるんです。美容院で——」

「ホウ。どこか惡いのですか」

「あら病院ぢやございませんわ。さあ、何といつたらいゝでせう……髮結ひさんのすつと新式な……のですわ」